

2025年度

授業大要（シラバス）

SYLLABUS for STUDENTS

MATSUMOTO DENTAL UNIVERSITY

（第 1 ・ 2 ・ 3 学年）

松本歯科大学

2025 年度

授業大要（シラバス）

（第 1・2・3 学年）

松本歯科大学

建学の理念

佐久間象山 福沢諭吉両先生の学訓に従い

国手的精神に立脚し

教育と研究の有機的結合を強固にして大学の本質を常に究め

近代民主主義の本源的価値観と世界観を確立し

人間の尊厳を認識せしめつつ民主主義的人格を陶冶し

深遠な真理を追求しつつ科学思想昂揚の完璧を期するにある

過去より未来を通じての現代の世界史的位置を認識せしめ

偉大な人類の業績を讃えると共に

未来への方法と科学的展望を確立せしめる

教学一致の不断の研鑽と遠大な理想に基づき

輝ける高雅な環境の醸成につとめ

自治の尊厳を守り

芸術を尊び高度の情操を育成せしめる

創立者

矢崎 康

3つのポリシー

教育目標を達成するために必要な3つのポリシー、すなわち「アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）」、「カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）」及び「ディプロマ・ポリシー（卒業認定に関する方針）」を制定しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1. 歯科医師になろうとする強い意志を持っている。
2. 歯科医学を習得するために必要な基礎的な学力を備えている。
3. 生命科学を学ぼうとする意欲を備えている。
4. 相手を理解し、自分の意思を適確に伝えることができる。
5. 諸問題を抽出・理解し、自分の考えをまとめることができる。
6. 国際的視野で思考し社会に貢献しようと考えている。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

松本歯科大学は豊かな人間性を有した歯科医師を育成するために、以下にカリキュラムポリシーを定める。

1. ディプロマポリシーを達成するために6年一貫の弾力的なカリキュラム編成を行う。
2. 歯科医師として具備すべき、教養、倫理観を育成するために人文科学系科目、社会科学系科目を設置する。
3. 歯科医学の基礎及び臨床科目の理解に必要な知識を育成するために、自然科学系科目を設置する。
4. 歯科医学を勉学する動機づけのために早期体験型科目を設置する。
5. 国際的視野で社会貢献するために必要な外国語能力やコミュニケーション能力を養成する科目を設置する。
6. 歯科医療の専門知識と技能を養成するために専門基礎科目及び専門臨床科目を設置する。
7. 歯科医師として必要な知識・技能・態度を修得するために、診療参加型臨床実習を行う。

ディプロマ・ポリシー（卒業に関する方針）

1. 歯科医師として倫理観を身につける。
2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
4. 歯科医師として必要な基本的技能を身につける。
5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

2025年度 授業科目履修基準表

学則 第8条 別表2

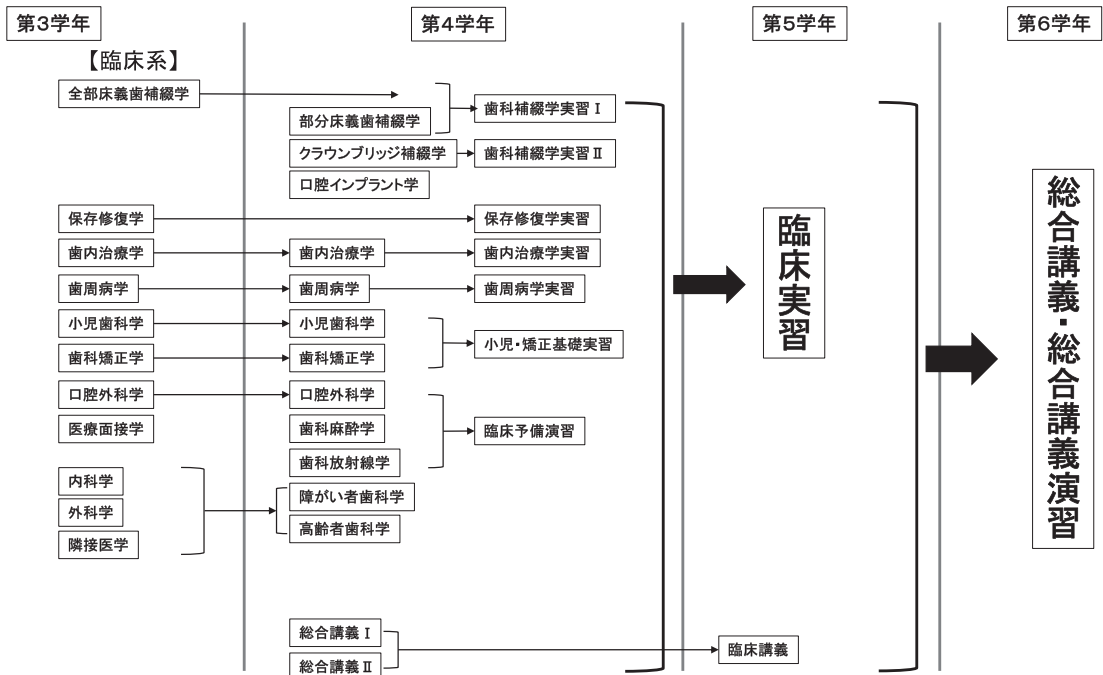
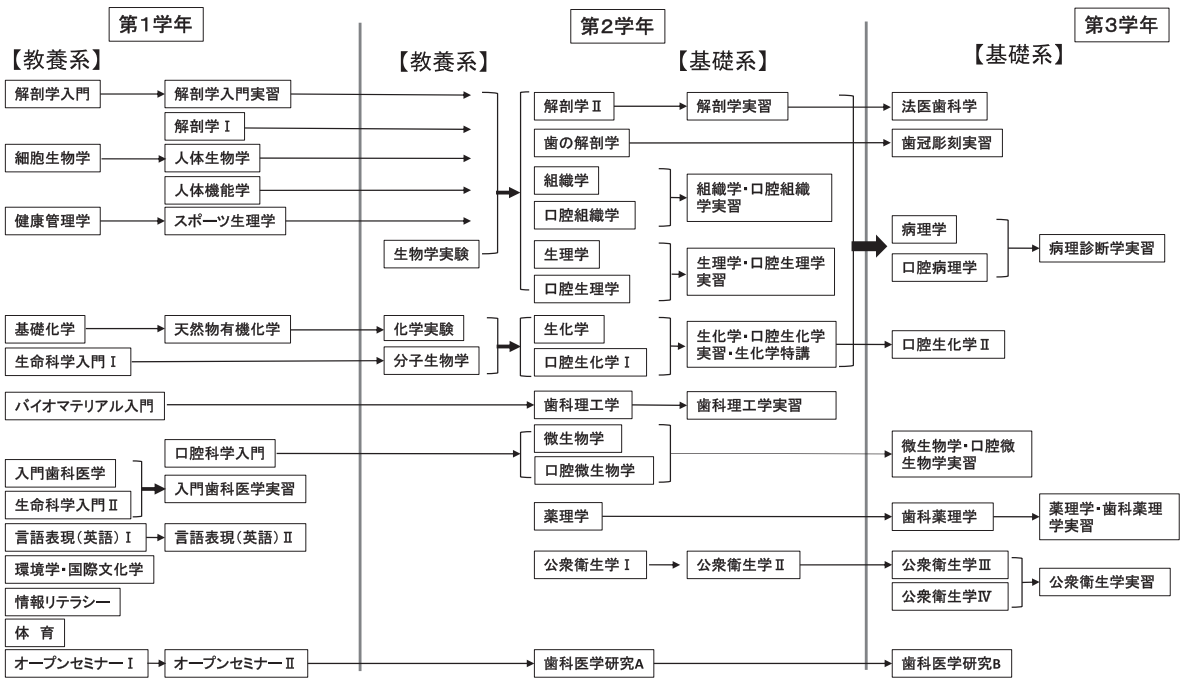
科目 コード	学 科 目	授業形態	履修区分	履修数		履 修 学 年 及 び 履 修 期										備 考		
						第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年			第6学年	
				時間	単位	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		前期	後期
教 養 教 育 科 目	A1010	入 門 歯 科 医 学	講義	必修	30	1	1											
	A1020	生 命 科 学 入 門Ⅰ	講義	必修	30	1	1											
	A1025	生 命 科 学 入 門Ⅱ	講義	必修	30	1	1											
	A1030	入 門 歯 科 医 学 実 習	実習	必修	120	4	2	2										
	A1041	人 体 機 能 学	講義	必修	30	1	1											
	A1046	環 境 学・国 際 文 化 学	講義	必修	30	1	1											
	A1050	体 育	実技	必修	60	2	1	1										
	A1060	情 報 リ テ ラ シ ー	講義	必修	30	1		1										
	A1070	口 腔 科 学 入 門	講義	必修	30	1		1										
	A1080	解 剖 学 入 門	講義	必修	30	1	1											
	A1100	言 語 表 現 (英 語) Ⅰ	講義	必修	60	2	2											
	A1110	言 語 表 現 (英 語) Ⅱ	講義	必修	60	2		2										
	A1160	基 礎 化 学	講義	必修	60	2	2											
	A1170	天 然 物 有 機 化 学	講義	必修	30	1		1										
	A1175	バ イ オ マ テ リ ア ル 入 門	講義	必修	30	1		1										
	A1180	健 康 管 理 学	講義	必修	30	1	1											
	A1185	ス ポ ー ツ 生 理 学	講義	必修	30	1		1										
	A1190	細 胞 生 物 学	講義	必修	30	1	1											
	A1195	人 体 生 物 学	講義	必修	30	1		1										
A1200	オ ー プ ン セ ミ ナ ーⅠ	講義・演習	選択	30	1	(1)											() 選択必修科目	
A1210	オ ー プ ン セ ミ ナ ーⅡ	講義・演習	選択	30	1		(1)											
A2010	化 学 実 験	実験	必修	30	1			1										
A2020	生 物 学 実 験	実験	必修	30	1			1										
A2030	分 子 生 物 学	講義	必修	30	1			1										
小 計				930	31	28	単位	3	単位	0	単位	0	単位	0	単位	0	単位	
専 門 教 育 科 目	B1090	解 剖 学Ⅰ	講義	必修	30	1		1										
	B1120	解 剖 学 入 門 実 習	実習	必修	30	1		1										
	B2050	解 剖 学Ⅱ	講義	必修	30	1			1									
	B2060	歯 の 解 剖 学	講義	必修	30	1				1								
	B2070	解 剖 学 実 習	実習	必修	120	4			1	3								
	B2080	組 織 学	講義	必修	30	1			1									
	B2090	口 腔 組 織 学	講義	必修	30	1				1								
	B2095	組織学・口腔組織学実習	実習	必修	90	3				3								
	B2100	生 理 学	講義	必修	60	2			2									
	B2110	口 腔 生 理 学	講義	必修	30	1				1								
	B2120	生理学・口腔生理学実習	実習	必修	60	2				2								
	B2130	生 化 学	講義	必修	60	2			2									
	B2140	口 腔 生 化 学Ⅰ	講義	必修	30	1				1								
	B3030	口 腔 生 化 学Ⅱ	講義	必修	30	1					1							
	B2150	生化学・口腔生化学実習、生化学特講	実習	必修	60	2				2								
	B2160	微 生 物 学	講義	必修	60	2			2									
	B2165	口 腔 微 生 物 学	講義	必修	30	1				1								
	B3050	微生物学・口腔微生物学実習	実習	必修	60	2					2							
	B2170	薬 理 学	講義	必修	30	1				1								
	B3060	歯 科 薬 理 学	講義	必修	60	2					2							
	B3070	薬理学・歯科薬理学実習	実習	必修	60	2					2							
	B2175	公 衆 衛 生 学Ⅰ	講義	必修	30	1			1									
	B2176	公 衆 衛 生 学Ⅱ	講義	必修	30	1				1								
	B3090	公 衆 衛 生 学Ⅲ	講義	必修	30	1					1							
	C3095	公 衆 衛 生 学Ⅳ	講義	必修	30	1						1						
	B3100	公 衆 衛 生 学 実 習	実習	必修	60	2						2						
	B3110	病 理 学	講義	必修	60	2					2							
	B3130	口 腔 病 理 学	講義	必修	60	2						2						
	B3120	病理診断学実習	実習	必修	90	3						3						
	B2180	歯 科 理 工 学	講義	必修	90	3			2									
	B2190	歯 科 理 工 学 実 習	実習	必修	60	2				2								
	C3150	全 部 床 義 歯 補 綴 学	講義	必修	60	2					1	1						
	C4010	歯 科 補 綴 学 実 習Ⅰ	実習	必修	90	3							3					
	C4020	部 分 床 義 歯 補 綴 学	講義	必修	60	2							2					
	C4030	歯 科 補 綴 学 実 習Ⅱ	実習	必修	90	3							3					
	C4040	ク ラ ウ ン プ リ ッ ジ 補 綴 学	講義	必修	60	2							2					
	C3160	歯 冠 彫 刻 実 習	実習	必修	60	2					2							
	C3170	保 存 修 復 学	講義	必修	60	2					1	1						
	C4060	保 存 修 復 学 実 習	実習	必修	90	3							3					
	C3180	小 児 歯 科 学	講義	必修	30	1						1						
	C4065	小 児 歯 科 学	講義	必修	30	1							1					
	C3190	歯 科 矯 正 学	講義	必修	30	1						1						
C4080	歯 科 矯 正 学	講義	必修	30	1							1						
C4095	小 児 矯 正 基 礎 実 習	実習	必修	60	2							2						
C3200	口 腔 外 科 学	講義	必修	30	1						1							
C4100	口 腔 外 科 学	講義	必修	60	2							2						
C4110	歯 科 麻 酔 学	講義	必修	60	2							2						
C4120	歯 科 放 射 線 学	講義	必修	60	2							2						
C3205	歯 内 治 療 学	講義	必修	30	1						1							
C4130	歯 内 治 療 学	講義	必修	30	1							1						
C4140	歯 内 治 療 学 実 習	実習	必修	60	2							2						
C3210	歯 周 病 学	講義	必修	30	1						1							
C4150	歯 周 病 学	講義	必修	30	1							1						
C4160	歯 周 病 学 実 習	実習	必修	60	2							2						
C3220	内 科 学	講義	必修	60	2					1	1							
C4105	口 腔 イ ン プ ラ ン ト 学	講義	必修	30	1							1						
C3254	法 医 歯 科 学	講義	必修	30	1					1								
C4180	障 が い 者 歯 科 学	講義	必修	30	1							1						
C4185	高 齢 者 歯 科 学	講義	必修	30	1							1						
C4187	摂 食 嚥 下 療 法 学	講義	必修	30	1							1						
C3251	医 療 面 接 学	講義	必修	30	1					1								
C3015	臨 牀 医 学	講義	必修	30	1						1							
B2210	歯 科 医 学 研 究 A	演習	選択	30	(1)			(1)									() 自由選択科目	
B3260	歯 科 医 学 研 究 B	演習	選択	30	(1)					(1)								
C4192	臨 床 予 備 演 習	演習	必修	60	2							2						
C4190	総 合 講 義 4 年Ⅰ	講義	必修	60	2							2						
C4200	総 合 講 義 4 年Ⅱ	講義	必修	90	3							3						
D5001	臨 床 講 義	講義	必修	285	9									9				
E6010	総 合 講 義 6 年	講義	必修	1125	36										36			
E6050	総 合 講 義 演 習	演習	必修	225	5										5			
D5500	臨 床 実 習	実習	必修	1575	35									35				
小 計				6510	193	2	単位	32 (33)	単位	34 (35)	単位	40	単位	44	単位	41	単位	
合 計				7440	224 (226)	30	単位	35 (36)	単位	34 (35)	単位	40	単位	44	単位	41	単位	

2025年度卒業認定・学位授与の当該授業科目一覧表

ディプロマ・ポリシー

DP1	1. 歯科医師としての倫理観を身につける。
DP2	2. 歯科医師として自己研鑽する態度を身につける。
DP3	3. 歯科医師として必要な基礎的知識を身につける。
DP4	4. 歯科医師として必要な基本的技能を身につける。
DP5	5. 歯科医学の問題を自然・社会・人文科学的方法を統合して解決する能力を身につける。
DP6	6. 歯科医師として国際的視野に基づいて社会貢献する態度を身につける。

	No	学 科 目	ディプロマ・ポリシー					
			DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
教 育 科 目	A1010	入門歯科医学	○	○	○			
	A1020	生命科学入門Ⅰ		○	○		○	
	A1025	生命科学入門Ⅱ		○	○		○	
	A1030	入門歯科医学実習		○	○	○		
	A1041	人体機能学		○	○		○	
	A1046	環境学・国際文化学		○	○		○	○
	A1050	体育		○	○			
	A1060	情報リテラシー			○	○	○	
	A1070	口腔科学入門		○	○		○	
	A1080	解剖学入門		○	○		○	
	A1100	言語表現（英語）Ⅰ		○	○			○
	A1110	言語表現（英語）Ⅱ		○	○			○
	A1160	基礎化学		○	○		○	
	A1170	天然物有機化学		○	○		○	
	A1175	バイオマテリアル入門		○	○		○	
	A1180	健康管理学		○	○		○	
	A1185	スポーツ生理学		○	○		○	
	A1190	細胞生物学		○	○		○	
	A1195	人体生物学		○	○		○	
	A1200	オープンセミナーⅠ		○	○		○	
	A1210	オープンセミナーⅡ		○	○		○	
	A2010	化学実験		○	○		○	
	A2020	生物学実験		○	○		○	
	A2030	分子生物学		○	○		○	
専 門 教 育 科 目	B1090	解剖学Ⅰ		○	○			
	B1120	解剖学入門実習		○	○			
	B2050	解剖学Ⅱ		○	○			
	B2060	歯の解剖学		○	○			
	B2070	解剖学実習	○	○	○			
	B2080	組織学		○	○			
	B2090	口腔組織学		○	○			
	B2095	組織学・口腔組織学実習		○	○			
	B2100	生理学		○	○			
	B2110	口腔生理学		○	○			
	B2120	生理学・口腔生理学実習		○	○			
	B2130	生化学		○	○			
	B2140	口腔生化学Ⅰ		○	○			
	B3030	口腔生化学Ⅱ		○	○			
	B2150	生化学・口腔生化学実習、生化学特講		○	○			
	B2160	微生物学		○	○			
	B2165	口腔微生物学		○	○			
	B3050	微生物学・口腔微生物学実習		○	○			
	B2170	薬理学		○	○			
	B3060	歯科薬理学		○	○			
	B3070	薬理学・歯科薬理学実習		○	○			
	B2175	公衆衛生Ⅰ		○	○			
	B2176	公衆衛生Ⅱ		○	○			
	B3090	公衆衛生Ⅲ		○	○			
	C3095	公衆衛生Ⅳ	○	○	○			
	B3100	公衆衛生学実習	○	○	○			
	B3110	病理学		○	○			
	B3130	口腔病理学		○	○			
	B3120	病理診断学実習		○	○	○		
	B2180	歯科理工学		○	○			
	B2190	歯科理工学実習		○	○	○		
	C3150	全部床義歯補綴学		○	○			
	C4010	歯科補綴学実習Ⅰ		○	○	○		
	C4020	部分床義歯補綴学		○	○			
	C4030	歯科補綴学実習Ⅱ		○	○	○		
	C4040	クランプアップリッジ補綴学		○	○			
	C3160	歯冠形成実習		○	○	○		
	C3170	保存修復学		○	○			
	C4060	保存修復学実習		○	○	○		
	C3180	小児歯科学		○	○			
	C4065	小児歯科学		○	○			
	C3190	歯科矯正学		○	○			
	C4080	歯科矯正学		○	○			
	C4095	小児・矯正基礎実習		○	○	○		
	C3200	口腔外科学		○	○			
	C4100	口腔外科学		○	○			
	C4110	歯科麻酔学		○	○			
	C4120	歯科放射線学		○	○			
	C3205	歯内治療学		○	○			
	C4130	歯内治療学		○	○			
	C4140	歯内治療学実習		○	○	○		
	C3210	歯周病学		○	○			
	C4150	歯周病学		○	○			
	C4160	歯周病学実習		○	○	○		
	C3220	内科学		○	○		○	
	C4105	口腔インプラント学		○	○		○	
	C3254	法医学		○	○			
	C4180	障がい者歯科学	○	○	○	○		
	C4185	高齢者歯科学		○	○			
	C4187	摂食嚥下療法学		○	○			
	C3251	医療面接学		○	○			
	C3015	隣接医学			○	○		
	B2210	歯科医学研究 A		○	○		○	
	B3260	歯科医学研究 B		○	○		○	
	C4192	臨床予備演習	○	○	○		○	
	C4190	総合講義4年Ⅰ	○	○	○			
	C4200	総合講義4年Ⅱ	○	○	○	○		
	D5001	臨床講義	○	○	○			
	E6010	総合講義6年	○	○	○			
	E6050	総合講義演習	○	○	○		○	
	D5500	臨床実習	○	○	○	○	○	
	D5500	臨床実習	○	○	○	○	○	
合 計			13	96	96	17	27	3



2025年度 実務経験のある教員等による授業科目一覧表

	学 科 目	授業 形態	履修 区分	履修数		学年	実務経験 職種	主な担当者 (実務経験のある教員)	実務経験と教育内容の関連性
				時間	単位				
専門	全部床義歯補綴学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、吉田裕哉、鷹股哲也	歯及び顎口腔系の喪失に伴う形態変化と機能喪失により低下したQOLを可塑性補綴装置により改善させる欠損補綴学の講義をする。
	歯科補綴学実習Ⅰ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、吉田裕哉、平井博一郎、谷内秀寿、篠原型武、秋山友里	可塑性補綴装置により改善させる有床義歯の基本的な臨床手技ならびに製作法の実習を行う。
	部分床義歯補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、吉田裕哉、霜野良介	部分欠損患者の機能回復の手段となる部分床義歯を中心に学理と技法の講義を行う。
	歯科補綴学実習Ⅱ	実習	必修	90	3	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、吉田裕哉、平井博一郎、谷内秀寿、篠原型武、秋山友里	欠損歯列模型を用いて、部分欠損の補綴装置ならびに歯冠補綴装置を製作する術式について実習する。
	クラウンブリッジ補綴学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、吉田裕哉	クラウンブリッジによる機能回復法ならびにその術後管理に関する講義を行う。
	歯冠彫刻実習	実習	必修	60	2	3	歯科医師	金銅英二、亀山敦史、森 啓、小町谷美帆、小松佐保	歯冠修復物の形態的具備要件を臨床上適切、かつ効率的に適用するために必要な歯冠形態、咬合関係の回復に関する実習を行う。
	保存修復学	講義	必修	60	2	3	歯科医師	亀山敦史、森 啓、小町谷美帆、小松佐保	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する講義を行う。
	保存修復学実習	実習	必修	90	3	4	歯科医師	亀山敦史、山本昭夫、森 啓、小町谷美帆、小松佐保、中村圭吾、宮國 茜、奥瀬稔之	歯の硬組織疾患に対する治療を適切に行うために、各々の疾患の病因・病態、ならびにそれらの疾患に対する診察、検査、診断、治療および術後の口腔健康管理に関する実習を行う。
	小児歯科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	大須賀直人、正村正仁、中村浩志、中山 聡	小児期から成人に至る口腔機能について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	歯科矯正学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	川原良美	矯正歯科治療の意義と目的及び不正咬合に対する矯正歯科治療の必要性とその意義について講義をする。
		講義	必修	30	1	4			
	小児・矯正基礎実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	大須賀直人、正村正仁、中村浩志、川原良美、中山 聡、村岡理奈、中根 隆、楠本達也、丸山歩美	乳歯の窩洞形成法、歯冠修復法や歯内療法、小児のブラッシング方法、保険装置の作製法、矯正装置の構造と作用機序を理解し、それらの作製法および調整方法について実習を行う。
	口腔外科学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	栗原祐史、芳澤享子、佐藤 工	口腔外科領域の疾患（外傷、口腔粘膜疾患、腫瘍、囊嚢、顎関節疾患、唾液腺疾患、神経疾患、顎変形症）の原因・発生機序・症状および口腔領域に関わる全身疾患の病態と罹患患者に対する口腔外科的治療法について講義をする。
		講義	必修	60	2	4			
	歯科麻酔学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	澁谷 徹、谷山貴一	歯科治療における全身管理、局所麻酔、精神鎮静法、全身麻酔の基本、救急処置の基本、口腔顎顔面領域の慢性痛と神経麻痺、および医療事故防止のための安全管理について講義をする。
	歯科放射線学	講義	必修	60	2	4	歯科医師	田口 明、杉野紀幸	歯科治療における画像検査法の特徴と適応ならびに画像診断、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法および放射線治療の基礎について講義をする。
	歯内治療学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	増田宜子	歯の健康を回復し、歯の機能を維持させるために、歯・歯周組織の構造と機能を理解し、歯の硬組織疾患、歯髓疾患、根尖性歯周組織疾患の概要、原因、症状、検査、診断および処置法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4	歯科医師		
	歯内治療学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	増田宜子、小町谷美帆、尾崎友輝、中村 卓、小松佐保、石岡康明、中村圭吾、宮國 茜、岩崎拓也、奥瀬稔之、甲田調子	触蝕を指摘し、臨床応用できる基本的な技術をマネキン、顎模型、レジン歯によるシミュレーションシステムにより実習する。
	歯周病学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分葉々衣、中村 卓、石岡康明	歯周組織の形態的・機能的特性、歯周病の病因に基づいて歯周疾患の検査、診断、病態、分類、疫学について各種治療法と、予防法について講義をする。
		講義	必修	30	1	4	歯科医師		
	歯周病学実習	実習	必修	60	2	4	歯科医師	吉成伸夫、尾崎友輝、出分葉々衣、中村 卓、石岡康明、田井康寛、原 美音	歯周病学の病因、理論を基に、臨床に必要な歯周病の診断、各種歯周治療法や術式などの基礎的技術を模型により実習を行う。
	内科学	講義	必修	60	2	3	医師	佐藤 品、川 茂幸	医師として実務経験のある教員が、内科的疾患の病態と治療に関する身体の総合的かつ内科的な疾患を歯科医師としての関わりについて講義をする。
	口腔インプラント学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	樋口大輔、笠原华男、山口葉子、矢島安朝	インプラント治療を適切に説明し実践するために、インプラント治療の目的と意義、治療計画、埋入手術方法、装着後のメンテナンスまでの治療などについて講義を行う。
	障がい者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	スペシャルニーズのある（特別な対応を要する）人への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	高齢者歯科学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	全身疾患を有する高齢者への歯科保健と歯科医療について講義をする。
	摂食嚥下療法学	講義	必修	30	1	4	歯科医師	配島弘之	摂食嚥下機能障害を有する障害児・者ならびに高齢者への講義を行う。
	医療面接学	講義	必修	30	1	3	歯科医師	森 啓	歯科臨床における医療面接について、倫理的配慮より適切に患者症状を聴取することができるようになるよう講義をする。
	隣接医学	講義	必修	30	1	3	医師	皮膚科：林 宏一、鈴木啓之 精神医学：石川絃一 耳鼻咽喉科：有賀あや子	それぞれの担当科で歯科口腔領域との関連疾患の診断、治療について講義をする。
	臨床実習	実習	必修	1575	35	5	歯科医師	吉成伸夫、山本昭夫、亀山敦史、増田宜子、黒岩昭弘、栗原祐史、芳澤享子、影山 徹、川原良美、大須賀直人、田口 明、内田啓一、配島弘之、澁谷 徹、樋口大輔	精巧なマネキンを使っているのシュミレーション実習、学生相互による診療行為、医局員による診療の見学と介助、さらには指導者の直接の監督下での診療行為を実施する。
合 計				3015	83				
省令で定める基準単位数					19				

2025年度 前期 時間割表

学年 曜日 時間	第 1 学 年				第 2 学 年				第 3 学 年		第 4 学 年	第 5 学 年	第 6 学 年
	A	B	C	D	A	B	C	D	A・B	Weekly Test			
1 9:00～10:30	Weekly Test CI:101				Weekly Test 図書会館・学生ホール 生化学 (宇田川) 実:312				Weekly Test 講:201		Weekly Test 本:601	臨床実習	総合講義6年 本:602
2 10:40～12:10	言語表現(英語)Ⅰ(3クラス編成) (古殿) 講:101・102・104				解剖学実習 (田所) 本:解剖実習室 (山田) 実:300 ※ 化学実験・生物学実験は1クラス単位で交互に行う				全期英語補綴学 (樋口) 講:201		歯科保健学 (鎌倉) 講:202 (注谷) 講:202	臨床実習	総合講義6年 本:602
3 13:10～14:40	環境学・国際文化学 (宇田川) CI:101				生化学 (北川) 実:312				薬理学・歯科薬理学実習 (荒) 実:317・講:201		小児歯科学 (大須賀) 講:202 総合講義4年Ⅰ 講:202	臨床実習	総合講義6年 本:602
4 14:50～16:20	人体機能学 (北川) CI:101				解剖学実習 (田所) 本:解剖実習室 (山田) 実:300 ※ 化学実験・生物学実験は1クラス単位で交互に行う				微生物学・口腔微生物学実習 (吉田) 講:201・実:212		保存修復学実習 (小町谷) 実:101・312	臨床実習	総合講義6年 本:602
5 16:30～18:00	日本語演習(留学生) 講:101・102・105				生化学 (北川) 実:312				薬理学 (村上) 講:201		部分支援歯補綴学 (樋口) 講:202	臨床実習	総合講義6年 本:602
1 9:00～10:30	細胞生物学 (安藤) 実:216				生化学 (宇田川) 実:312				歯理学 (村上) 講:201		部分支援歯補綴学 (樋口) 講:202	臨床実習	総合講義6年 本:602
2 10:40～12:10	基礎化学(3クラス編成) (山下) 講:104・204・実:216				公衆衛生学Ⅰ (山廣) 実:312				法医学科学(6コマ) (中村・山田) 講:201・実:207		障がい看護科学 (志越) 講:202	臨床実習	総合講義6年 本:602
3 13:10～14:40	入門歯科医学実習(8班編成) (各内) CI:101・病院他				法医学科学(7コマ) (中村・山田) 講:201・実:207							臨床実習	総合講義6年 本:602
4 14:50～16:20												臨床実習	総合講義6年 本:602
5 16:30～18:00	日本語演習(留学生) 講:101・102・105				※編入留学生は日本語演習を履修 講:101・102・105				歯科薬理学 (荒) 講:201		歯周病学 (吉成) 講:202	臨床実習	総合講義6年 本:602
1 9:00～10:30	解剖学入門 (田所) 実:216				分子生物学 (平野) 実:312				解剖学実習 (荒) 講:201		ク라운ブリッジ補綴学 (樋口) 講:202	臨床実習	総合講義6年 本:602
2 10:40～12:10	言語表現(英語)Ⅰ(3クラス編成) (古殿) 講:101・102・104				解剖学Ⅱ (田所) 実:312				保存修復学 (亀山) 講:201			臨床実習	総合講義6年 本:602
3 13:10～14:40	体育(ABクラス) (米直・安藤) 体育館・地上競技場				微生物学 (吉田) 実:312				公衆衛生学Ⅱ (山廣) 講:201			臨床実習	総合講義6年 本:602
4 14:50～16:20											歯周病学実習 (吉成) 実:101 全10回30コマ	臨床実習	総合講義6年 本:602
5 16:30～18:00	日本語演習(留学生) 講:101・102・105				※編入留学生は日本語演習を履修 講:101・102・105				歯科理工学 (黒根) 実:312		歯科放射線学 (田口) 講:202	臨床実習	総合講義6年 本:602
1 9:00～10:30	オーブン・セナーⅠ(選択) (中村)				歯科理工学 (黒根) 実:312				歯科放射線学 (田口) 講:202		歯科放射線学 (田口) 講:202	臨床実習	総合講義6年 本:602
2 10:40～12:10	基礎化学(3クラス編成) (山下) 講:104・204・実:216				歯科理工学 (黒根) 実:312				口腔外科学 (栗原) 講:202		臨床実習	臨床実習	総合講義6年 本:602
3 13:10～14:40	健康管理学 (安藤) 実:216				微生物学 (吉田) 実:312				口腔生化学Ⅱ (小林) 講:201		臨床実習	臨床実習	総合講義6年 本:602
4 14:50～16:20	体育(CDクラス) (米直・安藤) 体育館・地上競技場				内科学 (川) 講:201				歯科補綴学実習Ⅰ (樋口) 実:101		臨床実習	臨床実習	総合講義6年 本:602
5 16:30～18:00	日本語演習(留学生) 講:101・102・105				※編入留学生は日本語演習を履修 講:101・102・105							臨床実習	総合講義6年 本:602
1 9:00～10:30	日本語演習(留学生) 講:101・102・105				※編入留学生は日本語演習を履修 講:101・102・105							Weekly Test 本:601	Weekly Test 本:602

2025 年度 後期 時間割表

学年 曜日時間	第 1 学 年					第 2 学 年					第 3 学 年			第 4 学 年		第 5 学 年	第 6 学 年
	A	B	C	D		A	B	C	D		A・B	Weekly Test	C・D	Weekly Test			
1	9:00～	Weekly Test CI:101					図書表題 学生ホール					Weekly Test 講: 201			臨床実習		総合講義6年 本: 602
2	10:40～	言語表現(英語)Ⅱ(3クラス編成) (古殿) 講: 101・102・104					歯科理工学 (黒岩) 実: 312					全期医療看護総論学 (樋口) 講: 201			臨床実習		総合講義6年 本: 602
3	13:10～	入門歯科医学実習(8班編成) (谷内) CI:101、病院地					生理学・口腔生化学実習 (北川) 学生ホール					歯周病学 (古成) 講: 201			臨床実習		総合講義6年 本: 602
4	14:50～	日本語演習(留学生) 講: 101・102・105 オープンセミナーⅡ(選択) (中村)					解剖学実習 (田所) 本・解剖実習室					歯科医学研究B(選択) (中村)			臨床実習		総合講義演習 本: 602
5	16:30～											小児歯科学 (大須賀) 講: 201			臨床実習		総合講義演習 本: 602
1	9:00～	薬理学 (荒) 実: 312					小児歯科学 (大須賀) 講: 201					臨床実習			総合講義6年 本: 602		
2	10:40～	口腔生化学Ⅰ (田所) 実: 216					口腔生化学Ⅰ (宇田川) 実: 312					臨床実習			総合講義6年 本: 602		
3	13:10～	情報リテラシー (中村実) CI:101					生理学・口腔生化学実習 (北川) 学生ホール					臨床実習			総合講義6年 本: 602		
4	14:50～	日本語演習(留学生) 講: 101・102・105					解剖学実習 (田所) 本・解剖実習室					小児歯科学・歯科矯正学実習 小児(大須賀)、矯正(川原良) 実: 101			臨床実習		総合講義演習 本: 602
5	16:30～											口腔外科学 (栗原) 講: 202			臨床実習		総合講義演習 本: 602
1	9:00～	口腔科学入門 (吉田・荒) 実: 216					口腔生理学 (村上) 講: 201					臨床実習			総合講義6年 本: 602		
2	10:40～	天然物有機化学 (山下) 実: 216					口腔総論学 (平賀) 実: 312					臨床実習			総合講義6年 本: 602		
3	13:10～	解剖学入門実習 (田所) CI:101					公衆衛生学Ⅱ (山賀) 実: 312					臨床実習			総合講義6年 本: 602		
4	14:50～	日本語演習(留学生) 講: 101・102・105					歯科医学研究A(選択)/ 補習 (中村)					病理診断学実習 (村上) 実: 207			臨床実習		総合講義演習 本: 602
5	16:30～											クラウンブリッジ補綴学 (樋口) 講: 202			臨床実習		総合講義6年 本: 602
1	9:00～	人体生物学 (安藤) 実: 216					歯科理工学実習 (黒岩) 実: 101・113					補 習			臨床実習		総合講義6年 本: 602
2	12:10	言語表現(英語)Ⅱ(3クラス編成) (古殿) 講: 101・102・104					歯科矯正学 (川原良) 講: 201					口腔インプラント学 (樋口) 講: 202			臨床実習		総合講義6年 本: 602
3	13:10～	体育(ABクラス) (米庭・安藤) 体育館・地上競技場		総論学・口腔組織学実習 (平賀) 3時間(午夜) 実: 312 4・5時間 実: 207			病棟実学(耳鼻咽喉科学・皮膚科学・精神医学) (相馬5コマ・鈴木5コマ・石川4コマ) 講: 201					臨床実習			総合講義6年 本: 602		
4	14:50～						臨床実習			総合講義演習 本: 602							
5	16:30～						臨床実習			総合講義演習 本: 602							
1	9:00～	日本語演習(留学生) 講: 101・102・105					口腔微生物学 (吉田) 実: 312					保存修復学 (亀山) 講: 201			臨床実習		総合講義6年 本: 602
2	10:40～	スポーツ生理学 (黒岩) 実: 216					歯の解剖学 (平賀) 実: 312					口腔外科学 (栗原) 講: 201			臨床講義 本: 601		総合講義6年 本: 602
3	13:10～	体育(GDクラス) (米庭・安藤) 体育館・地上競技場		言語表現(英語)Ⅱ補講 (古殿) 講: 102			生化学・口腔生化学実習・生化学特講 (小林) 実: 312・317					公衆衛生学Ⅳ (牧) 講: 201			臨床実習		総合講義6年 本: 602
4	14:50～											内科科学 (川) 講: 201			臨床実習		総合講義演習 本: 602
5	16:30～	日本語演習(留学生) 講: 101・102・105					※編入留学生は日本語演習を履修 講: 101・102・105					臨床実習			総合講義演習 本: 602		
土	9:00～						Weekly Test 本: 601					Weekly Test 本: 601			Weekly Test 本: 602		

2025年度 第1学年 年間授業予定表

《 前 期 》

月曜日				火曜日				水曜日				木曜日				金曜日			
月		日	備考	月		日	備考	月		日	備考	月		日	備考	月		日	備考
①	4	14		①	4	15		①	4	16		①	4	17		①	4	18	
②		21		②		22		②		23		②		24		②		25	
③		28		③	5	7	水曜から	③		30		③	5	1		③	5	2	
④	5	12		④		13		④	5	14		④		8		④		9	
⑤		19		⑤		20		⑤		21		⑤		15		⑤		16	
⑥		26		⑥		27		⑥		28		⑥		22		⑥		23	
⑦	6	2		⑦	6	3		⑦	6	4		⑦		29		⑦		30	
⑧		9		⑧		10		⑧		11		⑧	6	5		⑧	6	6	
⑨		16		⑨		17		⑨		18		⑨		12		⑨		13	
⑩		23		⑩		24		⑩		25		⑩		19		⑩		20	
⑪		30		⑪	7	1		⑪	7	2		⑪		26		⑪		27	
⑫	7	7		⑫		8		⑫		9		⑫	7	3		⑫	7	4	
⑬		14		⑬		15		⑬		16		⑬		10		⑬		11	
⑭		28		⑭		22		⑭		23		⑭		17		⑭		18	
⑮	8	18		⑮	8	19		⑮	8	20		⑮		24		⑮		25	

《 後 期 》

月曜日				火曜日				水曜日				木曜日				金曜日			
月		日	備考	月		日	備考	月		日	備考	月		日	備考	月		日	備考
①	9	8		①	9	9		①	9	10		①	9	11		①	9	12	
②		16	火曜から	②		22	月曜から	②		17		②		18		②		19	
③		29		③		30		③		24		③		25		③		26	
④	10	6		④	10	7		④	10	1		④	10	2		④	10	3	
⑤		15	水曜から	⑤		14		⑤		8		⑤		9		⑤		10	
⑥		20		⑥		21		⑥		22		⑥		16		⑥		17	
⑦		27		⑦		28		⑦		29		⑦		23		⑦		24	
⑧	11	6	木曜から	⑧	11	4		⑧	11	5		⑧		30		⑧		31	
⑨		10		⑨		11		⑨		12		⑨	11	13		⑨	11	7	
⑩		17		⑩		18		⑩		19		⑩		20		⑩		14	
⑪	12	1		⑪		25		⑪		26		⑪		27		⑪		21	
⑫		8		⑫	12	2		⑫	12	3		⑫	12	4		⑫		28	
⑬		15		⑬		9		⑬		10		⑬		11		⑬	12	5	
⑭		22		⑭		16		⑭		17		⑭		18		⑭		12	
⑮	1	5		⑮	1	6		⑮	1	7		⑮	1	8		⑮		19	

総 目 次

第 1 学年.....	1
第 2 学年.....	121
第 3 学年.....	223
第 1 ～ 3 学年年間予定.....	324
施設概要図.....	330

第 1 学 年

第 1 学年目次

入 門 歯 科 医 学	3
生 命 科 学 入 門 I	5
生 命 科 学 入 門 II	7
入 門 歯 科 医 学 実 習	9
人 体 機 能 学	46
環 境 学 ・ 国 際 文 化 学	48
体 育	51
情 報 リ テ ラ シ ー	56
口 腔 科 学 入 門	60
解 剖 学 入 門	63
解 剖 学 I	65
言 語 表 現 (英 語) I	68
言 語 表 現 (英 語) II	71
解 剖 学 入 門 実 習	74
基 礎 化 学	77
天 然 物 有 機 化 学	84
バ イ オ マ テ リ ア ル 入 門	86
健 康 管 理 学	88
ス ポ ー ツ 生 理 学	90
細 胞 生 物 学	92
人 体 生 物 学	95
オ ー プ ン セ ミ ナ ー I ・ II	97
〈 オ ー プ ン セ ミ ナ ー I 〉	98
〈 オ ー プ ン セ ミ ナ ー II 〉	109

入門歯科医学 (A1010)

第1学年（前期）
実習 必修

【担当者】

教授：中村浩彰、樋口大輔、金銅英二、北川純一、亀山敦史、吉成伸夫、大須賀直人、荒 敏昭
栗原祐史、小林泰浩、村上 聡、黒岩昭弘
講師：谷内秀寿、吉田裕哉
特任教授：矢ヶ崎雅、川原一祐
特命教授：飯島 勲

【一般目標（GIO）】

歯科医師を志す者としての心構えや新しい時代を見据えた歯科医学についての知識を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 本学における学び方について説明できる。
2. 歯科医学教育について説明できる。
3. 歯科治療に必要な知識について説明できる。
4. 近年の歯科医療の潮流について説明できる。
5. 医療と社会のかかわりについて説明できる。

【教科書・参考書】

【教育（学習）方略（LS）】

歯科医師を志す者としての心構えや新しい時代を見据えた歯科医学に興味を抱かせるために、スライドや映像を用い、必要に応じて黒板へ板書する。

【フィードバック方法】

試験実施後、質問等がある場合はメールを科目担当教員に送ること。その後、イントラで解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test（20%）、定期試験（80%）の結果に出席状況、レポート、受講態度を加えて総合的に評価する。

【注意事項】

筆記用具は必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

復 習：講義ノート、配付されたプリントなどを復習し、各自知識をまとめること。

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時 メールにて予約

中村：本館4階西棟 口腔解剖学講座教授室（0263-51-2042、hiroaki.nakamura@mdu.ac.jp）

谷内：本館6階西棟 615号室（0263-51-2144、hidetoshi.taniuchi@mdu.ac.jp）

【授業日程】

入門歯科医学 第1学年（前期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	4月15日(火) 2時限	一年間の講義・実習の流れ	1. 講義の流れを説明できる。 2. 実習の流れと注意点を説明できる。	谷内 秀寿 川原 一祐 飯島 勲
2	4月22日(火) 2時限	建学の理念について	建学の理念を説明できる。	矢ヶ崎 雅
3	5月7日(水) 2時限	歯科大学病院について 口腔インプラントとは	歯科大学の病院について説明できる。 口腔インプラントの概要を説明できる。	樋口 大輔
4	5月13日(火) 2時限	口腔外科学とは	1. 口腔外科疾患を理解する 2. 多職種チーム医療を理解する	栗原 祐史
5	5月20日(火) 2時限	歯周病学とは	1. 歯周病の病因、治療法について説明できる。 2. 歯周病と全身疾患の関連性について説明できる。	吉成 伸夫
6	5月27日(火) 2時限	歯科保存学とは	1. 歯の切削器具・器械を分類し、各々の特徴を説明できる。 2. 歯の修復材料とその装着方法を説明できる。 3. 歯科用接着材料の歯質との接着メカニズムを説明できる。	亀山 敦史
7	6月3日(火) 2時限	歯科補綴学とは	歯の実質欠損、歯の欠損による顎口腔系の変化と欠損に対する補綴法について理解する。	吉田 裕哉
8	6月10日(火) 2時限	口腔領域の痛み	1. 痛みについて説明できる。 2. 口腔領域の痛みと顎運動の関連性について説明できる。	北川 純一
9	6月17日(火) 2時限	歯科理工学とは	歯科治療で用いられる材料について説明できる。	黒岩 昭弘
10	6月24日(火) 2時限	松本歯科大学の大学院と研究所の紹介 歯科医学研究が目指すもの	歯科医学研究の重要性を説明できる。	小林 泰浩
11	7月1日(火) 2時限	小児歯科治療について	小児歯科診療の流れについて説明できる。	大須賀直人
12	7月8日(火) 2時限	脳・痛みと情動	脳の基本形態、機能を説明できる。	金銅 英二
13	7月15日(火) 2時限	病理学とは	病気とはどのようなものか理解する。	村上 聡
14	7月22日(火) 2時限	薬理学とは	薬理学の内容を理解するために必要な事項を説明できる。	荒 敏昭
15	8月19日(火) 2時限	1. 共用試験とは 2. 再生歯科医療	1. 共用試験（CBT、OSCE）の概要を説明できる。 2. 歯科における再生治療を説明できる。	中村 浩彰

生命科学入門 I (A1020)

第1学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教 授：宇田川信之、中村美どり

【一般目標（GIO）】

医療人としての良識と豊かな人間性を体得するために歯科医学の基礎知識を構築しながら将来の目標である歯科医師像を確認する。

【行動目標（SBOs）】

1. 生命単位と化学成分の基礎について理解する。
2. 健康を司る栄養学の基礎について理解する。
3. コンピュータ操作に関する基本知識を理解する。

【教科書・参考書】

【教科書】前野正夫・磯川桂太郎：「はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学（第3版）」（羊土社）

【教育（学習）方略（LS）】

基礎歯科医学を担当する複数講師によるオムニバス形式の科目である。入門歯科医学のカリキュラム内容の習熟により一層の教育効果の向上を目指す。原則として、Weekly Test において、1回の授業について5問程度の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

試験実施後、疑問や質問等がある場合は試験実施3日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生イントラ等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

成績評価は、Weekly Test（20%）および期末テスト（80%）の結果によって判定する。さらに、授業態度を加えることにより、歯科医学に関する知識の習熟度を総合的に評価する。欠席・遅刻は原則として認めない。欠席回数が大きく成績に反映される。

【注意事項】

教科書は必ず持参すること。A4版の講義ノートおよびWeekly Test ノート（必ず作成すること）の提出を求めるので、いつでも対応できるように注意すること。ルーズリーフを使用するバインダー形式のノートは認めない。
個人用コンピュータの配付・説明についてはキャンパスイン101教室で行う。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で確認すること。（10分）

復 習：当該講義のWeekly Test の復習ノートを必ず作成すること。（80分）

【オフィスアワー】

宇田川：要予約（TEL：070-5014-3303、E-mail：nobuyuki.udagawa@mdu.ac.jp）

中村：要予約（E-mail：midori.nakamura@mdu.ac.jp）

【授業日程】

生命科学入門Ⅰ 第1学年（前期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	4月9日(水) 1時限	オリエンテーション		学年主任
2	4月15日(火) 3時限	1年間の講義の流れについての説明 細胞膜、細胞内小器官および核の構造と機能	生命の単位である細胞の構造と機能について理解する。	宇田川信之
3	4月22日(火) 3時限	細胞内物質輸送および細胞の形態変化・形態形成における細胞骨格の役割	細胞骨格および関連する諸構造について理解する。	宇田川信之
4	5月7日(水) 3時限	細胞接着	細胞接着の様式と接着分子について理解する。	宇田川信之
5	5月13日(火) 3時限	細胞周期・細胞死（アポトーシス・ネクローシス）の分子メカニズム	細胞周期および細胞死の分子機構について理解する。	宇田川信之
6	5月20日(火) 3時限	無機質の種類と構造および特徴	細胞の化学成分としての無機質の構造と特徴を理解する。	宇田川信之
7	5月27日(火) 3時限	タンパク質の種類と構造および特徴	細胞の化学成分としてのタンパク質の構造と特徴を理解する。	宇田川信之
8	6月3日(火) 3時限	核酸（DNA と RNA）の構造と機能	遺伝情報の担い手である核酸の構造と機能について理解する。	宇田川信之
9	6月10日(火) 3時限	個人コンピュータの配付と学内イントラの説明	生命科学を学ぶためのコンピュータ操作を修得する。	宇田川信之 中村美どり
10	6月17日(火) 3時限	コンピュータ操作の基本および情報倫理	生命科学を学ぶためのコンピュータ操作を修得する。 情報倫理の関わる問題について理解する。	宇田川信之 中村美どり
11	6月24日(火) 3時限	栄養素の消化・吸収	1. タンパク質の消化吸収を説明できる。 2. 脂質の消化吸収を説明できる。 3. ミネラルの吸収を説明できる。	中村美どり
12	7月1日(火) 3時限	食事摂取基準	食事摂取基準を説明できる。	中村美どり
13	7月8日(火) 3時限	食生活と健康 1	1. 日本人の食生活の変遷を概説できる。 2. 「健康日本21」と食の関係を概説できる。 3. 特別用途食品を説明できる。	中村美どり
14	7月15日(火) 3時限	食生活と健康 2	食育について説明できる。	中村美どり
15	7月22日(火) 3時限	食べ物と健康	1. 食品の規格を概説できる。 2. 食品成分表を概説できる。	中村美どり
16	8月19日(火) 3時限	健康調査と評価	1. 国民健康栄養調査結果の概要 2. 栄養評価のまとめ	中村美どり

生命科学入門Ⅱ (A1025)

第1学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教 授：岡藤範正、齋島弘之
准教授：横井由紀子
非常勤講師：岩田雅裕、岩田宏美

【一般目標（GIO）】

1. 建学の理念を具現化し、「良き歯科医師となる前に良き人間たれ」に立脚した教育を実践する。
2. これからの歯科医療における生命科学の重要性を確認する

【行動目標（SBOs）】

1. 臨床歯科医学の概略について説明できる。
2. これからの歯科医療における生命科学の重要性を理解する。
3. 患者に対する歯科医師の役割と態度を解説できる。

【教科書・参考書】

【教育（学習）方略（LS）】

生命科学の領域において歯科医療の実践に必要な内容を習熟することで、歯科医学における生命科学に必要な知識を得る。視覚素材を駆使し観察力や洞察力の向上を図る。原則として、Weekly Testにおいて、1回の授業について5問の確認テストを行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test 実施後、正答率の低い問題を中心に講義等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

成績評価は、Weekly Test（20%）および定期試験（80%）の結果によって判定する。さらに、授業態度を加えることにより、歯科医学における生命科学の知識を習熟し、総合的に評価する。欠席・遅刻は原則として認めない。欠席回数が大きく成績に反映する。

【注意事項】

講義プリントおよび Weekly Test にいつでも対応できるように注意すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

復 習：講義、Weekly Test、配付資料を確認し、要点を抽出しノートファイルなどにまとめ、整理しておくこと。

【オフィスアワー】

岡藤：Campus Inn 支援センター、メールにて質問あるいは要予約（TEL：0263-51-2194、E-mail：norimasa.okafuji@mdu.ac.jp）

齋島：本館1階東棟 地域連携歯科学講座教授室、メールにて質問あるいは要予約（TEL：0263-51-8655、E-mail：hiroyuki.haishima@mdu.ac.jp）

横井：実習館1階 歯科理工学研究室、メールにて質問あるいは要予約（E-mail：yukiko.yokoi@mdu.ac.jp）

【授業日程】

生命科学入門Ⅱ 第1学年（前期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	4月15日(火) 1時限	歯科医療における生命科学の重要性を解説する。	歯科医療における生命科学の重要性を理解する。	岡藤 範正
2	4月22日(火) 1時限	発育区分、発育期の特徴について解説する。	成長、発育と生理的年齢について理解する。	岡藤 範正
3	5月7日(水) 1時限	口腔の構造の名称、口腔の機能の名称、頭蓋・顔面の構造を解説する。	口腔の構造・機能、頭蓋・顔面の構造・機能について理解する。	岡藤 範正
4	5月13日(火) 1時限	小児の特徴と歯科治療における注意点を解説する。	小児の特徴と歯科治療における注意点を理解する。	横井由紀子
5	5月20日(火) 1時限	デンタルプラークを中心としてヒトと細菌の関わりを解説する。	デンタルプラークについて理解する。	横井由紀子
6	5月27日(火) 1時限	健康と疾患の概念を理解する。	1. 主要な疾患の病因・病態を理解する。 2. 歯・口腔・顎・顔面の疾患と概念を理解する。	岡藤 範正
7	6月3日(火) 1時限	歯周組織の構造と組成を解説する。	歯の形態、歯式、歯と歯周組織の構造と組成を理解する。	岡藤 範正
8	6月10日(火) 1時限	ヒトの起源と口腔の成り立ちを解説する。	ヒトの起源と口腔の成り立ちを理解する。	岡藤 範正
9	6月17日(火) 1時限	高齢者によくみられる疾患と口腔内の特徴を解説する。	高齢者によくみられる疾患と口腔内の特徴を理解する。	龍島 弘之
10	6月24日(火) 1時限	予防の概念について解説する。	健康増進と疾病予防の概念について理解する。	岡藤 範正
11	7月1日(火) 1時限	正常な摂食・嚥下機能とその障害について概説する。	歯科医師と摂食・嚥下リハビリテーションの関わりについて理解する。	龍島 弘之
12	7月8日(火) 1時限	先天異常、顎変形症などの成因を解説する。	先天異常、顎変形症などの成因を理解する。	岡藤 範正
13	7月15日(火) 1時限	歯科医療の現場における生命科学の実践を解説する。	歯科医療の現場における生命科学の実践を理解する。	岩田 雅裕 岩田 宏美
14	7月22日(火) 1時限	現在の歯科医療の問題点を生命科学の観点から解説する。	現在の歯科医療の問題点を生命科学の観点から理解する。	岡藤 範正
15	8月19日(火) 1時限	生命科学入門の講義の総括を行う。	歯科医学・歯科医療に関連する情報の重要性と必要性を統合整理する基本的能力を理解する。	岡藤 範正

入門歯科医学実習 (A1030)

第1学年（前期・後期）
実習 必修

【担当者】

教 授：音琴淳一、内田啓一、亀山敦史、増田宜子、川原良美

准教授：中村浩志、李 憲起、谷山貴一

講 師：谷内秀寿、笠原隼男、小松佐保、大木絵美、小町谷美帆、村岡理奈、長内 秀、伊能利之

助 教：山田真一郎、宮下 彩、岩崎由紀子、渡邊遊理、深沢香菜子、甲田訓子、中村圭吾、田村瞬至、宮國 茜
羽鳥 遼、中根 隆、橋本達也、丸山歩美、倉科勇太、宮脇理功

助 手：平岡敬太、根津英之、周易群、洪鉦綺

補助者：加納幸成、植野裕司、平井博一郎、角田佳穂、橋本栗太朗、石岡康明、杉田寛和、高坂怜子

特任教授：高木宣雄、森 啓

非常勤講師：脇本仁奈、安東信行

【一般目標（GIO）】

歯科医師の業務に関わる基本的な手技や操作手順を理解する。病院・診療室内での受講を通し、それぞれが将来に向けて学習すべき項目について理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 歯の形態や本数について理解し、説明できる。
2. 基本的な口腔内の診査（診察）を理解し、説明できる。
3. 歯科学生として適切なブラークコントロールができる。
4. 医療面接の目的を説明することができ、コミュニケーションスキルを説明できる。
5. 血圧・脈拍の測定法を説明できる。
6. エックス線写真像から得られた歯科医学的情報を説明できる。
7. 歯科保健指導を体験する。
8. 口腔外科で代表的な埋伏歯、顎骨嚢胞、顎変形症の手術法と術後合併症を説明できる。

【教科書・参考書】

【教育（学習）方略（LS）】

歯科医師の業務に必要な基本的な手技や操作について説明、実習を行う。

自らの体験を通して歯科医療の特徴、歯科診療の流れを知り、今後の学習の参考とする。

グループ活動のなかで歯科保険指導のあり方、遣りようを工夫・創作する。

【フィードバック方法】

試験実施後、質問等がある場合はメールを科目担当教員に送ること。その後、講評等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

前期、後期それぞれ実習点（理解度チェック、小テスト、提出物を含む）を70%、実習態度（出席状況も考慮する）を30%として総合的に評価する。

【注意事項】

本実習は学年全体で行う授業、クラス単位で行う授業、クラスを二つに分けて行う授業と変化する。そのため授業により教室は変わるため事前に確認をすること。因みに授業日程のクラス表記はAクラスの前半がA、後半がB、Bクラスの前半がC、後半がD、Cクラスの前半がE、後半がF、Dクラスの前半がG、後半がHで表記されている。

実習はオムニバス授業なので教室、準備器材などの確認をして間違いの無いようにすること。

歯科医師として患者に信頼されるような服装・容姿にて実習に臨むこと。

講義や実習説明、資料総括、理解度チェックはキャンパスイン101教室で行う。

エックス線検査は本館2階 臨床実習、他で行う。

医療面接は本館 3 階 臨床予備実習室、他で行う。

バイタルサインの測定は本館 4 階多目的教室で行う。

状況により講義教室の変更もあるのでイントラ掲示を確認すること。補綴科の実習は本館 3 階西棟、衛生学院歯科技工実習室で行う。

口腔内診査は病院 2 階 診療室で行う。原則すべての実習中において白衣を持参、着用すること。

口腔外科の実習は、本館 5 階エレベーターホールに集合し、旧診療室で実習を行う。レポート用紙、筆記用具を持参すること。

30分

復 習：実習で実際に経験した事柄（失敗についても）を講義や実習帳などの当該箇所を読み比べて要点を抽出しノートにまとめ、整理すること（失敗の原因と対策など）。

【オフィスアワー】

月～金曜日 原則として17：30以降

谷内：本館 6 階西棟 615号室（0263-51-2144、E-mail：hidetoshi.taniuchi@mdu.ac.jp）

【授業日程】

入門歯科医学実習 第1学年（前期・後期）					
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
1	4月16日(水) 3時限	実習説明①	授業の要点と注意点を理解する。班構成を知る。	長内 秀 山田真一郎 谷内 秀寿 谷山 貴一 笠原 隼男 中村 浩志 森 啓 羽鳥 遼 宮國 茜	杉田 寛和 根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
2	4月16日(水) 4時限	実習説明②	授業の要点と注意点を理解する。班構成を知る。	長内 秀 山田真一郎 谷内 秀寿 谷山 貴一 笠原 隼男 中村 浩志 森 啓 羽鳥 遼 宮國 茜	杉田 寛和 根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
3	4月23日(水) 3時限	病院システムの説明①	地域中核病院、教育病院の組織構成を理解する。 地域社会におけるの病院の役割を理解する。	大木 絵美	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
4	4月23日(水) 4時限	病院システムの説明②	実習場所の事前案内を理解する。病院の受診システムを理解する。	大木 絵美	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
5	4月30日(水) 3時限	グループ討論（PBL）①	グループ討論を通じて、様々な意見交換と共有を図りコミュニケーションを図る。 信頼関係を確立するために、コミュニケーションの重要性を理解し、その能力を身に着ける。	森 啓 谷内 秀寿	伊能 利之 根津 英之
6	4月30日(水) 4時限	グループ討論（PBL）②	グループ討論を通じて、様々な意見交換と共有を図りコミュニケーションを図る。 信頼関係を確立するために、コミュニケーションの重要性を理解し、その能力を身に着ける。	森 啓 谷内 秀寿	伊能 利之 根津 英之
7	5月14日(水) 3時限	医療人としての心得①	歯科医療の現場で働く歯科医療人の話を聞き、実情を理解する。	増田 宜子 谷内 秀寿	
8	5月14日(水) 4時限	医療人としての心得②	歯科医療の現場で働く歯科医療人の話を聞き、実情を理解する。 感想文を作成する。	増田 宜子 谷内 秀寿	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
9	A 5月21日(水) 3時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群
	B 5月21日(水) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	C 5月21日(水) 3時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	D 5月21日(水) 3時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたブラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） ブラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したブラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明
	E 5月21日(水) 3時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	F 5月21日(水) 3時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	G 5月21日(水) 3時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	H 5月21日(水) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 中根 隆 檜本 達也 丸山 歩美 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
10	A 5月21日(水) 4時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	B 5月21日(水) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	C 5月21日(水) 4時限	補綴科	歯のデッサンを習得する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	D 5月21日(水) 4時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたブラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） ブラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したブラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明
	E 5月21日(水) 4時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	F 5月21日(水) 4時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	G 5月21日(水) 4時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	H 5月21日(水) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 中根 隆 檜本 達也 丸山 歩美 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
11	A 5月28日(水) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	B 5月28日(水) 3時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	C 5月28日(水) 3時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたブラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） ブラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したブラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明
	D 5月28日(水) 3時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	E 5月28日(水) 3時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	F 5月28日(水) 3時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	G 5月28日(水) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 中根 隆 檜本 達也 丸山 歩美 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	H 5月28日(水) 3時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
12	A 5月28日(水) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	B 5月28日(水) 4時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	C 5月28日(水) 4時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたプラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） プラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したプラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明
	D 5月28日(水) 4時限	補綴科	歯のデッサンを習得する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	E 5月28日(水) 4時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	F 5月28日(水) 4時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	G 5月28日(水) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	H 5月28日(水) 4時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
13	A 6月4日(水) 3時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	B 6月4日(水) 3時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたブラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。(想起) ブラークについて説明できる。(想起) 位相差顕微鏡で検鏡したブラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。(技能: 模倣) 口腔内常在菌叢について説明できる。(問題解決)	宮國 茜	石岡 康明
	C 6月4日(水) 3時限	麻酔科	バイタルサイン(血圧・脈拍)測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	D 6月4日(水) 3時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	E 6月4日(水) 3時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	F 6月4日(水) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	G 6月4日(水) 3時限	総合口腔診断科(医療コミュニケーション)	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	H 6月4日(水) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
14	A 6月4日(水) 4時限	補綴科	歯のデッサンを習得する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	B 6月4日(水) 4時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたブラーク観察の 相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。(想起) ブラークについて説明できる。(想起) 位相差顕微鏡で検鏡したブラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。(技能：模倣) 口腔内常在菌叢について説明できる。(問題解決)	宮國 茜	石岡 康明
	C 6月4日(水) 4時限	麻酔科	バイタルサイン (血圧・脈拍) 測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	D 6月4日(水) 4時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	E 6月4日(水) 4時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	F 6月4日(水) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	G 6月4日(水) 4時限	総合口腔診断科 (医療コミュニケーション)	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	H 6月4日(水) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴 (急性影響と晩発影響等) を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
15	A 6月11日(水) 3時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたプラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。(想起) プラークについて説明できる。(想起) 位相差顕微鏡で検鏡したプラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。(技能：模倣) 口腔内常在菌叢について説明できる。(問題解決)	宮國 茜	石岡 康明
	B 6月11日(水) 3時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	C 6月11日(水) 3時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	D 6月11日(水) 3時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	E 6月11日(水) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	F 6月11日(水) 3時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	G 6月11日(水) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	H 6月11日(水) 3時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
16	A 6月11日(水) 4時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたブラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。(想起) ブラークについて説明できる。(想起) 位相差顕微鏡で検鏡したブラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。(技能：模倣) 口腔内常在菌叢について説明できる。(問題解決)	宮國 茜	石岡 康明
	B 6月11日(水) 4時限	補綴科	歯のデッサンを習得する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一郎 加納 幸成 植野 裕司
	C 6月11日(水) 4時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	D 6月11日(水) 4時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	E 6月11日(水) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	F 6月11日(水) 4時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	G 6月11日(水) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	H 6月11日(水) 4時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 銓綺 周 易群

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者	補助者
17	A 6月18日(水) 3時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	B 6月18日(水) 3時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	C 6月18日(水) 3時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	D 6月18日(水) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	E 6月18日(水) 3時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	F 6月18日(水) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	G 6月18日(水) 3時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	H 6月18日(水) 3時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたブラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） ブラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したブラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
18	A 6月18日(水) 4時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	B 6月18日(水) 4時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	C 6月18日(水) 4時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	D 6月18日(水) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	E 6月18日(水) 4時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	F 6月18日(水) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	G 6月18日(水) 4時限	補綴科	歯のデッサンを習得する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	H 6月18日(水) 4時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたプラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） プラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したプラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
19	A 6月25日(水) 3時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	B 6月25日(水) 3時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	C 6月25日(水) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	D 6月25日(水) 3時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	E 6月25日(水) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	F 6月25日(水) 3時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 脇本 仁奈 伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群
	G 6月25日(水) 3時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたブラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） ブラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したブラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明
	H 6月25日(水) 3時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
20	A 6月25日(水) 4時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	B 6月25日(水) 4時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	C 6月25日(水) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	D 6月25日(水) 4時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	E 6月25日(水) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	F 6月25日(水) 4時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 脇本 仁奈 伊能 利之	根津 英之 洪 銓綺 周 易群
	G 6月25日(水) 4時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたブラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） ブラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したブラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明
	H 6月25日(水) 4時限	補綴科	歯のデッサンを習得する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
21	A 7月2日(水) 3時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	B 7月2日(水) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	C 7月2日(水) 3時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群
	D 7月2日(水) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	E 7月2日(水) 3時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	F 7月2日(水) 3時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたプラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） プラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したプラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明
	G 7月2日(水) 3時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	H 7月2日(水) 3時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
22	A 7月2日(水) 4時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	B 7月2日(水) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 檜本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	C 7月2日(水) 4時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	D 7月2日(水) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	E 7月2日(水) 4時限	補綴科	歯のデッサンを習得する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一郎 加納 幸成 植野 裕司
	F 7月2日(水) 4時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたプラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） プラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したプラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明
	G 7月2日(水) 4時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
	H 7月2日(水) 4時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
23	A 7月9日(水) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 檜本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	B 7月9日(水) 3時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	C 7月9日(水) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	D 7月9日(水) 3時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群
	E 7月9日(水) 3時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたブラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） ブラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したブラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明
	F 7月9日(水) 3時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	G 7月9日(水) 3時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	H 7月9日(水) 3時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
24	A 7月9日(水) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 檜本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	B 7月9日(水) 4時限	小児歯科	乳歯の構造・齲蝕の始まり	中村 浩志	
	C 7月9日(水) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	D 7月9日(水) 4時限	総合口腔診断科（医療コミュニケーション）	医療コミュニケーションの目的とその方法を理解する。 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。	森 啓 伊能 利之	根津 英之 洪 銓綺 周 易群
	E 7月9日(水) 4時限	保存科 位相差顕微鏡を用いたブラーク観察の相互実習	位相差顕微鏡の意義について説明できる。（想起） ブラークについて説明できる。（想起） 位相差顕微鏡で検鏡したブラーク画像のスケッチを行い、口腔内細菌の形態と種類を把握する。（技能：模倣） 口腔内常在菌叢について説明できる。（問題解決）	宮國 茜	石岡 康明
	F 7月9日(水) 4時限	補綴科	歯のデッサンを習得する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一郎 加納 幸成 植野 裕司
	G 7月9日(水) 4時限	地域連携 患者模擬体験実習	高齢者の身体的特性を理解する。	杉田 寛和	田村 瞬至
	H 7月9日(水) 4時限	麻酔科	バイタルサイン（血圧・脈拍）測定	谷山 貴一	西田 洋平 上田 敬介 友松 薫 橋本栗太郎
25	7月16日(水) 3時限	医療人としての心得③	歯科医療の現場で働く歯科医療人の話を聞き、実情を理解する。	高木 宜雄 谷内 秀寿	
26	7月16日(水) 4時限	医療人としての心得④	歯科医療の現場で働く歯科医療人の話を聞き、実情を理解する。 感想文を作成する。	高木 宜雄 谷内 秀寿	
27	7月23日(水) 3時限	理解度チェック		谷内 秀寿	
28	7月23日(水) 4時限	理解度チェック		谷内 秀寿	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
29	8月20日(水) 3時限	前期総括 各診療科の講評資料整理	講評を得る。 個々の資料を整理する。	長内 秀 山田真一郎 谷内 秀寿 谷山 貴一 笠原 隼男 中村 浩志 森 啓 羽鳥 遼 宮國 茜	杉田 寛和 根津 英之
30	8月20日(水) 4時限	前期総括 各診療科の講評資料整理、他	講評を得る。 個々の資料を整理する。	長内 秀 山田真一郎 谷内 秀寿 谷山 貴一 笠原 隼男 中村 浩志 森 啓 羽鳥 遼 宮國 茜	杉田 寛和 根津 英之
31	9月8日(月) 3時限	全体説明 各診療科の後期実習説明	授業の要点と注意点を理解する。班 構成を知る。	長内 秀 山田真一郎 谷内 秀寿 笠原 隼男 中村 浩志 喜多村洋幸 宮下 彩 羽鳥 遼 李 憲起 渡邊 遊理	田村 瞬至 根津 英之
32	9月8日(月) 4時限	全体説明 各診療科の後期実習説明	授業の要点と注意点を理解する。班 構成を知る。	長内 秀 山田真一郎 谷内 秀寿 笠原 隼男 中村 浩志 喜多村洋幸 宮下 彩 羽鳥 遼 李 憲起 渡邊 遊理	田村 瞬至 根津 英之
33	9月16日(火) 3時限	医療人としての心得⑤	歯科医療の現場で働く歯科医療人の 話を聞き、実情を理解する。	笠原 隼男 谷内 秀寿	
34	9月16日(火) 4時限	医療人としての心得⑥	歯科医療の現場で働く歯科医療人の 話を聞き、実情を理解する。 感想文を作成する。	笠原 隼男 谷内 秀寿	
35	9月29日(月) 3時限	グループ討論 (PBL) ③	グループ討論を通じて、様々な意見 交換と共有を図りコミュニケーション を図る。 信頼関係を確立するために、コミュ ニケーションの重要性を理解し、そ の能力を身に着ける。	森 啓 谷内 秀寿 高谷 達夫 岩崎由紀子 伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群
36	9月29日(月) 4時限	グループ討論 (PBL) ④	グループ討論を通じて、様々な意見 交換と共有を図りコミュニケーション を図る。 信頼関係を確立するために、コミュ ニケーションの重要性を理解し、そ の能力を身に着ける。	森 啓 谷内 秀寿 高谷 達夫 岩崎由紀子 伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
37	A 10月6日(月) 3時限	総合口腔診断科 (口腔内診査)	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之 安東 信行	根津 英之 洪 銓綺 周 易群
	B 10月6日(月) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	C 10月6日(月) 3時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	D 10月6日(月) 3時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。(想起) 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。(想起) 3. 色彩計を操作できる。(技能: 模倣) 4. 色調を評価できる。(解釈) 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック(鏡視)の必要性を説明できる。(想起) 6. 鏡視下で器具を操作できる。(技能: コントロール)	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	EF 10月6日(月) 3時限	地域連携歯科	高齢者の食事情、摂食嚥下障害について理解する	田村 瞬至	杉田 寛和
	G 10月6日(月) 3時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	H 10月6日(月) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
38	A 10月6日(月) 4時限	総合口腔診断科 (口腔内診査)	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之 安東 信行	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群
	B 10月6日(月) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	C 10月6日(月) 4時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	D 10月6日(月) 4時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。(想起) 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。(想起) 3. 色彩計を操作できる。(技能:模倣) 4. 色調を評価できる。(解釈) 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック(鏡視)の必要性を説明できる。(想起) 6. 鏡視下で器具を操作できる。(技能:コントロール)	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	EF 10月6日(月) 4時限	地域連携歯科	高齢者の食事情、摂食嚥下障害について理解する	田村 瞬至	杉田 寛和
	G 10月6日(月) 4時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	H 10月6日(月) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 楢本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
39	A 10月15日(水) 3 時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	B 10月15日(水) 3 時限	総合口腔診断科（口腔内診査）	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之 脇本 仁奈	根津 英之 洪 周 易群
	C 10月15日(水) 3 時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。（想起） 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。（想起） 3. 色彩計を操作できる。（技能：模倣） 4. 色調を評価できる。（解釈） 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック（鏡視）の必要性を説明できる。（想起） 6. 鏡視下で器具を操作できる。（技能：コントロール）	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	D 10月15日(水) 3 時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	EF 10月15日(水) 3 時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	G 10月15日(水) 3 時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 檜本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	H 10月15日(水) 3 時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
40	A 10月15日(水) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	B 10月15日(水) 4時限	総合口腔診断科（口腔内診査）	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之 脇本 仁奈	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	C 10月15日(水) 4時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。（想起） 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。（想起） 3. 色彩計を操作できる。（技能：模倣） 4. 色調を評価できる。（解釈） 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック（鏡視）の必要性を説明できる。（想起） 6. 鏡視下で器具を操作できる。（技能：コントロール）	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	D 10月15日(水) 4時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	EF 10月15日(水) 4時限	補綴科	上顎小臼歯の石膏彫刻を体験する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	G 10月15日(水) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 檜本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	H 10月15日(水) 4時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
41	A 10月20日(月) 3時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	B 10月20日(月) 3時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。(想起) 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。(想起) 3. 色彩計を操作できる。(技能：模倣) 4. 色調を評価できる。(解釈) 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック(鏡視)の必要性を説明できる。(想起) 6. 鏡視下で器具を操作できる。(技能：コントロール)	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	CD 10月20日(月) 3時限	地域連携歯科	高齢者の食事情、摂食嚥下障害について理解する	田村 瞬至	杉田 寛和
	E 10月20日(月) 3時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	F 10月20日(月) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	G 10月20日(月) 3時限	総合口腔診断科 (口腔内診査)	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	H 10月20日(月) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
42	A 10月20日(月) 4 時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	B 10月20日(月) 4 時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。(想起) 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。(想起) 3. 色彩計を操作できる。(技能：模倣) 4. 色調を評価できる。(解釈) 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック(鏡視)の必要性を説明できる。(想起) 6. 鏡視下で器具を操作できる。(技能：コントロール)	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	CD 10月20日(月) 4 時限	地域連携歯科	高齢者の食事情、摂食嚥下障害について理解する	田村 瞬至	杉田 寛和
	E 10月20日(月) 4 時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	F 10月20日(月) 4 時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	G 10月20日(月) 4 時限	総合口腔診断科 (口腔内診査)	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群
	H 10月20日(月) 4 時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
43	A 10月27日(月) 3 時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。(想起) 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。(想起) 3. 色彩計を操作できる。(技能：模倣) 4. 色調を評価できる。(解釈) 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック(鏡視)の必要性を説明できる。(想起) 6. 鏡視下で器具を操作できる。(技能：コントロール)	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	B 10月27日(月) 3 時限	H 10月28日(月) 3 時限 +B197	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	CD 10月27日(月) 3 時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一郎 加納 幸成 植野 裕司
	E 10月27日(月) 3 時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	F 10月27日(月) 3 時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	G 10月27日(月) 3 時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	H 10月27日(月) 3 時限	総合口腔診断科 (口腔内診査)	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
44	A 10月27日(月) 4 時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。(想起) 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。(想起) 3. 色彩計を操作できる。(技能: 模倣) 4. 色調を評価できる。(解釈) 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック(鏡視)の必要性を説明できる。(想起) 6. 鏡視下で器具を操作できる。(技能: コントロール)	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	B 10月27日(月) 4 時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	CD 10月27日(月) 4 時限	補綴科	上顎小白歯の石膏彫刻を体験する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一郎 加納 幸成 植野 裕司
	E 10月27日(月) 4 時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	F 10月27日(月) 4 時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	G 10月27日(月) 4 時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	H 10月27日(月) 4 時限	総合口腔診断科(口腔内診査)	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
45	AB 11月6日(木) 3時限	地域連携歯科	高齢者の食事情、摂食嚥下障害について理解する	田村 瞬至	杉田 寛和
	C 11月6日(木) 3時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	D 11月6日(木) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	E 11月6日(木) 3時限	総合口腔診断科（口腔内診査）	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 銑綺 周 易群
	F 11月6日(木) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	G 11月6日(木) 3時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	H 11月6日(木) 3時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。（想起） 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。（想起） 3. 色彩計を操作できる。（技能：模倣） 4. 色調を評価できる。（解釈） 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック（鏡視）の必要性を説明できる。（想起） 6. 鏡視下で器具を操作できる。（技能：コントロール）	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
46	AB 11月6日(木) 4時限	地域連携歯科	高齢者の食事情、摂食嚥下障害について理解する	田村 瞬至	杉田 寛和
	C 11月6日(木) 4時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	D 11月6日(木) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	E 11月6日(木) 4時限	総合口腔診断科（口腔内診査）	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群
	F 11月6日(木) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	G 11月6日(木) 4時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	H 11月6日(木) 4時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。（想起） 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。（想起） 3. 色彩計を操作できる。（技能：模倣） 4. 色調を評価できる。（解釈） 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック（鏡視）の必要性を説明できる。（想起） 6. 鏡視下で器具を操作できる。（技能：コントロール）	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
47	AB 11月10日(月) 3 時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	C 11月10日(月) 3 時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 檜本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	D 11月10日(月) 3 時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	E 11月10日(月) 3 時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	F 11月10日(月) 3 時限	総合口腔診断科（口腔内診査）	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 鉦綺 周 易群
	G 11月10日(月) 3 時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。（想起） 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。（想起） 3. 色彩計を操作できる。（技能：模倣） 4. 色調を評価できる。（解釈） 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック（鏡視）の必要性を説明できる。（想起） 6. 鏡視下で器具を操作できる。（技能：コントロール）	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	H 11月10日(月) 3 時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
48	AB 11月10日(月) 4 時限	補綴科	上顎小臼歯の石膏彫刻を体験する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
	C 11月10日(月) 4 時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	D 11月10日(月) 4 時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	E 11月10日(月) 4 時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	F 11月10日(月) 4 時限	総合口腔診断科（口腔内診査）	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	G 11月10日(月) 4 時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。（想起） 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。（想起） 3. 色彩計を操作できる。（技能：模倣） 4. 色調を評価できる。（解釈） 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック（鏡視）の必要性を説明できる。（想起） 6. 鏡視下で器具を操作できる。（技能：コントロール）	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	H 11月10日(月) 4 時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
49	A 11月17日(月) 3 時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児 歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	B 11月17日(月) 3 時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 檜本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	C 11月17日(月) 3 時限	総合口腔診断科 (口腔内診査)	口腔内診査の目的とその手技や機材 の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 珪綺 周 易群
	D 11月17日(月) 3 時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴 (急性 影響と晩発影響等) を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原 理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的 特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	E 11月17日(月) 3 時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説 明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症 を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合 併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	F 11月17日(月) 3 時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。(想起) 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。 (想起) 3. 色彩計を操作できる。(技能: 模倣) 4. 色調を評価できる。(解釈) 5. 歯科臨床におけるミラーテク ニック (鏡視) の必要性を説明 できる。(想起) 6. 鏡視下で器具を操作できる。 (技能: コントロール)	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	GH 11月17日(月) 3 時限	地域連携歯科	高齢者の食事情、摂食嚥下障害に ついて理解する	田村 瞬至	杉田 寛和

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
50	A 11月17日(月) 4 時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	B 11月17日(月) 4 時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 橋本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	C 11月17日(月) 4 時限	総合口腔診断科 (口腔内診査)	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 錕 周 綺 易 群
	D 11月17日(月) 4 時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	E 11月17日(月) 4 時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	F 11月17日(月) 4 時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。(想起) 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。(想起) 3. 色彩計を操作できる。(技能: 模倣) 4. 色調を評価できる。(解釈) 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック(鏡視)の必要性を説明できる。(想起) 6. 鏡視下で器具を操作できる。(技能: コントロール)	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	GH 11月17日(月) 4 時限	地域連携歯科	高齢者の食事情、摂食嚥下障害について理解する	田村 瞬至	杉田 寛和

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
51	A 12月1日(月) 3時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 檜本 達也 中根 隆 倉科 勇太 宮脇 理功 平岡 敬太
	B 12月1日(月) 3時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児 歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	C 12月1日(月) 3時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性 影響と晩発影響等）を説明できる。 エックス線装置とその周辺機器の原 理と管理技術を説明できる。 パノラマエックス線撮影法の基本的 特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	D 12月1日(月) 3時限	総合口腔診断科（口腔内診査）	口腔内診査の目的とその手技や機材 の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 鈺綺 周 易群
	E 12月1日(月) 3時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。（想 起） 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。 （想起） 3. 色彩計を操作できる。（技能： 模倣） 4. 色調を評価できる。（解釈） 5. 歯科臨床におけるミラーテク ニック（鏡視）の必要性を説明 できる。（想起） 6. 鏡視下で器具を操作できる。 （技能：コントロール）	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	F 12月1日(月) 3時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説 明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症 を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合 併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	GH 12月1日(月) 3時限	補綴科	歯の解剖学に必要な基本的用語を理 解する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者	補助者
52	A 12月1日(月) 4時限	矯正歯科	形態的検査について理解する	川原 良美 羽鳥 遼	村岡 理奈 丸山 歩美 中根 達也 倉科 隆 宮脇 勇太 平岡 理功 敬太
	B 12月1日(月) 4時限	小児歯科	小児期の成長発育を理解する。小児歯科診療を理解する。	中村 浩志	
	C 12月1日(月) 4時限	放射線科	放射線の人体への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。パノラマエックス線撮影法の基本的特徴と解剖を理解できる。	長内 秀 山田真一郎	
	D 12月1日(月) 4時限	総合口腔診断科（口腔内診査）	口腔内診査の目的とその手技や機材の使用方法を理解する。	伊能 利之	根津 英之 洪 錕 周 綺 易 群
	E 12月1日(月) 4時限	保存科 1. 色の測定 2. ミラーテクニック実習	1. 光の色特性を説明できる。（想起） 2. $L^*a^*b^*$ 表色系を説明できる。（想起） 3. 色彩計を操作できる。（技能：模倣） 4. 色調を評価できる。（解釈） 5. 歯科臨床におけるミラーテクニック（鏡視）の必要性を説明できる。（想起） 6. 鏡視下で器具を操作できる。（技能：コントロール）	亀山 敦史 小町谷美帆 小松 佐保 宮下 彩 甲田 訓子 中村 圭吾	高坂 怜子
	F 12月1日(月) 4時限	口腔外科	1. 埋伏歯抜去の方法と合併症を説明する。 2. 顎骨嚢胞の治療方法と、合併症を説明する。 3. 顎変形症の外科的治療方法と合併症を説明する。	李 憲起 渡邊 遊理	
	GH 12月1日(月) 4時限	補綴科	上顎小臼歯の石膏彫刻を体験する。	谷内 秀寿 笠原 隼男	平井博一朗 加納 幸成 植野 裕司
53	12月8日(月) 3時限	医療人としての心得⑦	歯科医療の現場で働く歯科医療人の話を聞き、実情を理解する。	内田 啓一 谷内 秀寿	
54	12月8日(月) 4時限	医療人としての心得⑧	歯科医療の現場で働く歯科医療人の話を聞き、実情を理解する。感想文を作成する。	内田 啓一 谷内 秀寿	
55	12月15日(月) 3時限	プロフェッショナリズム①	プロフェッショナリズムの定義を知る。歯科医療におけるプロフェッショナリズムを患者視点で考える。	音琴 淳一 谷内 秀寿	
56	12月15日(月) 4時限	プロフェッショナリズム②	求められる歯科医師像を知る。求められる像に対応する方法を考える。	音琴 淳一 谷内 秀寿	
57	12月22日(月) 3時限	理解度チェック		谷内 秀寿	

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者	補助者
58	12月22日(月) 4 時限	理解度チェック		谷内 秀寿	
59	1 月 5 日(月) 3 時限	後期総括 各診療科の講評資料整理	授業担当教員による講評を受ける。 個々の資料を整理する。	長内 秀 山田真一郎 谷内 秀寿 笠原 隼男 中村 浩志 宮下 彩 羽鳥 遼 李 憲起 渡邊 遊理	田村 瞬至 根津 英之
60	1 月 5 日(月) 4 時限	後期総括 各診療科の講評資料整理、他	授業担当教員による講評を受ける。 個々の資料を整理する。他	長内 秀 山田真一郎 谷内 秀寿 笠原 隼男 中村 浩志 宮下 彩 羽鳥 遼 李 憲起 渡邊 遊理	田村 瞬至 根津 英之

人 体 機 能 学 (A1041)

第1学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教 授：北川純一

【一般目標（GIO）】

組織・器官のしくみや役割を学び、人体の機能について本質的な理解をする。

【行動目標（SBOs）】

1. 人体の各機能について、その特徴と役割を理解することができる。
2. 人体の各機能が、どのような分子・細胞メカニズムによって成立しているかを理解し説明することができる。

【教育（学習）方略（LS）】

PowerPoint の資料および板書を用いて解説する。講義内容を暗記するというより、自分でも考えて理解するつもりで参加してほしい。

【フィードバック方法】

Weekly Test で正答率の低い問題があれば、授業の中で解説する。レポートの体裁・書き方等についても適宜授業の中でフィードバックする。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test（20%）および定期試験（80%）の成績により評価する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

40分

予 習：前回の講義資料を見返す。（10分）

復 習：講義資料を見返し、復習する（30分）。

【オフィスアワー】

随時、質問は受け付ける。

実習館3階 生理学講座教授室

【授業日程】

人 体 機 能 学 第1学年（前期）				
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	4月14日(月) 4時限	イントロダクション：人体の機能とは何か	人体の機能について考える。	北川 純一
2	4月21日(月) 4時限	異化	食物を摂取、消化、吸収し、吸収した物質の分解によって、細胞の様々な活動に利用するエネルギーを作り出すしくみを理解する。また細胞で生じた老廃物を分解し排出するしくみを理解する。	北川 純一
3	4月28日(月) 4時限	同化	食物から吸収した物質を材料として、人体を構成する様々な物質を合成するしくみを理解する。	北川 純一
4	5月12日(月) 4時限	呼吸	呼吸によって、細胞が必要とする酸素が取り込まれ二酸化炭素が排出されるしくみを理解する。	北川 純一
5	5月19日(月) 4時限	循環	循環器系の働きによって、細胞が必要とする酸素や栄養が供給され、供給される器官の種類や状況に応じてそれが適切に調節されるしくみを理解する。	北川 純一
6	5月26日(月) 4時限	排泄	老廃物が適切に排泄され、必要な物質はきちんと保持されることにより体液の恒常性が保たれるしくみを理解する。	北川 純一
7	6月2日(月) 4時限	内分泌	様々なホルモンの働きにより人体の恒常性が維持されるしくみを理解する。	北川 純一
8	6月9日(月) 4時限	興奮性細胞	興奮性細胞について説明できる。	北川 純一
9	6月16日(月) 4時限	活動電位	活動電位の発生について説明できる。	北川 純一
10	6月23日(月) 4時限	神経系の機能	ニューロンの基本的な動作原理とシナプスでの伝達を理解する。	北川 純一
11	6月30日(月) 4時限	筋肉と運動	骨格筋の収縮機構と運動反射によって身体が外界からの刺激に適切に反応するしくみを理解する。	北川 純一
12	7月7日(月) 4時限	感覚(1)	特殊感覚について説明できる。	北川 純一
13	7月14日(月) 4時限	感覚(2)	体性感覚のしくみについて説明できる。	北川 純一
14	7月28日(月) 4時限	中枢神経系	ニューロンのはたらきについて説明できる。 脊髄反射について説明できる。	北川 純一
15	8月18日(月) 4時限	末梢神経系	交感神経、副交感神経の機能について説明できる。	北川 純一

環境学・国際文化学 (A1046)

第1学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：宇田川信之、中村美どり

特任教授：小野珠乙

非常勤講師：マエムラ ユウ オリバー、矢ヶ崎一浩、矢ヶ崎怜央

【一般目標（GIO）】

松本歯科大学の教育目標である豊かな教養と高い人格を備えた国民の保健、医療、福祉に貢献できる人材の育成を図る。そのために、世界的視野を涵養することを目的として、英会話能力・海洋環境・地球環境・国際文化（英国における教育システム）・動物の社会的役割に関する知識を身につける。

【行動目標（SBOs）】

1. 英会話によるコミュニケーション能力の向上を目指し、国際交流の重要性を理解する。
2. 海洋環境の仕組みと海洋資源に関する未知の世界を理解する。
3. 英国における教育システムや口腔衛生の実態を理解する。
4. 世界各地における動物の利用の歴史と遺伝的改良に関する知識を身につける。

【教科書・参考書】

配布資料

【教育（学習）方略（LS）】

様々な専門分野を持つ複数講師によるオムニバス形式の科目である。内容によっては、ディスカッションや発表を通して受講者の能力向上を図る。

【フィードバック方法】

講義に関する疑問や質問がある場合は、講義終了後に対応する。必要であれば、学生イントラに回答を掲載し解説する。

【評価方法（Evaluation）】

各講義で提出されるテーマに関するディスカッションへの積極的参加や提出課題のクオリティを総合して評価する。講義内容によっては、Weekly Test および定期試験を行い、それぞれ20%と80%の割合で総合的に評価する。

【注意事項】

筆記用具は必ず持参し、遅刻はしないこと。講義内容によっては、英語で指導を行う。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について把握すること。（5分）

復 習：講義資料やノートなどを用いて、当日学んだ知識を再確認すること（25分）

【オフィスアワー】

講義終了後に教室において行う。

小野珠乙メールアドレス：tamaoono@gmail.com

【授業日程】

環境学・国際文化学				
第1学年（前期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	4月14日(月) 3時限	環境学・国際文化学を学ぶ意義について	松本歯科大学の教育目標である世界的視野を涵養することを目的として行われる本講義（英会話能力・海洋環境・地球環境・国際文化・動物の社会的役割）の意義について理解する。	宇田川信之 中村美どり 小野 珠乙
2	4月21日(月) 3時限	動物利用の歴史の概要：人はどのような野生動物を利用するようになったか？	動物の利用は目的により長期間にわたり人為的な育種、選抜が行われ、様々な大きさ、外貌、能力、気質をもった品種が作出されている。この「動物利用」の変遷、品種成立の歴史的背景を理解し、幅広い視野に立脚した豊かな人間性と教養を修得する。	小野 珠乙
3	4月28日(月) 3時限	メンデル以前の動物の遺伝育種と品種の改良について。	「家畜育種の父」と称されるロバート・ベイクウエル（イギリス人、1725～1795）の業績と世界およびわが国の動物改良の歴史を理解し、食料生産に関わる科学性、実践性、独創性及び倫理性を備えた知識を修得する。	小野 珠乙
4	5月12日(月) 3時限	ウマの利用の歴史と遺伝的改良について。	世界各地におけるウマの品種改良、産業の発展、人と関わってきた文化や歴史について理解し、幅広い視野に立脚した豊かな人間性と教養を修得する。	小野 珠乙
5	5月19日(月) 3時限	ブタの利用の歴史と遺伝的改良について。	ブタの起源、特性と利用、伝搬拡散、品種について理解し、食料生産に関わる科学性、倫理性を備えた知識を修得する。	小野 珠乙
6	5月26日(月) 3時限	ヒツジとヤギの利用の歴史と遺伝的改良について。	ヒツジとヤギの起源、特性と利用、伝搬拡散、品種について幅広い教養を修得する。さらに利用目的により長期間にわたり人為的な育種、選抜が行われ、様々な品種が作出された歴史的背景を理解する。	小野 珠乙
7	6月2日(月) 3時限	英会話による自己紹介の作成	英会話を用いて自己紹介が出来る。	マエムラ ユウ オリバー
8	6月9日(月) 3時限	英文による履歴書の作成	英文によるグローバルスタンダードの履歴書を作成する。	マエムラ ユウ オリバー
9	6月16日(月) 3時限	英国の寄宿学校とは？ なぜ歯科医師となることを決めたのですか？ FIRST STEP OF ADULTHOOD	海外（英国）の国際文化を理解する。 ・ Living on your own for the first time and the similarities to British boarding school – university accommodation. Feeling nervous about living alone but also the excitement of the freedom. ・ The flow of boarding school and the normalities that are surprises in Japan. ・ Why did you decide to go to university and why you decided to become a dentist?	矢ヶ崎 怜央
10	6月23日(月) 3時限	英国の口腔衛生の実態 医薬品の安全と信頼 ORAL HYGIENE DIFFERENT IN UK ? DRUG MEDICATION	What comes to mind first when you think of medications? ・ How easily do you take medications? ・ Thought about safety and trust – What steps are taken to make them safe even after they are approved for public use. ・ Advertising medications in the media.	矢ヶ崎 怜央
11	6月30日(月) 3時限	ニワトリの利用の歴史と遺伝的改良について。	ニワトリの起源、特性と利用、伝搬拡散、品種について理解する。様々な動物が人と関わってきた文化や歴史について理解し、人類の知の継承と未来創造マインド、動物に関する広い知識を習得して、生命科学の進展や関連産業の需要に柔軟に対応しうる能力を修得する。	小野 珠乙

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
12	7月7日(月) 3時限	ニワトリの卵肉の利用の歴史と遺伝的改良について	ニワトリの卵肉は世界各国で利用されてきている。その理由について理解する。	小野 珠乙
13	7月14日(月) 3時限	ネコから得られる遺伝情報について。	ネコの毛色等の外見的特徴は遺伝的に支配されている。身近なネコの外貌から得られる遺伝情報について理解する。	小野 珠乙
14	7月28日(月) 3時限	地球環境システム：海 海洋環境の仕組みと未知の世界の紹介	海洋学とは一体何かを理解し、海の意外な力を海流から気象システムとの関連で説明できる。海は自然の宝箱であり、海洋資源から遺伝子のオリジンが明らかにできることを理解する。	矢ヶ崎一浩
15	8月18日(月) 3時限	地球環境システム：社会と環境 人間と環境で今話題の分野を紹介そして議論	次世代エネルギー、電気自動車（本当に環境に良いか?）、世界中に増え続けるゴミ・プラスチック問題について理解する。	矢ヶ崎一浩

体 育

(A1050)

第1学年（前期・後期）
実技 必修

【担当者】

教 授：安藤 宏

特任教授：米窪伸一郎

【一般目標（GIO）】

1. スポーツ活動を通じて、ストレス及び運動不足を解消し、歯科医学生に必要な健康・体力の維持増進をはかる。
2. 規則正しい生活習慣を身につけ、自主性や協調性など、社会の一員として豊かな人間関係を築くために必要な資質と態度を養う。
3. 生涯にわたり生活をより豊かにするために、スポーツを通して余暇活動を楽しむことのできる能力を高める。

【行動目標（SBOs）】

1. 健康の維持管理を目的に自ら進んで行動する。
2. スポーツを通じて自分と人との違いに気づき、お互いを認め合い協力する心を養う。
3. 生涯にわたってスポーツによる快適な汗をかき、楽しむことのできる技術を身に付ける。

【教科書・参考書】

〔参考書〕 必要に応じてプリントを配布する

【教育（学習）方略（LS）】

1. 授業形態は、一斉授業（トレーニング等）と選択制授業で行う。
2. 実技授業であることを鑑み、自主的かつ積極的に行動することを目標に授業展開する。

【フィードバック方法】

随時、質問・相談等に対応する。

【評価方法（Evaluation）】

出欠席状況（50%）、自己評価（30%）、授業態度・課題提出・服装（20%）で評価する。

【注意事項】

1. 各自で用意した運動着、運動用シューズ（体育館用とグラウンド用の2足を用意）を着用し、授業開始時刻に遅れないこと。
2. 実施にあたり学年全体を2班に分けるので、担当者の指示に従い授業参加すること。
3. 道具を大切に使い、使用後は元にあった場所に整理整頓し片付けること。

【準備学習時間（予習・復習）】

10分

予 習：毎回の授業前にしっかりストレッチ等準備運動を行い、怪我等のないように注意すること。

【オフィスアワー】

随時、質問・相談等に対応する。

【授業日程】

体 育 第1学年（前期・後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	AB 4月17日(木) 3時限	1. オリエンテーション 2. 学生の実態把握（体ほぐし運動、ストレッチ運動、軽いジョギング、体幹力チェック等） 3. 選択体育の種目編成の調査（バドミントン、卓球、ゴルフ）	1. 授業目標を理解する 2. 自分の柔軟性を自覚する	安藤 宏 米窪伸一郎
	CD 4月18日(金) 4時限			安藤 宏 米窪伸一郎
2	AB 4月24日(木) 3時限	1. 体幹を鍛えることの重要性について（講話） 2. 体幹を鍛える（Chapter1 体幹を鍛える前にまずはストレッチ～肩～胸～背中・腰～体側～もも裏・股関節のストレッチ） 3. 「歩く」（3分）→「速歩」（3分）→「ジョギング」（5分）	1. ストレッチの意義を理解し正確な実技をできるようにする 2. 「速歩」を理解する	米窪伸一郎
	CD 4月25日(金) 4時限			米窪伸一郎
3	AB 5月1日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える（Chapter2 体幹トレーニングで代謝を上げる～体幹トレーニングの基本ルールの理解～タッチトゥトゥズ、ニーツーエルボー、ハンズアップスクワット等の実践） 2. 「歩く」（3分）→「速歩」（3分）→「ジョギング」（5分）	1. 体幹トレーニングの基本ルールを理解する 2. 正しいフォームでトレーニングを行う	米窪伸一郎
	CD 5月2日(金) 4時限			米窪伸一郎
4	AB 5月8日(木) 3時限	1. 体幹トレーニング（レッグバランス、チェアスクワット、アプアイソメトリック等の実践） 2. 「歩く」（3分）→「速歩」（3分）→「ジョギング」（5分）	1. 正しいフォームでトレーニングを行う 2. 速歩のペースを把握する	米窪伸一郎
	CD 5月9日(金) 4時限			米窪伸一郎
5	AB 5月15日(木) 3時限	1. 体幹トレーニング（サイドブリッジ、ボディトランクツイスト、レッグエクステンション等の実践） 2. 「歩く」（3分）→「速歩」（3分）→「ジョギング」（5分）	1. 正しいフォームでトレーニングを行う 2. 速歩のペースを把握する	米窪伸一郎
	CD 5月16日(金) 4時限			米窪伸一郎
6	AB 5月22日(木) 3時限	1. 体幹トレーニング（フライングドッグ、アームリスト、ヒップロール等の実践） 2. 「歩く」（3分）→「速歩」（3分）→「ジョギング」（5分）	1. 正しいフォームでトレーニングを行う 2. 速歩のペースを把握する	米窪伸一郎
	CD 5月23日(金) 4時限			米窪伸一郎
7	AB 5月29日(木) 3時限	1. 下半身の筋力チェックと大腰筋のトレーニング法（椅子を使った） 2. 「歩く」（3分）→「速歩」（3分）→「ジョギング」（5分） 3. 選択体育（バドミントン、卓球、ゴルフ）	1. 正しいフォームでトレーニングを行う 2. 選択体育を楽しむ	米窪伸一郎
	CD 5月30日(金) 4時限			米窪伸一郎

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
8	AB 6月5日(木) 3時限	1. 壁ドンストレッチと「相撲」トレ (四股を踏む) 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 正しいフォームでトレーニングを行う 2. 選択体育を楽しむ	米窪伸一郎
	CD 6月6日(金) 4時限			米窪伸一郎
9	AB 6月12日(木) 3時限	1. インターバル速歩を知ろう 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分)	1. 正しいフォームでトレーニングを行う 2. 選択体育を楽しむ	米窪伸一郎
	CD 6月13日(金) 4時限			米窪伸一郎
10	AB 6月19日(木) 3時限	1. 体幹トレーニング 7種目の実践 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 正しいフォームでトレーニングを行う。 2. 選択体育を楽しむ。	米窪伸一郎
	CD 6月20日(金) 4時限			米窪伸一郎
11	AB 6月26日(木) 3時限	1. 体幹トレーニング 7種目の実践 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 正しいフォームでトレーニングを行う 2. 選択体育を楽しむ	米窪伸一郎
	CD 6月27日(金) 4時限			米窪伸一郎
12	AB 7月3日(木) 3時限	1. 体幹トレーニング 7種目の実践 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 正しいフォームでトレーニングを行う。 2. 選択体育を楽しむ。	米窪伸一郎
	CD 7月4日(金) 4時限			米窪伸一郎
13	AB 7月10日(木) 3時限	1. 相撲トレの実践 2. 選択体育	1. 正しいフォームでトレーニングを行う 2. 選択体育を楽しむ	米窪伸一郎
	CD 7月11日(金) 4時限			米窪伸一郎
14	AB 7月17日(木) 3時限	1. 相撲トレの実践 2. 選択体育	1. 正しいフォームでトレーニングを行う 2. 選択体育を楽しむ	米窪伸一郎
	CD 7月18日(金) 4時限			米窪伸一郎
15	AB 7月24日(木) 3時限	1. 体幹トレーニング 2. 選択体育 3. 個人面接	1. 正しいフォームでトレーニングを行う 2. 選択体育を楽しむ	米窪伸一郎
	CD 7月25日(金) 4時限			米窪伸一郎

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
16	AB 9月11日(木) 3時限	1. 後期授業オリエンテーション (授業計画等) 2. 体幹トレーニングの実践 3. インターバル速歩 (30分) 4. 相撲トレ	1. 「体力づくり」を習慣化する方法を知る 2. 正確なインターバル速歩を行う	安藤 宏 米窪伸一郎
	CD 9月12日(金) 3時限			安藤 宏 米窪伸一郎
17	AB 9月18日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える (Chapter 3 目的別プログラムの選択と実践～「体力を取り戻す」「お腹凹ませ」「ダイエット効果向上」「見た目年齢マイナス10歳」「ゴルフ飛距離・スコアアップ」「肩こり解消」「腰痛解消」) 2. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムを実践する (1ヵ月目) 2. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 9月19日(金) 3時限			米窪伸一郎
18	AB 9月25日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える (Chapter 3 目的別プログラム) 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムを実践する 2. 正確なインターバル速歩を実践する 3. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 9月26日(金) 3時限			米窪伸一郎
19	AB 10月2日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える (Chapter 3 目的別プログラム) 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムを実践する 2. 正確なインターバル速歩を実践する 3. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 10月3日(金) 3時限			米窪伸一郎
20	AB 10月9日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える (Chapter 3 目的別プログラム) 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムを実践する 2. 正確なインターバル速歩を実践する 3. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 10月10日(金) 3時限			米窪伸一郎
21	AB 10月16日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える (Chapter 3 目的別プログラム) 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムを実践する 2. 正確なインターバル速歩を実践する 3. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 10月17日(金) 3時限			米窪伸一郎
22	AB 10月23日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える (Chapter 3 目的別プログラム) 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムを実践する 2. 正確なインターバル速歩を実践する 3. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 10月24日(金) 3時限			米窪伸一郎
23	AB 10月30日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える (Chapter 3 目的別プログラム) 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムを実践する 2. 正確なインターバル速歩を実践する 3. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 10月31日(金) 3時限			米窪伸一郎

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
24	AB 11月13日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える (Chapter 3 目的別プログラム) 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムを実践する 2. 正確なインターバル速歩を実践する 3. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 11月7日(金) 3時限			米窪伸一郎
25	AB 11月20日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える (Chapter 3 目的別プログラム) 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムを実践する 2. 正確なインターバル速歩を実践する 3. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 11月14日(金) 3時限			米窪伸一郎
26	AB 11月27日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える (Chapter 3 目的別プログラム) 2. 「歩く」(3分) → 「速歩」(3分) → 「ジョギング」(5分) 3. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムを実践する 2. 正確なインターバル速歩を実践する 3. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 11月21日(金) 3時限			米窪伸一郎
27	AB 12月4日(木) 3時限	1. 体幹を鍛える (Chapter 3 目的別プログラム) 2. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムを実践する 2. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 11月28日(金) 3時限			米窪伸一郎
28	AB 12月11日(木) 3時限	1. 『私のトレーニングメニュー』の提出 2. 選択体育	1. 目的に合ったプログラムの実践効果を分析する 2. 選択種目の技術を向上させる	米窪伸一郎
	CD 12月5日(金) 3時限			米窪伸一郎
29	AB 12月18日(木) 3時限	1. 『私のトレーニングメニュー』の実践 2. 個人面接	1. 目的に合ったプログラムを実践する	米窪伸一郎
	CD 12月12日(金) 3時限			米窪伸一郎
30	AB 1月8日(木) 3時限	1. 『私のトレーニングメニュー』の実践 2. 個人面接	1. 目的に合ったプログラムを実践する	米窪伸一郎
	CD 12月19日(金) 3時限			米窪伸一郎

情報リテラシー (A1060)

第1学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教 授：宇田川信之、中村美どり
准教授：中村浩志、楊 静
講 師：上原俊介

【一般目標（GIO）】

PC 操作の基本、キーボード操作、学生ネットワーク、Microsoft Office 各種ソフトの使い方に関する知識・技術の習得に加え、インターネットを通じさまざまなデータベースから情報を的確に収集・検索する能力（メディアリテラシー）および情報倫理に関する知識を身につける。

【行動目標（SBOs）】

1. 大学が提供する学生ネットワーク環境を理解し、正しくかつ積極的に活用できる。
2. Microsoft Windows10の基本操作ができる。
3. Microsoft Office Word 2016の基本操作とその活用ができる。
4. Microsoft Office Power Point 2016の基本操作とその活用ができる。
5. Microsoft Office Excel 2016の基本操作とその活用ができる。
6. 電子メールおよびインターネットを使用する際の留意事項を理解し、必要に応じて正しくかつ適切に活用できる。
7. Power Point を用いて目的に応じた適切かつ魅力的なプレゼンテーションができる。
8. Excel を用いて適切なデータ処理・分析ができる。
9. 情報技術によって社会がどのように変革してきているかを理解し、社会における問題について、技術と法律と倫理の3つの面から、自分で調べ考える態度を身につける。
 - ・入手した情報を加工、表現する際に守らなければならないことを理解する。
 - ・情報を発信することには責任が伴うことを理解する。
 - ・セキュリティを守る数々の技術について理解し、情報化社会を生きるために自らを守る方法を知る。
 - ・メディアリテラシーを知り、入手した情報をクリティカルに受け入れることの大切さを理解する。
 - ・有害情報やインターネット上の犯罪について知ること、高度情報化社会の負の面について理解する。
 - ・情報に関する法律について学び、他人の著作権や個人情報の重要性について理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕「情報リテラシー（Windows11・Office2021対応）」（FOM 出版）

【教育（学習）方略（LS）】

個人での実習を通して、以下の過程を体験的に学ぶ。

まず、各自が作業を進めながら PC の基本操作技術を習得する。次に、その操作技術を実際に用いて演習課題を行う。

最後に、習得したすべての知識・操作技術を用いて総合的な演習課題に取り組む。

さらに、情報技術、ネットワークや情報セキュリティに関する基礎知識、情報収集・活用能力（メディアリテラシー）、情報倫理については、講義により知識を得たのち、各自の考察を深める。

【フィードバック方法】

試験実施後、疑問や質問等がある場合は試験実施3日間以内にメールにて担当教員に送ること。その後、学生イントラ等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

授業における各自の取り組み、そこで行った課題の内容と提出状況、出席状況、受講態度、発表会内容などをもとに、総合的に評価する。

【注意事項】

提出物は期日内に必ず提出すること。未提出は成績に大きく反映させる。

コンピュータおよび教科書を必ず持参すること。遅刻は認めない。欠席回数は成績に大きく反映させる。

授業中の指示以外のネット検索、メール閲覧等は禁止する。

他人のデータを使用する等の不正行為は禁止する。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書で確認すること。(10分)

復 習：当該講義で行ったコンピュータ操作を自分自身でもう一度確認すること。(50分)

【オフィスアワー】

授業日の火曜日 3時限目の授業終了後 キャンパスイン101教室

【授業日程】

情報リテラシー				
第1学年（後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	9月9日(火) 3時限	Wordを使った文書作成(1) Wordの基礎知識 文書ファイルの操作 文字入力 電子メールの送信・受信、電子メールに添付してファイル送信	Wordの基礎知識を理解し、ファイル操作が正しく行える。日本語入力の方法を理解し、電子メールの送信・受信ができる。電子メールに文書ファイルを添付して送信できる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
2	9月22日(月) 3時限	Wordを使った文書作成(2) 基本的な文書の作成 文書の印刷 表の挿入	Wordで文書を作成し、簡単な編集をすることができる。文書の印刷とその設定を行うことができる。また、表を挿入することができる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
3	9月30日(火) 3時限	Wordを使った文書作成(3) 応用的な文書の編集 表現力をアップする機能	Wordの様々な機能を用いて、より複雑なレイアウトの文書の編集をすることができる。イラストや写真などを挿入し、美しいレポートが作成できる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
4	10月7日(火) 3時限（AB） 4時限（CD）	第1回演習 各自、Wordの課題に取り組む	Wordの機能を駆使し、自分が思う通りの文書が作成できる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
5	10月14日(火) 3時限	Excelを使った表計算(1) Excelの基礎知識 データの入力 簡単な表作成 数式の基本 本格的な表の作成	Excelの基礎知識を理解し、データの入力・編集などが行える。また、基本的な数式の作成が行える。表を作成する上で必要になる様々な書式設定（表示形式、罫線、列幅の調整）を行うことができる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
6	10月21日(火) 3時限	Excelを使った表計算(2) 一般的な関数利用 いろいろな関数の活用 セル参照の使い分け 表の印刷	基本的な関数の使い方がわかる。複雑な数式や関数の使い方を覚え、さらにセル参照の方式の違いについても理解する。表を印刷する際に必要な各機能を利用できる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
7	10月28日(火) 3時限	Excelを使った表計算(3) 複数シート操作 グラフの作成 データベース機能の紹介	必要に応じて複数シートを操作できる。また、グラフ機能を使って、円グラフや棒グラフを作成できる。 データベース機能について概要がわかる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
8	11月4日(火) 3時限（CD） 4時限（AB）	第2回演習 各自、Excelの課題に取り組む	Excelを使って表を作成し、基本的な計算を行い、その結果を用いてグラフを作成することができる。さまざまなExcelの機能を利用できる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
9	11月11日(火) 3時限	Power Pointを使ったプレゼンテーション(1) Power Pointの基礎知識 プレゼンテーションの作成／ブレースホルダと文字の編集	Power Pointの基礎知識を理解し、プレゼンテーション用のスライドを作成できる。また、スライド上の文字の編集を行うことができる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
10	11月18日(火) 3時限	Power Pointを使ったプレゼンテーション(2) 図やオブジェクトの挿入と編集 図形の作成と編集	図やオブジェクトを駆使し、ビジュアルに優れたスライドを作成することができる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
11	11月25日(火) 3 時限	Power Point を使ったプレゼンテーション(3) 特殊効果 プレゼンテーションをサポートする機能	画面の切替、アニメーション効果を利用したスライドショーが実施できる。また、発表者用ノート、配付資料等の活用方法を理解している。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
12	12月 2 日(火) 3 時限 (AB) 4 時限 (CD)	第 3 回演習 各自、Power Point の課題に取り組む	Power Point の機能を駆使し、自分が思う通りのスライドが作成できる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
13	12月 9 日(火) 3 時限	情報倫理	プライバシーの侵害、知的所有権の侵害など情報倫理に関わる問題を説明できる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
14	12月16日(火) 3 時限	プレゼンテーションの実施(1)	コンピューターを用いて処理した情報を効果的かつ分かりやすく報告することができる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介
15	1 月 6 日(火) 3 時限	プレゼンテーションの実施(2)	コンピューターを用いて処理した情報を効果的かつ分かりやすく報告することができる。	宇田川信之 中村美どり 中村 浩志 楊 静 上原 俊介

口腔科学入門 (A1070)

第1学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：吉田明弘、荒 敏昭

【一般目標（GIO）】

微生物の基本的性状を理解する。
免疫系の概略について理解する。
感染症の基本について理解する。
データの集計および分析方法について理解する。

【行動目標（SBOs）】

微生物の生物学的位置を説明できる。
微生物の基本的性状を説明できる。
免疫系の概略を説明できる。
感染症の基本事項を説明できる。
計算処理能力（平均、標準偏差などの算出）およびデータの収集能力（グラフとその表示法）を説明できる。
スクリーニング検査で使用される指標を説明できる。
疫学調査の種類およびリスクの指標を説明できる。
データの分析方法（統計学的検定法など）を説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】 全国歯科衛生士教育協議会監修：「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 第2版」（医歯薬出版）
荒 敏昭：「歯学生のための統計学入門 改訂版」（MDU 出版会）
【参考書】 杉田 隆：「初めの一步は絵で学ぶ 微生物学」（じほう）
高橋 信：「マンガでわかる統計学」（オーム社）
高橋 信：「マンガでわかる統計学 回帰分析編」（オーム社）
高橋 信：「マンガでわかる統計学 因子分析編」（オーム社）
佐藤俊哉：「宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ（岩波科学ライブラリー）」（岩波書店）
佐藤俊哉：「宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ 検定の巻（岩波科学ライブラリー）」（岩波書店）

【教育（学習）方略（LS）】

板書を中心に教科書を用いて講義解説する。講義中に口頭および板書で解説した事項はノートに記録し、Weekly Test および定期試験用の学習に用いる。

【フィードバック方法】

定期試験実施後、正解率が低い問題について講義中に解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test（20%）、定期試験（80%）で項目（統計学・微生物学）毎に評価する。

【注意事項】

講義は教科書を中心に進める。教科書・ノート・カラーペンは必ず持参すること。講義の理解が困難な場合は相談に來ること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：教科書の当該事項を確認する。（20分）

復 習：講義ノート、教科書を用いて講義内容を理解する。（40分）

【オフィスアワー】

火曜日 16：30～17：30 本館 5 階東棟 微生物学講座研究室

要予約（吉田：akihiro.yoshida@mdu.ac.jp）

荒：実習室 3 階 薬理学講座研究室 時間があれば随時質問を受け付けます。

（連絡先：0253-51-2102、E-mail：toshiaki.ara@mdu.ac.jp）

【授業日程】

口腔科学入門				
第1学年（後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	9月10日(水) 1時限	代表値（平均値、中央値、四分位数、最頻値） 散布度（分散、標準偏差、範囲、四分位範囲）	データにおける分布の中心と拡がりの計算方法とその解釈を習得する。	荒 敏昭
2	9月17日(水) 1時限	データの種類 データのグラフ化（棒グラフ、折れ線グラフ、ヒストグラム、箱ヒゲ図、散布図）	1. データの種類を習得する。 2. グラフの作成方法および解釈を習得する。	荒 敏昭
3	9月24日(水) 1時限	疫学調査の手法(1) スクリーニング検査 ROC 曲線	疫学の研究方法を習得する。	荒 敏昭
4	10月1日(水) 1時限	疫学調査の手法(2) コホート研究 患者対照研究	疫学の研究方法を習得する。	荒 敏昭
5	10月8日(水) 1時限	データの関連性（相関、回帰）	相関と回帰の違いおよび利用方法を習得する。	荒 敏昭
6	10月22日(水) 1時限	統計学的検定法(3) 重回帰分析 多重ロジスティック回帰分析	複数のパラメーターを使用する場合の解析方法を理解する。	荒 敏昭
7	10月29日(水) 1時限	統計分布（二項分布、正規分布、 t 分布、カイ二乗分布など）	分布関数、標本分布の計算方法および利用方法を習得する。	荒 敏昭
8	11月5日(水) 1時限	推定（点推定、区間推定）	得られた標本から母集団の値を推測する方法を理解する。	荒 敏昭
9	11月12日(水) 1時限	統計学的検定法(1) 過誤（第1種、第2種の過誤） 母比率の検定	統計学的検定法の内容および利用方法を習得する。	荒 敏昭
10	11月19日(水) 1時限	統計学的検定法(2) カイ二乗検定、 t 検定	統計学的検定法の内容および利用方法を習得する。	荒 敏昭
11	11月26日(水) 1時限	微生物学体系① 細菌学総論	細菌学の基本的事項について説明できる	吉田 明弘
12	12月3日(水) 1時限	微生物学体系② 免疫学	免疫学の基本的事項について説明できる	吉田 明弘
13	12月10日(水) 1時限	微生物学体系③ 細菌学各論	代表的な病原性細菌について説明できる	吉田 明弘
14	12月17日(水) 1時限	微生物学体系④ ウイルス学	ウイルス学の基本的事項について説明できる	吉田 明弘
15	1月7日(水) 1時限	微生物学体系⑤ 口腔細菌学	口腔細菌学の基本的事項について説明できる	吉田 明弘

解剖学入門 (A1080)

第1学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：田所 治

【一般目標（GIO）】

1. 各器官系の形態と機能を理解する。
2. 人体の発生と誕生の概要を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 各器官系の形態と機能を説明できる。
2. 人体の発生と誕生の概要を説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 藤田信也著：「入門人体解剖学（第6版）」（南江堂）

〔参考書〕 佐藤達夫監修：からだの地図帳 解剖学用語」（講談社）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書、参考書に沿って、スライドによる講義をおこなう。
各回に配布する資料に書き込んで、まとめノートをつくる。

【フィードバック方法】

Weekly Test 後の講義にて問題の解説をおこなう。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test（20％）と定期試験（80％）により評価する。無断欠席は減点対象とする。

【注意事項】

教科書を必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスで講義内容を確認し、教科書の該当範囲を読んでおくこと。（20分）

復 習：講義資料をもとに講義内容を整理し、理解したうえで必要な内容を憶える。不明な点は教員に聞いて明らかにする。（40分）

【オフィスアワー】

月曜日から金曜日 随時 本館1階東棟 解剖学医局

事前に e-mail にて確認すること。osamu.tadokoro@mdu.ac.jp

【授業日程】

解剖学入門 第1学年（前期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	4月17日(木) 1時限	序説	解剖学を学ぶ意義を説明できる。 正常の意味を説明できる。	田所 治
2	4月24日(木) 1時限	骨格系	骨格系を構成する器官を説明できる。	田所 治
3	5月1日(木) 1時限	筋系	筋系を構成する器官を説明できる。	田所 治
4	5月8日(木) 1時限	脈管系	脈管系を構成する器官を説明できる。	田所 治
5	5月15日(木) 1時限	血液系	血液系の構成を説明できる。	田所 治
6	5月22日(木) 1時限	消化器系	消化器系を構成する器官を説明できる。	田所 治
7	5月29日(木) 1時限	呼吸器系	呼吸器系を構成する器官を説明できる。	田所 治
8	6月5日(木) 1時限	泌尿器系	泌尿器系を構成する器官を説明できる。	田所 治
9	6月12日(木) 1時限	生殖器系	生殖器系を構成する器官を説明できる。	田所 治
10	6月19日(木) 1時限	内分泌系	内分泌系を構成する器官を説明できる。	田所 治
11	6月26日(木) 1時限	神経系	神経系の構成と中枢神経系を説明できる。	田所 治
12	7月3日(木) 1時限	脳の血管、脳室と脳脊髄液	脳の動脈と静脈、脳室と脳脊髄液を説明できる。	田所 治
13	7月10日(木) 1時限	末梢神経系	末梢神経系を説明できる。	田所 治
14	7月17日(木) 1時限	感覚器系	感覚器系を構成する器官を説明できる。	田所 治
15	7月24日(木) 1時限	発生と誕生	発生と誕生を説明できる。	田所 治

解剖学 I (A1090)

第1学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：田所 治
講師：奥村雅代

【一般目標（GIO）】

1. 身体の部位および方向用語について理解する。
2. 人体の形態と構造を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 身体の部位を解剖学的に区別できる。
2. 身体の方角用語を正確に用いることができる。
3. 人体を構成する器官系を説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】 藤田信也：「入門人体解剖学（第6版）」（南江堂）
山田英智監訳：「図解 解剖学事典（第3版）」（医学書院）
脇田 稔・井出吉信監訳：「口腔解剖学」（医歯薬出版）
【参考書】 矢島俊彦・高野吉郎監訳：「リープゴット 歯科学のための解剖学」（西村書店）
松村譲児・島田和幸編：「イラスト顎顔面解剖学」（中外医学社）

【教育（学習）方略（LS）】

人体の形態と構造を理解できるように解説する。Weekly Test では各講義の理解度を試験する。

【フィードバック方法】

Weekly Test にて理解度をフィードバックする。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test（20%）と定期試験（80%）により評価する。

【注意事項】

オフィスアワーを積極的に利用すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスで講義内容を確認し、教科書の該当範囲を読んでおくこと。（20分）

復 習：講義内容を整理し、理解したうえで必要な内容を憶える。不明な点は教員に聞いて明らかにする。（40分）

【オフィスアワー】

月曜日から金曜日 随時。事前に e-mail にて確認すること。osamu.tadokoro@mdu.ac.jp
本館1階東棟 解剖学医局

【授業日程】

解剖学 I 第1学年（後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標（SBOs）	担当者
1	9月9日(火) 2時限	解剖学総論 解剖学とは、人体の構成、解剖学を理解するための基本的な用語	1. 解剖学の定義を説明できる。 2. 細胞、組織、器官、器官系を説明できる。 3. 人体の部位・位置・方向用語を説明できる。	田所 治
2	9月22日(月) 2時限	骨学総論 骨、骨の連結	1. 骨の形状による分類を説明できる。 2. 骨の構造を説明できる。 3. 骨表面の性状を説明できる。 4. 器官としての骨の構成を説明できる。	田所 治
3	9月30日(火) 2時限	関節学総論 筋の一般的な形と構造、筋の起始と停止、筋の補助装置、筋の働き、筋の神経	1. 骨の連結を分類し説明できる。 2. 関節の構造を説明できる。 3. 関節の種類を列挙し、説明できる。	田所 治
4	10月7日(火) 2時限	筋学総論	1. 筋の一般的形を説明できる。 2. 筋の起始と停止を説明できる。 3. 筋膜を説明できる。 4. 筋の働きを説明できる。 5. 筋と神経の関係を説明できる。	田所 治
5	10月14日(火) 2時限	脈管系(1) 脈管系について、血管系の構成、大循環系と小循環系、胎児の循環系	1. 脈管系を分類し、説明できる。 2. 血管系の構成を説明できる。 3. 大循環系と小循環系を説明できる。 4. 胎児の循環系を説明できる。	田所 治
6	10月21日(火) 2時限	脈管系(2) リンパ系の構成、リンパ節、胸管、脾臓	1. リンパ系の構成を説明できる。 2. リンパ節を説明できる。 3. 胸管を説明できる。 4. 脾臓を説明できる。	田所 治
7	10月28日(火) 2時限	神経系(1) 神経系とは、中枢神経系（脳、脊髄）	1. 神経系の構成を説明できる。 2. 神経系を分類できる。 3. 中枢神経系と末梢神経系を説明できる。 4. 体性神経系と自律神経系を説明できる。 5. 脳・脊髄の区分と働きを説明できる。	田所 治
8	11月4日(火) 2時限	神経系(2) 末梢神経系、脳神経、脊髄神経	1. 12対の脳神経を列挙できる。 2. 脳神経を機能によって説明できる。 3. 31対の脊髄神経を分類できる。 4. 脊髄神経の構成を説明できる。	田所 治
9	11月11日(火) 2時限	神経系(3) 末梢神経系、自律神経とは、交感神経系と副交感神経系、自律神経系の機能	1. 自律神経系の働きを説明できる。 2. 交感神経系の構成を説明できる。 3. 副交感神経系の構成を説明できる。 4. 自律神経による内臓の二重支配を説明できる。	田所 治
10	11月18日(火) 2時限	感覚器 感覚器とは、感覚器の種類、感覚器の形態と構造、感覚器と脳神経の関係	1. 感覚器の定義を説明できる。 2. 感覚器の種類を列挙できる。 3. 感覚器の位置、構造を説明できる。 4. 感覚を伝える脳神経を説明できる。	田所 治
11	11月25日(火) 2時限	外皮	1. 外皮を構成する器官を列挙できる。 2. 皮膚の構造を説明できる。 3. 角質器、皮膚の腺、感覚器としての皮膚を説明できる。	田所 治
12	12月2日(火) 2時限	内臓学(1) 器官と内臓	実質器官と中空性器官を説明できる。	田所 治

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
13	12月9日(火) 2時限	内臓学(2) 泌尿器系と生殖器系	1. 泌尿器系を構成する器官を列挙できる。 2. 泌尿器系を構成する器官の位置と形態および働きを説明できる。 1. 男性生殖器を列挙できる。 2. 女性生殖器を列挙できる。 3. 男性生殖器の位置、形および働きを説明できる。 4. 女性生殖器の位置、形および働きを説明できる。	田所 治
14	12月16日(火) 2時限	漿膜と体腔	漿膜と体腔を説明できる。	田所 治
15	1月6日(火) 2時限	発生と誕生	人体の発生と誕生を説明できる。	田所 治

言語表現（英語）Ⅰ (A1100)

第1学年（前期）
講義 必修

【担当者】

特任教授：古厩文宣、野村貫之、松下美智子

【一般目標（GIO）】

将来、歯科医師として必要になるであろう英語力の基礎を身につける。

最終的には、英語により必要最低限のコミュニケーションが適切にとれること、また英語で書かれた専門分野の学術論文等から自らが必要とする情報を得ることができるようになることを目標とする。

本科目では、まず、それらを身につけるために必要不可欠な基礎的な英語力を養う。

【行動目標（SBOs）】

コミュニケーションに必要な英語を理解し、また場面に応じて適切に使用することができる。

【読む】日常生活の話題に関する文章を理解することができる。

（手紙、Eメール、案内文、商品の説明書、説明文などを読むことができる。）

【聞く】日常生活の話題に関する内容を理解することができる。

【話す】日常生活の話題についてやりとりすることができる。

【書く】日常生活の話題について書くことができる

【教科書・参考書】

〔教科書〕安浪誠祐・Richard S.Lavin：「SHARPENING YOUR TOEIC L&R TEST SKILLS

〔参考書〕授業で適宜指示する。

【教育（学習）方略（LS）】

次のステップで学習を進める。

①文法のポイントを体系的に学ぶ。

②重要語彙、熟語、表現を覚える。

③習得した文法・語彙の知識を使って文章を読む。

④習得した文法・語彙の知識を使って会話を聴いたり文章を書く。

【フィードバック方法】

定期試験、中間試験やレポート実施後、正解率が低い問題に対し、解答例または記入例を学生イントラへ掲載する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test および定期試験の得点（比率は、Weekly Test20％、定期試験80％）と、課題、小テスト、授業参加度などを総合して評価する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（60分）

復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（30分）

【オフィスアワー】

月、木曜日 講義終了後 講義館2階 第8研究室

【授業日程】

言語表現（英語）Ⅰ				第1学年（前期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	4月14日(月) 2時限	ガイダンス 本授業の目的、進め方、クラス編成についての説明	読解や表現のための英文法を理解し、英語の skill を高める。 役に立つ表現を身につける。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
2	4月17日(木) 2時限	Unit 1 CAMPUS LIFE (1)	動詞（時制）を理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
3	4月21日(月) 2時限	Unit 1 CAMPUS LIFE (2)	動詞（時制）を理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
4	4月24日(木) 2時限	Unit 2 EAT & DRINKING (1)	自動詞と他動詞を理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
5	4月28日(月) 2時限	Unit 2 EAT & DRINKING (2)	自動詞と他動詞を理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
6	5月1日(木) 2時限	Unit 3 BUSINESS (1)	動名詞と不定詞に働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
7	5月8日(木) 2時限	Unit 3 BUSINESS (2)	動名詞と不定詞に働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
8	5月12日(月) 2時限	Unit 4 COOKING	冠詞を理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
9	5月15日(木) 2時限	Unit 4 COOKING (2)	冠詞を理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
10	5月19日(月) 2時限	Unit 5 HEALTH (1)	動詞句を身につける。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
11	5月22日(木) 2時限	Unit 5 HEALTH (2)	動詞句を身につける。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
12	5月26日(月) 2時限	Unit 6 SHOPPING (1)	動詞の働きを理解して、使えるようにする。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
13	5月29日(木) 2時限	Unit 6 SHOPPING (2)	動詞の働きを理解して、使えるようにする。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
14	6月2日(月) 2時限	Unit 7 DAILY LIFE (1)	形容詞と福祉の働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
15	6月5日(木) 2時限	Unit 7 DAILY LIFE (2)	形容詞と福祉の働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
16	6 月 9 日(月) 2 時限	Unit 8 MEETING (1)	代名詞の働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
17	6 月12日(木) 2 時限	Unit 8 MEETING (2)	代名詞の働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
18	6 月16日(月) 2 時限	Unit 9 COMMUNICATIONS (1)	前置詞の働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
19	6 月19日(木) 2 時限	Unit 9 COMMUNICATIONS (2)	前置詞の働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
20	6 月23日(月) 2 時限	Unit10 ADVERTIZING (1)	関係代名詞や関係副詞を理解し、関係詞節の働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
21	6 月26日(木) 2 時限	Unit10 ADVERTIZING (2)	関係代名詞や関係副詞を理解し、関係詞節の働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 山田美奈子
22	6 月30日(月) 2 時限	Unit11 ENTERTAINMENT (1)	接続詞の働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
23	7 月 3 日(木) 2 時限	Unit11 ENTERTAINMENT (2)	接続詞の働きを理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
24	7 月 7 日(月) 2 時限	Unit12 JOBS (1)	数量詞の用法を理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
25	7 月10日(木) 2 時限	Unit12 JOBS (2)	数量詞の用法を理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
26	7 月14日(月) 2 時限	Unit13 TRIPS & VACATIONS (1)	注意すべき動詞等について理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
27	7 月17日(木) 2 時限	Unit13 TRIPS & VACATIONS (2)	注意すべき動詞等について理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
28	7 月24日(木) 2 時限	Unit14 WEATHER (1)	間違いやすい前置詞等について理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
29	7 月28日(月) 2 時限	Unit14 WEATHER (2)	間違いやすい前置詞等について理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
30	8 月18日(月) 2 時限	まとめ・復習		古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子

言語表現（英語）Ⅱ (A1110)

第1学年（後期）
講義 必修

【担当者】

特任教授：古厩文宣、野村貫之、松下美智子

【一般目標（GIO）】

最新の医療関連のテーマについて書かれた英文を読み進めながら、医療関連の語句や表現、またその使い方を学ぶ。さらに、英文から得た情報について互いに意見を交換し、各テーマに対する各自の考えを深める。

【行動目標（SBOs）】

1. 英文を読み、その内容を正確に理解することができる。
2. 英文を読み、理解したことを自分の言葉で説明することができる。
3. 英文を読み、その内容について自分の意見を述べるすることができる。
4. 英文を読み、そのテーマに関して英語で簡単なやりとりができる。

【教科書・参考書】

【教科書】近藤 進・Gerald R. Gordon・吉岡みのり編：「Caregiver 世界に見る医療と看護健康－新訂版－」（朝日出版社）

【参考書】授業で適宜指示する。

【教育（学習）方略（LS）】

次のステップで学習を進める。

- ①各章の重要語句や表現を学ぶ。
- ②英文を読み、理解する。
- ③英文の内容について意見を交換する。
- ④自らの意見を文章にまとめる。
- ⑤各章のテーマに関する対話を学ぶ。

【フィードバック方法】

定期試験、中間試験やレポート実施後、正解率が低い問題に対し、解答例または記入例を学生イントラへ掲載する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test および定期試験の得点（比率は、Weekly Test20%、定期試験80%）と、課題、小テスト、授業参加度などを総合して評価する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。(60分)

復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。(30分)

【オフィスアワー】

月、木曜日 講義終了後 講義館2階 第8研究室

【授業日程】

言語表現（英語）Ⅱ				第1学年（後期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	9月8日(月) 2時限	言語表現Ⅱガイダンス Caregiverについて ・英語学習について等	身体及び臓器の呼称 英文読解について	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
2	9月11日(木) 2時限	Unit 1 Summer Weight Gain (1)	肥満の問題について、英文を通して理解する。 英文解釈・英文構造の理解。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
3	9月16日(火) 2時限	Unit 1 Summer Weight Gain (2)	肥満の問題について、英文を通して理解する。 英文解釈・英文構造の理解。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
4	9月18日(木) 2時限	Unit 1 Summer Weight Gain (3) まとめ	肥満の問題について、英文を通して理解する。 語いを身につける。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
5	9月25日(木) 2時限	Unit 2 Sugar in Danger (1)	砂糖の取り過ぎはなぜ健康に良くないか、英文を通して理解する。 英文解釈・英文構造の理解。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
6	9月29日(木) 2時限	Unit 2 Sugar in Danger (2)	砂糖の取り過ぎはなぜ健康に良くないか、英文を通して理解する。 英文解釈・英文構造の理解。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
7	10月2日(木) 2時限	Unit 2 Sugar in Danger (3)	砂糖の取り過ぎはなぜ健康に良くないか、英文を通して理解する。 語いを身につける。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
8	10月6日(月) 2時限	Unit 2 Sugar in Danger (4) Natural vs. Added	文法事項の確認 医療に関する知識の習得	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
9	10月9日(木) 2時限	Unit 3 Adult Diapers Outsell Baby Diapers (1)	高齢化社会における様々な問題について英文を通して考える。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
10	10月15日(水) 2時限	Unit 3 Adult Diapers Outsell Baby Diapers (2)	高齢化社会における様々な問題について英文を通して考える。 語いを身につける	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
11	10月16日(木) 2時限	Unit 3 Adult Diapers Outsell Baby Diapers (3)	高齢化社会における様々な問題について英文を通して理解を深める。 文法事項の確認	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
12	10月20日(月) 2時限	Unit 4 Medical Robots (1)	医療現場へのロボットの導入について、英文を通して理解する。 英文解釈・英文構造の理解。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
13	10月23日(木) 2時限	Unit 4 Medical Robots (2)	医療現場へのロボットの導入について、英文を通して理解する。 語いを身につける	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
14	10月27日(月) 2時限	Unit 4 Medical Robots (3) まとめ	文法事項の確認 医療に関する知識の習得	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
15	10月30日(木) 2時限	U 5 Coffee Drinking tied to Lower Risk of Suicide (1)	コーヒーには抗鬱効果があることを、英文を通して理解する。 文法事項の理解	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
16	11月6日(木) 2 時限	U 5 Coffee Drinking tied to Lower Risk of Suicide (2)	コーヒーには抗鬱効果があることを、英文を通して理解する。 英文解釈・英文構造の理解。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
17	11月10日(月) 2 時限	U 5 Coffee Drinking tied to Lower Risk of Suicide (3)	コーヒーには抗鬱効果があることを、英文を通して理解する。 文法事項の確認	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
18	11月13日(木) 2 時限	U 5 Coffee Drinking tied to Lower Risk of Suicide (4) まとめ	コーヒーには抗鬱効果があることを、英文を通して理解する。 語い・表現を身につける。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
19	11月17日(月) 2 時限	Unit 6 How Emergencr Rooms Work (1)	北米型の救急救命室について、英文を通して理解する。 英文解釈・英文構造の理解。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
20	11月20日(木) 2 時限	Unit 6 How Emergencr Rooms Work (2)	北米型の救急救命室について、英文を通して理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
21	11月27日(木) 2 時限	Unit 6 How Emergencr Rooms Work (3)	文法事項の確認 医療に関する知識の習得	古厩 文宣 野村 貴之 山田美奈子
22	12月1日(月) 2 時限	Unit 6 How Emergencr Rooms Work (4) まとめ	Useful Expression 語い・表現を身につける。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
23	12月4日(木) 2 時限	Unit 7 Keep Your Heart Moving (1)	Vocabulary Check & Practice 脳卒中予防と運動の関係について、英文を通して理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
24	12月8日(月) 2 時限	Unit 7 Keep Your Heart Moving (2)	脳卒中予防と運動の関係について、英文を通して理解する。 文法事項の確認	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
25	12月11日(木) 2 時限	Unit 7 Keep Your Heart Moving (3)	Comprehension を通して、本文を理解する。 英文解釈・英文構造等の理解。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
26	12月15日(月) 2 時限	Unit 7 Keep Your Heart Moving (4) まとめ	Useful Expression 語い・表現を身につける。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
27	12月18日(木) 2 時限	Unit 8 Teens Light Up E-Cigarettes (1)	Vocabulary Check & Practice 電子タバコについて、英文を通してその危険性について理解する。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
28	12月22日(月) 2 時限	Unit 8 Teens Light Up E-Cigarettes (2)	電子タバコについて、英文を通してその危険性について理解する。 語いを身につける。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
29	1月5日(月) 2 時限	Unit 8 Teens Light Up E-Cigarettes (3) まとめ	Comprehension を通して、本文を理解する。 英文解釈・英文構造等の理解。	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子
30	1月8日(木) 2 時限	Unit 1 ～Unit 8 のまとめ	Q & A 等	古厩 文宣 野村 貴之 松下美智子

解剖学入門実習 (A1120)

第1学年（後期）
実習 必修

【担当者】

教授：田所 治
講師：奥村 雅代

【一般目標（GIO）】

1. 人体各部の形態と構造を理解する。
2. 歯の形態を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 人体各部の形態と構造を説明できる。
2. 歯の形態を説明できる。

【教科書・参考書】

【教科書】 藤田恒夫著：「入門人体解剖学（第6版）」（南江堂）
近藤信太郎：「歯の解剖学（第4版）」（わかば出版）
【参考書】 大川 淳、秋田恵一監訳：「体表からわかる人体解剖学」（南江堂）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書、参考書、各回に配布する資料に沿って実習をおこなう。
模型と生体の観察（視診）と触診をおこなうことによって、人体の形態と構造への理解を深める。
各回に配布する資料に書き込み、スケッチと色塗りをおこなうことにより、まとめノートをつくる。

【フィードバック方法】

Weekly Test 後の講義にて問題の解説をおこなう。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test（20％）と定期試験（80％）により評価する。無断欠席は減点対象とする。

【注意事項】

教科書を必ず持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスで講義内容を確認し、教科書の該当範囲を読んでおくこと。（20分）

復 習：講義資料をもとに講義内容を整理し、理解したうえで必要な内容を記憶する。不明な点は教員に確認する。
（40分）

【オフィスアワー】

月曜日から金曜日 随時 本館1階東棟 口腔解剖学教授室医局
事前に e-mail にて確認すること。osamu.tadokoro@mdu.ac.jp

【授業日程】

解剖学入門実習					第1学年（後期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者	
1	9月10日(水) 3時限	人体の外形と構成、胸部 1) 人体の外形と構成 2) 胸部の骨 3) 胸部の筋 4) 胸部の臓器	1. 人体の外形と構成を説明できる。 2. 胸背部を支える主な骨を説明できる。 3. 胸背部を動かす主な筋を説明できる。 4. 胸部の主な臓器の位置と形を説明できる。	田所 治	
2	9月17日(水) 3時限	方向用語、腹部 1) 腹部の筋 2) 腹部の血管 3) 腹部の神経 4) 腹部の臓器	1. からだの方向用語を説明できる。 2. 腹部を動かす主な筋を説明できる。 3. 腹部をみられる主な血管、神経を説明できる。 4. 腹部の主な臓器の位置と形を説明できる。	田所 治	
3	9月24日(水) 3時限	上肢 1) 上肢の区分 2) 上肢の骨 3) 上肢の主な筋 4) 上肢の主な血管 5) 上肢の主な神経	1. 上肢の区分を説明できる。 2. 上肢の主な骨を説明できる。 3. 上肢の主な筋を説明できる。 4. 上肢の主な血管を説明できる。 5. 上肢の主な神経を説明できる。	田所 治	
4	10月1日(水) 3時限	下肢 1) 下肢の区分 2) 下肢の骨 3) 下肢の筋 4) 下肢の主な血管 5) 下肢の主な神経	1. 下肢の区分を説明できる。 2. 下肢の主な骨を説明できる。 3. 下肢の主な筋を説明できる。 4. 下肢の主な血管を説明できる。 5. 下肢の主な神経を説明できる。	田所 治	
5	10月8日(水) 3時限	頭、顔、頸	1. 頭頸部の区分を説明できる。 2. 頭の各部位を説明できる。 3. 顔の各部位を説明できる。 4. 頸の各部位を説明できる。	田所 治	
6	10月22日(水) 3時限	頭蓋 1 1) 頭蓋の骨 2) 脳頭蓋 3) 顔面頭蓋	1. 頭蓋の区分を説明できる。 2. 脳頭蓋を構成する骨を説明できる。 3. 顔面頭蓋を構成する骨を説明できる。	田所 治 奥村 雅代	
7	10月29日(水) 3時限	頭蓋 2 1) 頭の骨と主な筋 2) 頭の骨と主な血管 3) 頭の骨と主な脳神経	1. 頭の骨と関わる主な筋を説明できる。 2. 頭の骨と関わる主な血管を説明できる。 3. 頭の骨と関わる主な脳神経を説明できる。	田所 治	
8	11月5日(水) 3時限	歯の解剖学 序論 1 1) 歯の定義 2) 歯の機能 3) 歯の概形 4) 歯の種類 5) 歯の表記法 6) 歯式	・ 歯の定義と機能を説明できる。 ・ 歯の概形と構成する組織を説明できる。 ・ 歯の種類を説明できる。 ・ 歯の表記法と歯式を説明できる。	田所 治	
9	11月12日(水) 3時限	序論 2 1) 方向用語 2) 歯の用語 3) エナメル質、象牙質、セメント質 4) 歯髄腔の形態	・ 歯の方向、部位、形態を表す用語を説明できる。 ・ 歯の組織（エナメル質、象牙質、セメント質、歯髄）を説明できる。	田所 治 奥村 雅代	

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
10	11月19日(水) 3時限	切歯 1) 総論 2) 上顎中切歯 3) 上顎側切歯 4) 下顎中切歯 5) 下顎側切歯	・切歯の基本形態を説明できる。 ・上下顎切歯の差異を説明できる。 ・中切歯と側切歯の差異を説明できる。 ・切歯の左右を説明できる。	田所 治
11	11月26日(水) 3時限	犬歯 1) 総論 2) 上顎犬歯 3) 下顎犬歯	・犬歯の基本形態を説明できる。 ・上下顎犬歯の差異を説明できる。 ・犬歯の左右を説明できる。	田所 治
12	12月3日(水) 3時限	小白歯1 1) 総論 2) 上顎第一小白歯 3) 上顎第二小白歯	・小白歯の基本形態を説明できる。 ・上顎小白歯の基本形態を説明できる。 ・第一小白歯と第二小白歯の差異を説明できる。 ・第一小白歯と第二小白歯の左右を説明できる。	田所 治
13	12月10日(水) 3時限	小白歯2 1) 下顎第一小白歯 2) 下顎第二小白歯	・下顎小白歯の基本形態を説明できる。 ・第一小白歯と第二小白歯の差異を説明できる。 ・第一小白歯と第二小白歯の左右を説明できる。	田所 治
14	12月17日(水) 3時限	上顎大白歯 1) 総論 2) 上顎大白歯 3) 形態の推移	・上顎大白歯の基本形態を説明できる。 ・上顎大白歯の形態的推移を説明できる。 ・上顎大白歯の左右を説明できる。	田所 治
15	1月7日(水) 3時限	下顎大白歯 1) 下顎大白歯 2) 形態の推移	・下顎大白歯の基本形態を説明できる。 ・下顎大白歯の形態的推移を説明できる。 ・下顎大白歯の左右を説明できる。	田所 治

基礎化学 (A1160)

第1学年（前期）
講義 必修

【担当者】

准教授：山下照仁
特任教授：平岡行博
非常勤講師：松田 大

【一般目標（GIO）】

物質の成り立ち、原子、分子、化学結合、化合物などを理解し、身の回りの化学物質、医療用薬品について学ぶ。

【行動目標（SBOs）】

1. 原子の電子配置について説明できる。
2. 化学反応式の表す意味を説明できる。
3. 水素イオン濃度と pH の計算ができる。
4. 官能基の性質と反応が説明できる。
5. 有機化合物の系統名から構造式が書ける。

【教科書・参考書】

【教科書】「二訂版ニューステージ化学図表」（浜島書店）

【参考書】田中 永一郎：「まるわかり基礎化学改訂2版」（南山堂）

山倉 文幸他：「化学の視点・健康へのアプローチ」（東京教学社）

生命科学の基礎としての一般的な化学の知識を得るに適切な図書。自学自習に最適。

吉野 公昭：「楽しみながら分かるようになる化学」（理工図書）

吉野 公昭：「続 楽しみながら分かるようになる化学－無機物質・有機化合物・高分子編－」（理工図書）

両書共、安価で自学自習に適した図書。

齋藤 勝裕他：「メディカル化学：医歯薬系のための基礎化学」（裳華房）

サブタイトルの通りの標準的な教科書。辞書的に使っても便利な記述が多い本。章ごとに演習問題と正解がついており、一読を薦める。

【教育（学習）方略（LS）】

習熟度に応じて3コース（Sクラス、Aクラス、Bクラス）を設ける。学生諸君の主体的な選択を期待する。基本的には、教科書に基づいた講義を中心におく。必要に応じて問題演習を行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test および定期試験に対する質問は、補講で対応する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test 20%、期末試験80%で評価する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認し、事前に講義内容について教科書で予習を行うこと。（10分）

復 習：講義ノートを復習し、教科書を利用して各自知識をまとめること。（50分）

【オフィスアワー】

各教員と事前に E-mail で予約をしておくこと。

山下 teruhito.yamashita@mdu.ac.jp

平岡 bernard.yukihiro.hiraoka@mdu.ac.jp

【授業日程】

基 礎 化 学					第 1 学 年（前期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者	
1	S 4 月16日(水) 2 時限	講義の進め方	大学の講義における「ノートの取り方」を学ぶ。	山下 照仁	
	A 4 月16日(水) 2 時限			平岡 行博	
	B 4 月16日(水) 2 時限			松田 大	
2	4 月18日(金) 2 時限	1. 原子の電子配置 2. 原子番号	原子の電子配置と、原子の性質の関係を理解する。	松田 大	
3	4 月23日(水) 2 時限	1. 周期律と周期表 2. 原子番号と周期表の関係	原子の電子配置、原子番号と周期表の関係を理解する。	山下 照仁	
4	4 月25日(金) 2 時限	1. 続 周期律と周期表 2. 原子番号と周期表の関係 3. 科学史を学ぶ意義	原子の電子配置、原子番号と周期表の関係を理解する。科学と技術の違いを理解する。	平岡 行博	
5	S 4 月30日(水) 2 時限	イオンの生成、イオン結合とイオン結晶	イオンの生成が説明でき、イオン結合とイオン結晶を理解する。	山下 照仁	
	A 4 月30日(水) 2 時限			平岡 行博	
	B 4 月30日(水) 2 時限			松田 大	
6	S 5 月 2 日(金) 2 時限	共有結合と分子、分子間力と水素結合(1)	共有結合、分子間力と水素結合について説明できる。	山下 照仁	
	A 5 月 2 日(金) 2 時限			平岡 行博	
	B 5 月 2 日(金) 2 時限			松田 大	
7	S 5 月 9 日(金) 2 時限	分子間力と水素結合(2)、金属結合と金属結晶	分子間力と水素結合、金属結合について説明できる。	山下 照仁	
	A 5 月 9 日(金) 2 時限			平岡 行博	
	B 5 月 9 日(金) 2 時限			松田 大	

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
8	S 5月14日(水) 2時限	原子量・分子量・式量・物質質量	原子量・分子量・式量・物質質量について理解する。	山下 照仁
	A 5月14日(水) 2時限			平岡 行博
	B 5月14日(水) 2時限			松田 大
9	S 5月16日(金) 2時限	溶液の濃度	質量パーセント濃度、モル濃度について理解でき、水溶液の濃度計算ができる。	山下 照仁
	A 5月16日(金) 2時限			平岡 行博
	B 5月16日(金) 2時限			松田 大
10	S 5月21日(水) 2時限	化学反応式の量的関係	化学反応式の量的関係を理解する。化学反応式から量的計算ができる。	山下 照仁
	A 5月21日(水) 2時限			平岡 行博
	B 5月21日(水) 2時限			松田 大
11	S 5月23日(金) 2時限	酸・塩基の定義と pH	酸・塩基の定義と pH について説明でき、pH 値の計算ができる。	山下 照仁
	A 5月23日(金) 2時限			平岡 行博
	B 5月23日(金) 2時限			松田 大
12	S 5月28日(水) 2時限	今までの講義内容を整理、復習する。	原子や分子の構造を説明したり、濃度や pH の計算ができる。	山下 照仁
	A 5月28日(水) 2時限			平岡 行博
	B 5月28日(水) 2時限			松田 大

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
13	S 5月30日(金) 2時限	中和反応と塩、いろいろな中和と緩衝液	中和反応とその塩、緩衝液について理解し、それら反応の量的計算ができる。	山下 照仁
	A 5月30日(金) 2時限			平岡 行博
	B 5月30日(金) 2時限			松田 大
14	S 6月4日(水) 2時限	酸化還元反応：酸化剤と還元剤	酸化と還元の定義、酸化剤、還元剤について説明でき、酸化還元反応式を作ることができる。	山下 照仁
	A 6月4日(水) 2時限			平岡 行博
	B 6月4日(水) 2時限			松田 大
15	S 6月6日(金) 2時限	金属のイオン化傾向：電池	金属のイオン化傾向について理解でき、電池の形成されるしくみについて説明できる。	山下 照仁
	A 6月6日(金) 2時限			平岡 行博
	B 6月6日(金) 2時限			松田 大
16	S 6月11日(水) 2時限	酸化還元反応の量的関係	酸化還元反応の量的関係について理解し、量的な計算ができる。	山下 照仁
	A 6月11日(水) 2時限			平岡 行博
	B 6月11日(水) 2時限			松田 大
17	S 6月13日(金) 2時限	溶解と溶解度	電解質、非電解質と溶解度について説明できる。	山下 照仁
	A 6月13日(金) 2時限			平岡 行博
	B 6月13日(金) 2時限			松田 大

回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
18	S 6月18日(水) 2時限	コロイド	コロイドを理解し、その性質について説明できる。	山下 照仁
	A 6月18日(水) 2時限			平岡 行博
	B 6月18日(水) 2時限			松田 大
19	S 6月20日(金) 2時限	状態変化と気体の法則	1. 物質の三態と変化の原理を理解する。 2. 気体の体積と圧力、温度との関係を理解する。	山下 照仁
	A 6月20日(金) 2時限			平岡 行博
	B 6月20日(金) 2時限			松田 大
20	S 6月25日(水) 2時限	化学平衡(1): 化学反応に影響を与える因子	化学反応に影響を与える因子を理解し、化学反応の平衡について説明できる。	山下 照仁
	A 6月25日(水) 2時限			平岡 行博
	B 6月25日(水) 2時限			松田 大
21	S 6月27日(金) 2時限	化学平衡(2): 化学平衡の移動	平衡移動の原理について説明できる。	山下 照仁
	A 6月27日(金) 2時限			平岡 行博
	B 6月27日(金) 2時限			松田 大
22	S 7月2日(水) 2時限	今までの講義内容を整理、復習する。	様々な化学反応を反応式を使って説明できる。	山下 照仁
	A 7月2日(水) 2時限			平岡 行博
	B 7月2日(水) 2時限			松田 大

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
23	S 7月4日(金) 2時限	非金属元素	1. 非金属元素の性質について説明できる。 2. 非金属元素の化合物について説明できる。	山下 照仁
	A 7月4日(金) 2時限			平岡 行博
	B 7月4日(金) 2時限			松田 大
24	S 7月9日(水) 2時限	典型金属と遷移金属元素の性質	典型金属と遷移金属元素の性質について説明できる。	山下 照仁
	A 7月9日(水) 2時限			平岡 行博
	B 7月9日(水) 2時限			松田 大
25	S 7月11日(金) 2時限	錯イオンの形成と性質	イオンの形成について理解できる。	山下 照仁
	A 7月11日(金) 2時限			平岡 行博
	B 7月11日(金) 2時限			松田 大
26	S 7月16日(水) 2時限	今までの講義内容を整理、復習する。	金属原子と非金属原子を区別して、イオンの性質を用いて説明できる。	山下 照仁
	A 7月16日(水) 2時限			平岡 行博
	B 7月16日(水) 2時限			松田 大
27	S 7月18日(金) 2時限	有機化合物の特徴と分類	有機化合物の特徴と分類、炭素原子の結合の特徴を理解でき、有機化合物の分類、官能基、異性体について説明できる。	山下 照仁
	A 7月18日(金) 2時限			平岡 行博
	B 7月18日(金) 2時限			松田 大

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
28	S 7月23日(水) 2時限	アルカン、アルケンとアルキンの構造と性質	アルカン、アルケンとアルキンの構造とそれぞれの性質について理解する。	山下 照仁
	A 7月23日(水) 2時限			平岡 行博
	B 7月23日(水) 2時限			松田 大
29	S 7月25日(金) 2時限	官能基と化合物	アルコール、エステル、アルデヒド、ケトン、カルボン酸とエステルの構造と性質について理解する。	山下 照仁
	A 7月25日(金) 2時限			平岡 行博
	B 7月25日(金) 2時限			松田 大
30	S 8月20日(水) 2時限	総復習	様々な化学物質における性質や反応性について、論理的に説明できる。	山下 照仁
	A 8月20日(水) 2時限			平岡 行博
	B 8月20日(水) 2時限			松田 大

天然物有機化学 (A1170)

第1学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：山下照仁

特任教授：平岡行博

非常勤講師：後藤哲久、中村好伸

【一般目標（GIO）】

1. 基礎および臨床専門科目に共通する、化学の基礎を構築する。2年次の「分子生物学」や「生化学」と連携して、分子で生命現象を説明する訓練をする。
2. 健康の保持・増進および疾病予防を目標とした、市民の社会生活レベルに必要な化学的知識を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. 生命現象を観察し、それを分子で説明できる。
2. 細胞が化学の法則に従って生きていることを説明できる。
3. 生体中の化学反応が、低分子と高分子の相互作用である事を説明できる。
4. 食品を化学的に分析し、生命活動との関連を説明できる。

【教科書・参考書】

「二訂版 ニューステージ化学図表」（浜島書店：基礎化学のテキスト）

「二訂版 スクエア最新図説生物」（第一学習社：健康管理学のテキスト）を必要に応じて使用。

【教育（学習）方略（LS）】

1. 2回実施する演習において、ノートと教科書を見ながら学習内容を点検する。
2. 化学結合と分子の概念を理解するため、分子モデルを用いた補講を行う。

【フィードバック方法】

Weekly Test よび演習を実施後、正解率の低い問題は、講義等で解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test 20%、定期試験80%の割合で評価する。

他に、講義における小テスト、サブノート評価の結果を含めて、総合的に成績評価をする。

【注意事項】

演習問題および Weekly Test を解説したサブノートの提出を求める。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

復習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、各自知識をまとめること。

【オフィスアワー】

7：30～8：30が一番時間を空けやすい時間帯です。土曜日午前中、歓迎。

実習館3階 生化学研究室もしくは、実習館2階 総合歯科医学研究所内

各教員と事前に E-mail で予約をしておくこと。

山下 teruhito.yamashita@mdu.ac.jp

平岡 bernard.yukihiro.hiraoka@mdu.ac.jp

【授業日程】

天然物有機化学				
第1学年（後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	9月10日(水) 2時限	オリエンテーション 講義の内容と位置づけ 生命現象を分子の反応で考える	1. 炭素原子の多様な結合特性を理解する。 2. 有機化合物を分類し、構造式と系統名を書くことができる。	山下 照仁
2	9月17日(水) 2時限	炭化水素の化学(1) 有機化合物の略記法	1. 有機化合物を分類し、構造式と系統名を書くことができる。 2. 置換基の考え方を理解する。	山下 照仁
3	9月24日(水) 2時限	炭化水素の化学(2) 官能基の種類	1. 官能基に注目して、構造式を書くことができる。 2. 官能基の違いで分子の性質を説明できる。	山下 照仁
4	10月1日(水) 2時限	官能基の性質 原子の特性と化学結合	1. 炭素原子の多様な結合特性を理解する。 2. 混成軌道で化学結合を説明できる。	山下 照仁
5	10月8日(水) 2時限	酸素を含む官能基	1. カルボキシ基の性質を理解する。 2. 鏡像異性体を説明できる。	山下 照仁
6	10月22日(水) 2時限	官能基を複数もつ化合物(1)	1. アミノ酸の性質を理解する。 2. 双性イオンを説明できる。	山下 照仁
7	10月29日(水) 2時限	官能基を複数もつ化合物(2)	1. ヒドロキシ基の性質を理解する。 2. アルコールの構造と命名法を説明できる。	山下 照仁
8	11月5日(水) 2時限	マイコトキシン（かび毒）	1. マイコトキシンの特性を理解する。 2. かび毒の予防法を理解する。	後藤 哲久
9	11月12日(水) 2時限	低分子と高分子、血液の緩衝作用	1. 限外ろ過と透析を説明できる。 2. 血液の緩衝作用を説明できる。	平岡 行博
10	11月19日(水) 2時限	脂質の化学と細胞膜膜	1. 脂質を分類して、その特徴と細胞での機能について解説できる。 2. 細胞膜の流動性と構成脂質との関係を理解する。	平岡 行博
11	11月26日(水) 2時限	「溶けるか溶けないか」	1. 炭化水素の長さによって水に溶けない性質になることを説明できる。 2. 親水性官能基を説明できる。	中村 好伸
12	12月3日(水) 2時限	糖質の化学	1. 糖を分類し、その構造を説明できる。 2. 糖の構造的特徴と機能の相関を説明できる。	平岡 行博
13	12月10日(水) 2時限	アミノ酸とタンパク質の化学	1. アミノ酸を分類し、その構造的特徴と性質を説明できる。 2. タンパク質を、組成・形状・機能によって分類できる。	平岡 行博
14	12月17日(水) 2時限	タンパク質の構造と変性タンパク質の「お化粧」	1. タンパク質の構造を例をあげて解説できる。 2. 変性・凝固を解説できる。 3. 翻訳後修飾について理解する。	平岡 行博
15	1月7日(水) 2時限	生化学の研究技術	1. 生化学分野で用いられる研究技術の原理を理解する。	平岡 行博

バイオマテリアル入門 (A1175)

第1学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：黒岩昭弘
准教授：洞澤功子

【一般目標（GIO）】

バイオマテリアルとしての歯科材料の重要性を理解し、次年度から履修する歯科理工学の基盤となる自然科学に関する知識を習得する。

【行動目標（SBOs）】

1. バイオマテリアルとしての歯科材料に必要な性質が説明できる。
2. 口腔内環境と歯科バイオマテリアルの関連性について説明できる。
3. 歯科材料の化学反応や基礎的な物性について説明できる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 宮坂平他：「基礎歯科理工学（第1版）」（医歯薬出版）
「ニューステージ化学図表」（浜島書店）
バイオマテリアル入門テキスト
〔参考書〕 田中順三・角田方衛・立石哲也編：「バイオマテリアル－材料と生体の相互作用－」（内田老鶴圃）
石原一彦・畑中研一・山岡哲二・大矢裕一：「バイオマテリアルサイエンス」（東京化学同人）
日比野靖：「ライブ歯科理工学—よくわかるやさしい講義中継—（第2版）」（学建書院）

【教育（学習）方略（LS）】

黒板に講義内容の要点を板書するので、各自講義ノートを作成する。

【フィードバック方法】

定期試験やレポート実施後、正解率が低い、或いは理解できていない点を学生イントラに掲示或いは講義中に解説する。

【評価方法（Evaluation）】

Weekly Test 20%、期末試験80%とし、講義への参加意欲を加味して評価する。

【注意事項】

板書はノートにまとめ易いように行うので、必ず講義ノートを作成すること。随時、講義ノートの提出を求める。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

復習：配付されたテキストとノートの見直しを行なう。Weekly Test に備える。

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時
実習館1階 歯科理工学医局
日時について事前にE-mailで予約を入れる。
E-mail：akihiro.kuroiwa@mdu.ac.jp（黒岩）、noriko.horasawa@mdu.ac.jp（洞澤）

【授業日程】

バイオマテリアル入門 第1学年（後期）				
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	9月12日(金) 1時限	バイオマテリアル概論(1) 生体反応 各種疾病の治療の際に用いられている バイオマテリアルを紹介および生体と の関わりについて	バイオマテリアルと生体との関わりを理解する。	黒岩 昭弘 洞澤 功子
2	9月19日(金) 1時限	バイオマテリアル概論(2) 構成成分 前回紹介したバイオマテリアルの構成 成分とその特性について	バイオマテリアルの構成成分を理解する。	洞澤 功子
3	9月26日(金) 1時限	口腔内環境について 歯科治療に用いられるバイオマテリア ルに必要な性質を理解するための口腔 内環境について	口腔内環境を説明する。	洞澤 功子
4	10月3日(金) 1時限	金属材料(1) 口腔内で用いられる金属材料について	口腔内で用いる金属材料に必要な性質を説明する。	洞澤 功子
5	10月10日(金) 1時限	金属材料(2) 口腔内で顎骨に埋入して用いる金属材 料、歯科用インプラントに必要な性質 について	口腔内で使用する金属には組織に埋入するものがあることを理解する。	洞澤 功子
6	10月17日(金) 1時限	金属材料(3) 電池のデモ実験、および口腔内の異種 金属の作用実験を通して、生体内で生 じる金属の腐食について	口腔内で生じる金属の腐食のメカニズムを説明する。	洞澤 功子
7	10月24日(金) 1時限	無機材料(1) 口腔内で用いられる合着材料および歯 冠修復材料の硬化反応について	歯科用セメントの硬化反応と pH の関係を説明する。	洞澤 功子
8	10月31日(金) 1時限	無機材料(2) 合着材料および歯冠修復材料のデモ実 験を通して、これらの材料に口腔内で 必要とする性質について	合着材および歯冠修復材料に必要な性質を理解する。	洞澤 功子
9	11月7日(金) 1時限	有機材料(1) 床義歯材料の種類とラジカルによる硬 化反応について	床義歯材料の硬化反応が説明でき、口腔での使用に必要な性質を理解する。	洞澤 功子
10	11月14日(金) 1時限	有機材料(2) 接着材料の硬化反応について	接着性レジンセメントの硬化反応を理解する。	洞澤 功子
11	11月21日(金) 1時限	有機材料(3) 接着システムに使用する材料について	接着システムの必要性和使用する材料を理解する。	洞澤 功子
12	11月28日(金) 1時限	有機材料(4) ゴム質印象材の硬化反応のメカニズム について	ゴム質印象材の重合反応を説明できる。	洞澤 功子
13	12月5日(金) 1時限	複合材料(1) コンポジットレジンの種類と硬化反応 について（デモ実験により）	コンポジットレジンの硬化反応を説明する。	洞澤 功子
14	12月12日(金) 1時限	複合材料(2) 硬質レジンの成分と硬化反応およびそ の性質について（陶材と比較しながら）	硬質レジンの硬化反応と性質を説明する。	洞澤 功子
15	12月19日(金) 1時限	まとめ 講義全体のまとめ	バイオマテリアルとしての歯科材料の所要性質を説明する。	黒岩 昭弘 洞澤 功子

健康管理学 (A1180)

第1学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：安藤 宏

非常勤講師：竹内由里、久家 香

【一般目標（GIO）】

健康という概念を認識し、人体のしくみと合わせて理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 健康の大切さと健康管理の意義を説明する。
2. 人体のしくみを説明する。
3. 自己および他者の健康を管理する方法を具体的に述べる。
4. 授業に能動的な態度で取り組む。

【教科書・参考書】

〔教科書〕岡田隆夫編：「カラーイラストで学ぶ集中講義生理学（改訂3版）」（メジカルビュー社）

吉里勝利監修：「新課程二訂版スクエア最新図説生物 neo」（第一学習社）

佐伯由香他編訳：「トートラ人体解剖生理学（原書11版）」（丸善出版）

〔参考書〕坂井建雄・橋本尚詞著：「ぜんぶわかる人体解剖図」（成美出版）

【教育（学習）方略（LS）】

講義を聞き、知識を習得するとともに、各回の授業内容を関連付けて考える能力を身に付ける。

【フィードバック方法】

定期試験で正解率の低かった問題を中心にイントラ掲載や補講などにより解説する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験（80％）、Weekly Test（20％）で評価する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。

【オフィスアワー】

随時、質問に応じる。

実習館3階 生理学研究室

E-mail：hiroshi.ando@mdu.ac.jp

【授業日程】

健康管理学				
第1学年（前期）				
回数	授業日(金) 時 間	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
1	4月18日(金) 3時限	イントロダクション：健康とは	人のしくみと健康管理を関連付けて説明できる。	安藤 宏
2	4月25日(金) 3時限	学生生活における健康管理(1)	学内外での健康管理を実践できる。	久家 香
3	5月2日(金) 3時限	学生生活における健康管理(2)	自主的な生活管理ができる。	久家 香
4	5月9日(金) 3時限	睡眠と健康	睡眠とは何かを、脳活動とともに説明できる。	安藤 宏
5	5月16日(金) 3時限	人体のしくみ(1)：身体を構成する物質 1 タンパク質と酵素	細胞での物質反応を説明できる。 ホメオスタシスの重要性を説明できる。	安藤 宏
6	5月23日(金) 3時限	人体のしくみ(2)：身体を構成する物質 2 細胞膜と物質の移動	物質による細胞膜の透過性の違いが説明できる。 浸透圧が説明できる。	安藤 宏
7	5月30日(金) 3時限	人体のしくみ(3)：代謝と内呼吸	物質代謝と ATP 合成の仕組みを説明できる。	安藤 宏
8	6月6日(金) 3時限	人体のしくみ(4)：消化と吸収	食物の消化と吸収を説明できる。	安藤 宏
9	6月13日(金) 3時限	食と健康(1)：栄養学	食品それぞれの栄養を説明できる。	竹内 由里
10	6月20日(金) 3時限	食と健康(2)：食事指導	健全な食生活の管理ができる。	竹内 由里
11	6月27日(金) 3時限	人体のしくみ(5)：血液	血液の成分と働きを説明できる。	安藤 宏
12	7月4日(金) 3時限	人体のしくみ(6)：排泄と体液の調節	腎臓の働きと体液の調節を説明できる。	安藤 宏
13	7月11日(金) 3時限	人体のしくみ(7)：ホルモン	ホルモンの働きと分泌調節を説明できる。	安藤 宏
14	7月18日(金) 3時限	生体防御(1)：免疫	免疫のしくみを説明できる。	安藤 宏
15	7月25日(金) 3時限	生体防御(2)：感染症、免疫異常	感染や免疫異常などの病的状態における免疫反応を説明できる。	安藤 宏

スポーツ生理学 (A1185)

第1学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教授：安藤 宏
准教授：正村正仁

【一般目標（GIO）】

スポーツのという概念を認識し、人体のしくみと合わせて理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. スポーツの大切さと身体のケアの意義を説明する。
2. 人体のしくみを説明する。
3. スポーツ・運動を通して健康を管理する方法を具体的に述べる。
4. 授業に能動的な態度で取り組む。

【教科書・参考書】

【教科書】岡田隆夫編：「カラーイラストで学ぶ集中講義生理学（改訂3版）」（メジカルビュー社）
吉里勝利監修：「新課程二訂版スクエア最新図説生物 neo」（第一学習社）
佐伯由香他編訳：「トートラ人体解剖生理学（原書11版）」（丸善出版）
【参考書】坂井建雄・橋本尚詞著：「ぜんぶわかる人体解剖図」（成美出版）

【教育（学習）方略（LS）】

講義を聞き、知識を習得するとともに、各回の授業内容を関連付けて考える能力を身に付ける。

【フィードバック方法】

定期試験で正解率の低かった問題を中心にイントラ掲載や補講などにより解説する。

【評価方法（Evaluation）】

定期テスト（80％）と Weekly Test（20％）で評価する。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

復 習：講義ノート、配付されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。

【オフィスアワー】

随時、質問に応じる。

実習館3階 生理学研究室

E-mail：hiroshi.ando@mdu.ac.jp

【授業日程】

スポーツ生理学 第1学年（後期）				
回数	授業日	項目・講義内容	学習到達目標 (SBOs)	担当者
1	9月12日(金) 2時限	イントロダクション：スポーツと健康	スポーツが健康に及ぼす影響を説明できる。	安藤 宏
2	9月19日(金) 2時限	人体のしくみ(1)：神経の伝導と伝達1	神経が情報を伝える仕組みを説明できる。	安藤 宏
3	9月26日(金) 2時限	人体のしくみ(2)：神経の伝導と伝達2	神経が情報を伝える仕組みを説明できる。	安藤 宏
4	10月3日(金) 2時限	人体のしくみ(3)：末梢神経系	末梢神経系の種類とその構造・機能を説明できる。	安藤 宏
5	10月10日(金) 2時限	人体のしくみ(4)：中枢神経系	中枢神経系の構造・機能を説明できる。	安藤 宏
6	10月17日(金) 2時限	人体のしくみ(5)：感覚の生じるしくみ	感覚の種類と感覚が生じるしくみが説明できる。	安藤 宏
7	10月24日(金) 2時限	人体のしくみ(6)：運動の生じるしくみ	反射や随意的な運動が生じるしくみを説明できる。	安藤 宏
8	10月31日(金) 2時限	スポーツと障害：歯科とスポーツ	障害予防のためのスポーツ歯科の役割を説明できる。	正村 正二
9	11月7日(金) 2時限	人体のしくみ(7)：骨格筋と筋収縮1	骨格筋の働きと筋肉の収縮の仕組みを説明できる。	安藤 宏
10	11月14日(金) 2時限	人体のしくみ(8)：骨格筋と筋収縮2	骨格筋の働きと筋肉の収縮の仕組みを説明できる。	安藤 宏
11	11月21日(金) 2時限	人体のしくみ(9)：骨格筋、心筋と平滑筋	筋肉の種類による性質の違いを説明できる。	安藤 宏
12	11月28日(金) 2時限	人体のしくみ(10)：心臓1	心臓の働き、心電図や心音を説明できる。	安藤 宏
13	12月5日(金) 2時限	人体のしくみ(11)：心臓2	心臓の働き、心電図や心音を説明できる。	安藤 宏
14	12月12日(金) 2時限	人体のしくみ(12)：血管とリンパ管系	血管とリンパ管の働き、血圧や浮腫を説明できる。	安藤 宏
15	12月19日(金) 2時限	人体のしくみ(13)：外呼吸	呼吸器系の働きと呼吸運動の仕組みを説明できる。	安藤 宏

細胞生物学 (A1190)

第1学年（前期）
講義 必修

【担当者】

教授：安藤 宏

【一般目標（GIO）】

細胞生物学と専門教育科目との関連を知り、歯科医学を細胞レベルで考える力を身につける。

【行動目標（SBOs）】

1. 人体を構成する60兆個、200種類の細胞に共通する構造を理解する。
2. 細胞レベルの生命活動と、それにかかわる細胞小器官の機能を理解する。
3. 1個の受精卵が分裂と増殖をくり返し、人体を形作る過程でおこる様々な現象を理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕佐伯由香他編訳：「トートラ人体解剖生理学（原書11版）」（丸善出版）

〔参考書〕吉里勝利監修：「新課程二訂版スクエア最新図説生物 neo」（第一学習社）

坂井建雄・石崎泰樹：「カラー図解人体の細胞生物学」（日本医事新報社）

前野正夫・磯川桂太郎：「はじめの一步のイラスト生化学・分子生物学（第3版）」（羊土社）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書を参考にしながら、スライドを用いて講義を行う。Weekly Test においては、講義内容の中から5問程度出題する。

【フィードバック方法】

定期試験で正解率の低かった問題を中心にイントラ掲載や補講などにより解説する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験の得点（80％）に Weekly Test の平均点（20％）を合計した点数で評価する（評価方法の詳細は、初回の講義で説明する）。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスで講義内容を確認し、教科書の該当ページに目を通しておくこと。（20分）

復 習：当日学んだ知識を再確認し、講義ノートを完成させること。（40分）

【オフィスアワー】

随時、質問に応じる。

実習館3階 生理学研究室

E-mail：hiroshi.ando@mdu.ac.jp

【授業日程】

細胞生物学					第1学年（前期）
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者	
1	4月16日(水) 1時限	細胞生物学序説 1. 原核細胞と真核細胞の共通点と相違点 2. 動物細胞と植物細胞の共通点と相違点 3. 人体を構成する細胞の普遍性と多様性	1. 原核細胞と真核細胞、動物細胞と植物細胞の共通点と相違点を理解する。 2. 細胞質と核質の構成要素を列挙できる。 3. 細胞の形態の多様性を理解する。 4. 多核細胞と無核細胞を列挙できる。	安藤 宏	
2	4月23日(水) 1時限	核 1. 核の構造と機能 2. 核小体の構造と機能 3. 核と核小体を構成する物質	1. 核の構造を説明できる。 2. 核の構成成分を列挙できる。 3. 核小体の構成成分を列挙できる。 4. DNA と RNA の違いを理解する。 5. 転写を理解する。	安藤 宏	
3	4月30日(水) 1時限	細胞膜(1) 1. 細胞膜の基本構造と流動モザイクモデル 2. 細胞膜の機能 3. 細胞膜のヒダ	1. 流動モザイクモデルを理解する。 2. 細胞膜の働きを理解する。 3. 細胞膜のヒダを列挙できる。	安藤 宏	
4	5月14日(水) 1時限	細胞膜(2) 膜タンパク質の機能	膜タンパク質の働きを理解する。	安藤 宏	
5	5月21日(水) 1時限	リボソームと小胞体 1. リボソームの構造と機能 2. 小胞体の構造と機能	1. リボソームの構造と働きを理解する。 2. 粗面小胞体と滑面小胞体の構造と働きを理解する。	安藤 宏	
6	5月28日(水) 1時限	Golgi 装置 Golgi 装置の構造と機能	1. Golgi 装置の構造を理解する。 2. Golgi 装置でのタンパク質の回収・成熟・振り分けを理解する。	安藤 宏	
7	6月4日(水) 1時限	リソソーム リソソームの構造と機能	1. リソソームの構造を理解し、構成成分を列挙できる。 2. リソソームの働きを理解する。	安藤 宏	
8	6月11日(水) 1時限	ミトコンドリアとその他の細胞小器官 1. ミトコンドリアの構造と機能 2. ペルオキシソームの構造と機能 3. 中心子の構造と機能	1. ミトコンドリアの構造と働きを理解する。 2. ペルオキシソームの働きを理解する。 3. 中心子の構造と働きを理解する。	安藤 宏	
9	6月18日(水) 1時限	細胞骨格 1. ミクロフィラメントの構造と機能 2. 中間径フィラメントの構造と機能 3. 微小管の構造と機能	1. 細胞骨格の働きを理解する。 2. 細胞骨格の構成成分を列挙できる。	安藤 宏	
10	6月25日(水) 1時限	細胞による物質の取り込みと放出 1. 食作用と飲作用の機構 2. 分泌の機構 3. 細胞膜の動態と収支	1. エンドサイトーシスの機構を理解する。 2. エクソサイトーシスの機構を理解する。	安藤 宏	
11	7月2日(水) 1時限	セントラルドグマ 遺伝情報の流れとタンパク質合成における細胞小器官相互のかかわり	1. DNA → RNA → タンパク質に至る遺伝情報の流れを理解する。 2. 分泌タンパク質の形成過程を理解する。	安藤 宏	
12	7月9日(水) 1時限	細胞の連結 1. 細胞同士の連結装置 2. 細胞と基底膜の連結装置	1. 細胞の連結装置を列挙できる。 2. 細胞の連結装置の働きを理解する。 3. 連結装置が細胞のどの部位にあるかを理解する。	安藤 宏	

回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標 (SBOs)	担当者
13	7月16日(水) 1時限	細胞外マトリックス 線維状タンパク質とグリコサミノグリカンの種類と機能	1. 細胞外マトリックスの構成要素を列挙できる。 2. 細胞外マトリックスの働きを理解する。 3. 基底膜の構成要素を列挙できる。 4. 基底膜の働きを理解する。	安藤 宏
14	7月23日(水) 1時限	細胞周期 細胞周期の過程とチェックポイント	1. 細胞周期の過程を理解する。 2. 各期で起きている事象を理解する。 3. チェックポイントで起きている事象を理解する。	安藤 宏
15	8月20日(水) 1時限	細胞の死 1. アポトーシスとネクロシスの機構 2. アポトーシスによる細胞死の意義	1. アポトーシスとネクロシスの違いを理解する。 2. アポトーシスの過程を理解する。 3. ネクロシスの過程を理解する。	安藤 宏

人 体 生 物 学 (A1195)

第1学年（後期）
講義 必修

【担当者】

教 授：安藤 宏

【一般目標（GIO）】

1. 人体がどのように構築されているかを理解する。
2. 分化した細胞が形作る組織の特徴を理解する。
3. 人体の生命活動を役割分担する器官と器官系の構造と機能を理解する。

【行動目標（SBOs）】

1. 人体の階層性を理解する。
2. 組織が作り出す器官・器官系の特性を理解する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕佐伯由香他編訳：「トートラ人体解剖生理学（原書11版）」（丸善出版）

〔参考書〕岡田隆夫編：「カラーイラストで学ぶ集中講義生理学（改訂3版）」（メジカルビュー社）

坂井建雄・橋本尚詞著：「ぜんぶわかる人体解剖図」（成美出版）

【教育（学習）方略（LS）】

教科書を参考にしながら、スライドを用いて講義を行う。Weekly Test においては、講義内容の中から5問程度出題する。

【フィードバック方法】

定期試験で正解率の低かった問題を中心にイントラ掲載や補講などにより解説する。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験の得点（80％）に Weekly Test の平均点（20％）を合計した点数で評価する（評価方法の詳細は、初回の講義で説明する）。

【注意事項】

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスで講義内容を確認し、教科書の該当ページに目を通しておくこと。（20分）

復 習：当日学んだ知識を再確認し、講義ノートを完成させること。（40分）

【オフィスアワー】

随時、質問に答える。

実習館3階 生理学研究室

E-mail：hiroshi.ando@mdu.ac.jp

【授業日程】

人 体 生 物 学 第 1 学 年（後期）				
回数	授業日	項 目 ・ 講 義 内 容	学 習 到 達 目 標（SBOs）	担当者
1	9月11日(木) 1時限	人体生物学序説 人体の階層性	細胞から個体にいたる人体の階層性を理解する。	安藤 宏
2	9月18日(木) 1時限	分化した細胞が作る組織(1) 上皮組織の構造と機能	分化した細胞が作り出す上皮組織の概要を理解する。	安藤 宏
3	9月25日(木) 1時限	分化した細胞が作る組織(2) 支持組織の構造と機能①	分化した細胞が作り出す支持組織の概要を理解する。	安藤 宏
4	10月2日(木) 1時限	分化した細胞が作る組織(3) 支持組織の構造と機能②	分化した細胞が作り出す支持組織の概要を理解する。	安藤 宏
5	10月9日(木) 1時限	分化した細胞が作る組織(4) 筋組織と神経組織の構造と機能	分化した細胞が作り出す筋組織や神経組織の概要を理解する。	安藤 宏
6	10月16日(木) 1時限	生命維持装置としての器官・器官系(1) 消化器系の構造と機能①	栄養の消化と吸収に関わる中腔性器官の概要を理解する。	安藤 宏
7	10月23日(木) 1時限	生命維持装置としての器官・器官系(2) 消化器系の構造と機能②	栄養の消化と吸収に関わる実質性器官の概要を理解する。	安藤 宏
8	10月30日(木) 1時限	生命維持装置としての器官・器官系(3) 呼吸器系の構造と機能	呼吸に関わる器官・器官系の概要を理解する。	安藤 宏
9	11月13日(木) 1時限	生命維持装置としての器官・器官系(4) 循環器系の構造と機能①	血液およびリンパ液の循環に関わる器官・器官系の概要を理解する。	安藤 宏
10	11月20日(木) 1時限	生命維持装置としての器官・器官系(5) 循環器系の構造と機能②	血液およびリンパ液の循環に関わる器官・器官系の概要を理解する。	安藤 宏
11	11月27日(木) 1時限	生命維持装置としての器官・器官系(6) 泌尿器系の構造と機能①	体液の調節と尿の生成に関わる器官・器官系の概要を理解する。	安藤 宏
12	12月4日(木) 1時限	生命維持装置としての器官・器官系(7) 泌尿器系の構造と機能②	体液の調節と尿の生成に関わる器官・器官系の概要を理解する。	安藤 宏
13	12月11日(木) 1時限	生命維持装置としての器官・器官系(8) 骨格系の構造と機能①	体の支持と運動に係る器官・器官系の概要を理解する。	安藤 宏
14	12月18日(木) 1時限	生命維持装置としての器官・器官系(9) 骨格系の構造と機能②	体の支持と運動に係る器官・器官系の概要を理解する。	安藤 宏
15	1月8日(木) 1時限	生命維持装置としての器官・器官系(10) 筋系の構造と機能①	体の運動に係る器官・器官系の概要を理解する。	安藤 宏

オープンセミナーⅠ・オープンセミナーⅡ (A1200・A1210)

第1学年（前期・後期）

本セミナーは、学生の主体的な授業参加促進のための学習形態である問題解決型学習（PBL：Problem-based Learning）による「問題解決力」の育成を目指している。今日のような歯科医学の急速な進歩と社会の多様で複雑なニーズに応えるためには、講義型授業により学習内容を教員が伝達し獲得した知識から学ぶだけではなく、具体的事例や問題などの課題に取り組むことを通じて、学生自ら発見し獲得した概念から学ぶ能動的な学習態度を身につけることが益々重要になっている。

【一般目標（GIO）】

歯科医療に携わる人間として必要な多角的知識を自らの力で獲得するために、本セミナーで開講されている社会科学から自然科学にいたる幅広い分野の科目の中より選択し、主体的に取り組むことで、「感じる力」、「考える力」、「コミュニケーション力」とそれらの総合力である「問題解決力」に対応し学習態度を身につける。

【履修上の注意】

- 1) 前期：オープンセミナーⅠは別表に記載されている8科目
後期：オープンセミナーⅡは別表に記載されている9科目
前期、後期それぞれ1科目を履修する。
- 2) 科目希望調査等についての説明を、全体オリエンテーション時に行う。

オープンセミナーⅠ 開講科目 (A1200)

第1学年（前期）
講義・演習 選択

開講曜日 時 限	セミナー	担当者	教室
金曜日 1 時限	AI について考えよう	内田 啓一	（講）101教室
金曜日 1 時限	データサイエンス入門	荒 敏昭	（講）104教室
金曜日 1 時限	入門 「聖書」 & 「キリスト教」	平岡 行博	（実習館）2 階 大学院セミナー室
金曜日 1 時限	金属とは何か	永澤 栄	（講）103教室
金曜日 1 時限	歯科医としてのコミュニケーション力	赤地 憲一	（講）105教室
金曜日 1 時限	エピソードで楽しむ人類と医学の歩みⅠ	笠原 浩	旧 PC 室
金曜日 1 時限	フランス語入門	野村 貫之	（講）203教室
金曜日 1 時限	ネコの毛色の遺伝子を探る	小野 珠乙	（講）102教室
月～金曜日 5 時限	日本語演習（留学生）	楊 静	（講）105教室
	日本語演習（留学生）	松本 りか	（講）101教室

ネコの毛色の遺伝子を探る (A1200)

第1学年（前期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：小野珠乙

【一般目標（GIO）】

ネコを題材にしてメンデル遺伝を理解できるようにする。

【内容】

ネコは単純なメンデル遺伝で表現される毛の色やパターンが多い。ネコの画像などを見て毛色やパターンの遺伝子組成を推理できるようにする。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 特に指定しない。

〔参考書〕 セミナー中に随時紹介する。

【進め方】

1. ネコの生物学についての講義とディスカッションをする。
2. ネコの毛色の遺伝子についての講義とディスカッションをする。
3. 各自がネコの画像を持ち寄って毛色の遺伝子組成を推理する。
4. 参加者との積極的な交流を期待する。

【フィードバック方法】

積極的に毛色の遺伝子を推理した受講生には発表会でその内容を報告してもらい、フィードバックする。

【評価方法（Evaluation）】

積極的な発表により評価する。

【注意事項】

ペットネコ、地域ネコ、ネコの親子（母子）の画像を提供してください。

【標準学習時間（予習・復習）】

予 習：次週の課題についてインターネットなどで調べてください（30分）

復 習：セミナー中に指定された課題についてインターネットなどで調べてください（30分）

【オフィスアワー】

随時 e-mail（tamaoono@gmail.com）にて対応する。

AIについて考えよう (A1200)

第1学年（前期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：内田啓一

【一般目標（GIO）】

1. AIの基礎知識を学ぶ。
2. AIの医科学における役割を学ぶ。
3. AIの将来についてグループワークを行いプレゼンテーションでの検討を行う。

【内容】

「人工知能（AI）」とは、学習・推論・認識・判断などの人間の知能を持たせたコンピューターシステムのことであり、医療分野にもひろく活用されてきている。このAIの活用には様々な問題点もあるので、その活用法について考えてみる。

【教科書・参考書】

〔教科書〕特に指定しない。

〔参考書〕特に指定しない。

【フィードバック方法】

プレゼンテーションのフィードバックとレポート実施後に理解度の確認を行う。

【進め方】

1. AIについての講義
2. グループワーク（プレゼンテーションの準備）

【評価方法（Evaluation）】

理解度、参加度、レポートなどから総合的に評価する。

【注意事項】

各自のコンピュータを持参すること。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

予 習：AIについて各自知識をまとめること。（10分）

復 習：セミナーの内容について復習すること。（20分）

【オフィスアワー】

随時

本館2階共同教員室

初診室（総合診断科・総合治療科）教授室 E-mail：keiichi.uchida@mdu.ac.jp

やさしい統計 (A1200)

第1学年（後期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：小野珠乙

【一般目標（GIO）】

統計を直感で理解できるようにする。

【内容】

各自のパソコンを使って実際に統計処理をして理解できるようにする。なるべく数式は使わないようにする。

【教科書・参考書】

〔教科書〕4Steps エクセル統計 第5版 オーエムエス出版

〔参考書〕統計学がわかる（ファーストブック）技術評論社

【進め方】

1. データの整理：基本統計量とヒストグラムを理解する。
2. 母集団と標本の意味を理解する。
3. 平均値、データのばらつきを理解する。
4. 2つのグループの差を調べる。
5. 参加者との積極的な交流を期待する。

【フィードバック方法】

積極的に課題発表をした受講生には発表会でその内容を報告してもらい、フィードバックする。

【評価方法（Evaluation）】

積極的な発表により評価する。

【注意事項】

各自、パソコンを持参すること。

【標準学習時間（予習・復習）】

予 習：発表者は課題についてインターネットなどで調べてください（60分）

復 習：セミナー中に指定された課題についてインターネットなどで調べてください（30分）

【オフィスアワー】

随時 e-mail（tamaoono@gmail.com）にて対応する。

データサイエンス入門 (A1200)

第1学年（前期）
講義 選択

【担当者】

教授：荒 敏昭

【一般目標（GIO）】

1. データの適切な表示方法を理解する。
2. データの適切な解析法を理解する。

【内容】

世の中には多数のデータが存在する。今後これらのデータの図示・解析を要求されるため、その方法について学習する。さらに、確率を含め数値的な内容を学習する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 特に指定しない。

〔参考書〕 高橋 信「マンガでわかる統計学」（オーム社）

佐藤俊哉「宇宙怪人しまりす 医療統計を学ぶ（岩波科学ライブラリー）」（岩波書店）

加藤文元監修「知識ゼロでも楽しく読める！ 数学のしくみ」（西東社）

【進め方】

1. 数字およびデータサイエンスについての講義
2. 解析を行うデータの検索（課題内容）
3. 探索したデータ解析・図示化
4. グループワーク（プレゼンテーションの準備）

【フィードバック方法】

データの提示方法などについて講義中にフィードバックを行う。また、不明点などがあれば解説する。

【評価方法（Evaluation）】

理解度、参加度、課題内容などから総合的に評価する。

【注意事項】

各自のコンピュータを持参することが望ましい。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

予 習：セミナーに使用するデータをインターネット等を利用して検索し、どのような解析方法が適しているのかを考えておくこと。（30分）

【オフィスアワー】

随時

実習館3階 歯科薬理学講座研究室

E-mail：toshiaki.ara@mdu.ac.jp

入門 「聖書」 & 「キリスト教」 (A1200)

第1学年（前期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：平岡行博

【一般目標（GIO）】

1. 問題点を抽出することが出来る。
2. 調べた内容を理解してレポートにまとめることができる。
3. まとめた内容を説明できる。

【内容】

このセミナーでは、「ピア・リーディング」により下記のテキストを読み込み理解を深め、さらには自分自身の考え方や価値観を再検討していきます。「ピア、peer（仲間）」学習の要点は、「協働」です。対話を通して学習者同士が互いの力を発揮し、協力して学ぶ事です。知識は状況に依存しており、学習とは学習者自身が知識を構築していく過程であって、学習者同士の相互作用を通じて行われるものであることを体験してもらいます。

【教科書】① 山我 哲雄：キリスト教入門（岩波ジュニア新書）

② 山形 孝夫：聖書物語（岩波ジュニア新書）

③ 清涼院流水：どろどろの聖書（朝日新聞出版）

欧米2000年の文化は、キリスト教が精神的支柱としての役割を果たしてきました。絵画を鑑賞する時にも、キリスト教の知識があれば楽しみ方が変わります。テキスト①は、キリスト教がユダヤ教を母体として生まれ、独立した世界宗教へと発展し、諸教派に分かれていったその歴史と現在や、欧米の歴史、思想、文化との関係を学ぶことができます。テキスト②は、聖書全体を概観できる良書です。旧約聖書と新約聖書、それぞれが各4章で構成されています。いずれも聖書研究者による本です。テキスト③は作家の手によるもので、旧約聖書の扱いが全体の4/5になって、より面白い物語になっています。

【進め方】

テキストは①が256、②が216、③が220ページの新書です。毎週各20～30ページ程の内容を学習します。学生諸君は事前にテキストを読み、内容をまとめておく必要があります。ひとりひとりの学習者が学習した「過程」を「対話」することにより、それを「共有」します。これを繰り返すことにより、「教養」を身に付けていきましょう。

【フィードバック方法】

各自が作成したレポートを発表および討議して、その理解を深める。

【評価方法（Evaluation）】

(1)課題抽出と討議への参加（40%）(2)レポート内容（40%）(3)出欠（20%）以上の3項目により評価する。

【注意事項】

遅刻・欠席をしないこと。欠席の場合は、事前・事後にかかわらず断りを入れること。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：課題分のテキストを読み、内容をまとめてレポート作成する。判らない用語は、列挙しておく。

【オフィスアワー】

実習館3階 生化学研究室

いつでも対応しますが、事前にアポイントを取ること。 E-mail：bernard.yukihiro.hiraoka@mdu.ac.jp

金属とは何か (A1200)

第1学年（前期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：永澤 栄

【一般目標（GIO）】

金属とは何か説明できる。

合金の性質について説明できる。

【内容】

歯科では多くの金属材料が使われている。まず、金属とは何かを説明した後、金属の持つ様々な性質について学習する。

さらに、チタン製インプラント工場の見学も行う。

【教科書・参考書】

〔教科書〕なし

〔参考書〕なし

【進め方】

豊富なスライド写真を使った講義と、幾つかの実験を通して金属の本質に迫ります。

【フィードバック方法】

講義終了後、不明点があれば解説する。

【評価方法（Evaluation）】

金属とは何かを調べる自主的な興味度と、知りえた知識を、いかに平易に説明できるかを評価する。

【注意事項】

入門書（¥1000程度）を購入する必要があるかもしれません。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

予 習：身の回りの金属について興味を持ち調べておくこと。（10分）

復 習：講義で取り扱った金属の性質について調べ、ノートに整理すること。（20分）

【オフィスアワー】

随時 実習館地下1階 特任教授室

歯科医としてのコミュニケーション力 (A1200)

第1学年（前期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：赤地憲一

【一般目標（GIO）】

歯科医師として必要な、コミュニケーション力（英語によるものを含む）の養成。

【内容】

- (1) コミュニケーション理論と、歯科医師として求められるコミュニケーション力の養成。
- (2) 歯科医として必要な英語による文書の作成法—論文や紹介・推薦・通知・お礼・依頼・催促・弔意・契約・見舞等の書式—を習得する。

【教科書・参考書】

オリエンテーションにて指示する。

【進め方】

サンプルにより学習をしたあと、実際場面に即した口頭演習や文書の作成→添削等、の過程を通して表現力を養う。

【フィードバック方法】

身につけた表現力を随時、応用していく機会を設ける。

【評価方法（Evaluation）】

授業での演習と、その都度提出いただく課題等を総合的に評価する。

【注意事項】

医療に関するコミュニケーション英語については、毎回小テストを行うので、復習して授業に臨むこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（30分）

復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（30分）

【オフィスアワー】

講義後質問を受け付ける。

エピソードで楽しむ人類と医学の歩み I (A1200)

第1学年（前期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：笠原 浩

【一般目標（GIO）】

世界の文化と医学を含めた科学の発展にからまる神話・伝説や面白いエピソードを紹介します。将来の医療人としての教養を深めるとともに、患者さんたちとのコミュニケーションをより円滑なものとするためにも、きっと役に立ちます。

【内容】

毎回面白いお話を用意しています。西欧文明の基盤となったギリシア・ローマ神話や聖書の世界など、東洋では日本神話、仏教入門など、地元についても信州の雪形や善光寺縁起など。パワーポイントを使って、世界の名画や美しい風景写真も数多くご覧に入れます。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 使用しません。

〔参考書〕 セミナー中に随時紹介します。

【進め方】

オリジナルな講義が主体ですが、質問や意見などで参加者との積極的な交流を期待します。

【フィードバック方法】

レポートの内容がすぐれていた方は、発表会でその内容を報告していただきます。

【評価方法（Evaluation）】

試験は考えていませんが、より楽しくて実りあるセミナーにするために、レポートの提出を求めることがあります。

【注意事項】

だれもが知っている名画について、その背景が理解できれば、美術鑑賞が一段と楽しいものになりますよ。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

復 習：セミナーで提示された名画などをネットで検索してみましょう。関連する書物に目を通してみると楽しいですよ。質問や意見も用意してみてください。

【オフィスアワー】

金曜日 講義終了後および放課後

本館3階東棟 大学誌編集室

e-mail による質問や意見も歓迎します。hiroshi.kasahara@mdu.ac.jp

フランス語入門 (A1200)

第1学年（前期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：野村 貫之

【一般目標（GIO）】

歯科医師としての言語教養をはぐくむ。教養を高め、グローバル化する歯科医療分野におけるコミュニケーションに係る知識、技能、態度の養成に資する。

【内容】

- (1)異文化に触れながら、初歩のフランス語表現を身につける。
- (2)フランス語学習を通して、受講者同士の積極的な交流を行い、コミュニケーション能力を養成する。

【教科書・参考書】

オリエンテーションにて指示を受ける。

【進め方】

入門レベルの教材を用い、場面に即した口頭演習、独自の表現の作成と改善を行う。

【フィードバック方法】

身につけた表現力を積極的に発揮する機会を設ける。

【評価方法（Evaluation）】

講座への出欠状況、参加姿勢、ノートや課題提出等が総合的に評価される。

【注意事項】

筆記具、ノートブックは必須用具である。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：講義中にノートがとれるように、教材から重要な文を写しておく。(30分)

復 習：講義中に取ったノートと教材を活用して、知識をまとめるとともに、ドリルにより定着を図る。(60分)

【オフィスアワー】

授業前後に該当講義室にて（授業時以外での質問等も歓迎）

日本語演習（留学生） （A1200）

第1学年（前期）
演習 選択

【担当者】

准教授：楊 静
非常勤講師：松本りか

【一般目標（GIO）】

留学生が日本の大学で勉強するために、必要な「話す・聞く」「読む・書く」についての総合的な日本語学習をバランスよく実施し、本学専門科目の勉強につながる基礎日本語力を養成する。

【内容】

易しいものから難しいものまで基本の文型を学習し、聞くこと、話すこと、さらに読むこと、書くことへの運用力をトレーニングする。

【教科書・参考書】

【教科書】【初級クラス】

みんなの日本語初級Ⅱ（スリーエーネットワーク）
「日本語能力試験対策」日本語総まとめ N3文法（アスク出版）

【中級クラス】

中級を学ぼう（スリーエーネットワーク）
「日本語能力試験対策」日本語総まとめ N2文法（アスク出版）

【参考書】日本語能力試験対策 日本語総まとめ語彙・読解等（アスク出版）、日本語生中継（くろしお出版）

【進め方】

「話す・聞く」「読む・書く」についての総合的な日本語学習を実施し、年2回の日本語能力試験及びその他テストの結果から、学習到達度を確認する。

【フィードバック方法】

定期試験、模擬試験、daily test については後日解説を行い、解答案を開示するので、確認すること。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験（30%）、模擬試験・daily test（40%）、宿題・授業態度（10%）、出欠席（20%）で総合的に評価する。日本語能力試験（受験必須）合格者は加点し、参加しない者は減点評価とする。

【注意事項】

出欠席には十分注意する。
日本語能力試験の受験は必須とし、受験級は担当講師の指示に従うこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分
復習：授業内容をしっかり復習し、課題を指示された期日までに必ず提出すること。

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時
学生支援委員会留学生部門（本館2階西棟 学事室内）
メールでの問合せも可。 E-mail：jing.yang@mdu.ac.jp

オープンセミナーⅡ 開講科目 (A1210)

第1学年（後期）
講義・演習 選択

開講曜日 時 限	セミナー	担当者	教室
火曜日 1 時限	再生医療ってなに	中村 浩彰	（講）103教室
火曜日 1 時限	歯科医師となるためのプロフェッショナルリズム	音琴 淳一	図書館2階セミナー室
火曜日 1 時限	実験で学ぶ化学・生化学	平岡 行博	（実習館）3階317 生化学実習室
火曜日 1 時限	保健、医療、福祉について知る	牧 茂	（講）101教室
火曜日 1 時限	歯科医としてのコミュニケーション力	赤地 憲一	（講）105教室
火曜日 1 時限	エピソードで楽しむ人類と医学の歩みⅡ	笠原 浩	旧 PC 室
火曜日 1 時限	フランス語入門	野村 貫之	（講）203教室
火曜日 1 時限	「特許」を取ろう	増田 裕次	（実習館）2階 大学院セミナー室
火曜日 1 時限	やさしい統計	小野 珠乙	（講）102教室
月～金曜日 5 時限	日本語演習（留学生）	楊 静	（講）105教室
	日本語演習（留学生）	松本 りか	（講）101教室

再生医療ってなに (A1210)

第1学年（後期）
講義 選択

【担当者】

教授：中村浩彰

【一般目標（GIO）】

歯の発生についての基本的知識と自ら問題点を見出して解決する姿勢を身につける。

【内容】

歯の発生の概念をもとに「歯科における再生医療」というテーマに対して問題解決型学習を行う。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 特に指定しない。

〔参考書〕 特に指定しない。

【進め方】

1. 歯の発生についての講義
2. 「歯科における再生医療」についてのグループ討論とレポート作成
3. プレゼンテーション準備

【フィードバック方法】

発表会后、疑問点等について解説する。

【評価方法（Evaluation）】

レポート（20%）、プレゼンテーション（10%）、参加態度・出席（70%）で総合的に評価する。

【注意事項】

発表用のパワーポイントを作成時には各自のコンピューターを持参すること。

遅刻、欠席は減点の対象となる。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

復習：疑問点、問題点を自ら見出し、図書館、インターネット等を利用して各自知識をまとめ、問題点を解決すること。

【オフィスアワー】

金曜日 16:30～18:00

本館4階西棟 解剖学講座教授室

身近な薬を科学しよう (A1210)

第1学年（後期）
講義 選択

【担当者】

教授：十川紀夫

【一般目標（GIO）】

1. 一般の人が取得し得る薬物情報レベルを理解する。
2. 市販薬の用途、作用機序を理解する。
3. 市販薬使用時の注意点を理解する。

【内容】

普段使用している市販薬について薬理学的な理解を深めるとともに、一般の人が有している、あるいは知り得る薬物に関する知識レベルを理解し、医療人になるにあたって、薬物療法に関して患者を指導していく際の心構えを養う。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 鈴木邦明 監修、戸荻彰史・青木和弘・兼松 隆・筑波隆幸、八田光世 編：「現代歯科薬理学（第7版）」
（医歯薬出版）

大浦 清・戸荻彰史 監修、笠原正貴・兼松 隆・三枝 禎・十川紀夫・高橋俊介・八田光世 編：
「ポイントがよくわかる シンプル歯科薬理学（第3版）」（永末書店）
ただし、購入は随意

〔参考書〕 特に指定しない。

【進め方】

1. 講義（実習遂行に必要な最低限の知識の教授と情報収集、調査、考察内容の具体例を示す）および実習。
2. 実習した課題に対して、情報を収集し、必要な知識や考え方を自主学習する。
3. グループ討議、プレゼンテーションを通じて、自ら学習した内容はより深く、また、自ら学習した内容以外の薬物に関する知識は、相互学習により学習する。

【フィードバック方法】

発表会の予行を行い、その際に学生の学習内容を評価し、指導する。

【評価方法（Evaluation）】

自己学習および相互学習の取り組み態度、発表会プレゼンテーションの完成度と作成物に対する個人貢献度、出席状況などから総合的に評価する。

【注意事項】

各自のコンピューターを持参して下さい。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

- 1) 授業の性質上、基本的に事前学習は必要ないが、授業時間内に決定する自己学習項目に従い自己学習（調べ物）をすることが必要になる。
- 2) 次回の授業時間に自己学習事項の相互学習を行うので、自己学習が次回授業の予習に相当する。
- 3) 十分に理解できない点、興味を持った事項については、教科書などを利用して能動的に学習を行うこと。

【オフィスアワー】

随時

実習館1階 大学院教員室

不在対策として、来訪日時を相談・予約しておくこと。 E-mail：norio.sogawa@mdu.ac.jp

歯科医師となるためのプロフェッショナルリズム (A1210)

第1学年（後期）
講義 選択

【担当者】

教 授：音琴淳一

【一般目標（GIO）】

1. プロフェッショナルリズムの定義を知る
2. 歯科医師としての求められるプロフェッショナルリズムを考える。
3. 歯科医師として求められるプロフェッションを体得するための生活習慣を考え、学生時代から実践する。
4. 歯科医師としてのキャリアデザインを考える。

【内容】

グループディスカッションにてプロとしての行動原理を探る。

歯科医学カリキュラムからプロフェッションや歯科医師になるための自己行動原則を設定し、実践する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 なし

〔参考書〕 なし

【進め方】

グループディスカッション／情報提供のための講義

個人のスキルアップのための目標設定と実践

【フィードバック方法】

実践をして振り返りによる行動評価

【評価方法（Evaluation）】

テーマを決め、その内容をまとめて提出したレポート

セミナー中の態度

【注意事項】

遅刻欠席をしないこと。

他の受講生に迷惑をかけること。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

予 習：課題について行動し、目標に対する成果を提出できるよう準備をすること。（15分）

復 習：毎回の講義のまとめを作成する。

目標設定した項目を実践できるよう講義ならびに調査内容を復習する。（15分）

【オフィスアワー】

火曜日 17：30～18：00

本館4階東棟 共同教授室

事前にメール（junichi.otogoto@mdu.ac.jp）にてアポイントをとること。セミナー中にアポイントをとっても可。

実験で学ぶ化学&生化学 (A1200)

第1学年（後期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：平岡行博

【一般目標（GIO）】

1. 物質が起こす現象を観察し（マクロに捉える）、それを分子レベルで説明する（ミクロで考える）事ができる。
2. 分子モデルを使って、分子構造を三次元で理解する。
3. 実験を通して、化学の理論を理解する。

【内容】

生化学は、生物を構成する分子の化学である。しかし、眼に見えない分子を対象とした学問であるため、学生諸君には本を通した抽象的な知識がバラバラに詰め込まれ、ほんやりとした理解にとどまる事が多いようである。実際、科学の専門家であっても、自身で実験を通して学んだ事以外は本当の理解には程遠い事が多い。このセミナーでは、生物学・化学の断片的な知識を統合し、眼で見た現象が眼に見えない分子の反応であることを納得してもらいたい。そして、頭で学んだ知識を鮮やかな印象と共に定着させたい。

実験項目：

- ① 分子モデルによる分子の理解 ② 過冷却と結晶の成長 ③ 幾何異性体の実験 ④ フェノールフタレインの合成 ⑤ ゲルろ過 ⑥ タンパク質の実験 ⑦ 酵素の抽出（塩析・透析） ⑧ 酵素の活性測定 他

【参考書】「二訂版 ニューステージ化学図表」（浜島書店； 基礎化学の教科書）

「二訂版 スクエア最新図説生物」（第一学習社； 健康管理学の教科書）

前野 正夫・磯川 桂太郎：「はじめの一歩のイラスト生化学・分子生物学」（羊土社； 生命科学入門Ⅰの教科書）

【進め方】

1. 事前の講義で知識の整理を行い、個人あるいはグループ実験を行なう。
2. プレゼンテーションとグループ討議で結果を吟味する。結果はレポートとしてまとめる。

【評価方法（Evaluation）】

レポート評価（70%）と、受講態度を総合的に評価する。

【フィードバック方法】

各自が作成したレポートを発表および討議して、その理解を深める。

【注意事項】

遅刻は厳禁である。欠席をしないこと。欠席の場合は、事前・事後にかかわらず断りを入れること。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：プロトコルを熟読しておくこと。

【オフィスアワー】

実習館3階 生化学研究室

いつでも対応しますが、事前にアポイントを取る。 E-mail：bernard.yukihiro.hiraoka@mdu.ac.jp

保健、医療、福祉について知る (A1210)

第1学年（後期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：牧 茂

【一般目標（GIO）】

1. 問題点を抽出できる。
2. 問題点を調べることができる。
3. 調べた内容をレポートにまとめることができる。
4. 調べた内容を説明できる。

【内容】

保健医療福祉に関することなら何でもテーマとすることができる。例えば、環境保健における地球温暖化やごみ問題について、医療では医療費について、福祉では認知症の対策なども取り扱うことができ、幅広く題材を求めることができる。

学生自らが学習する項目を決めて、教科書やインターネットを用いて学習する。

【教科書・参考書】

〔教科書〕春日雅人編：「医の変革」岩波新書

〔参考書〕特になし

【進め方】

学生は、教科書あるいはインターネットを用いて学習する。学習項目をレポートにまとめ、発表し、討議する。討議により問題点や理解できなかったことを抽出し、さらに学習し、理解を深める。

【フィードバック方法】

随時、質問・相談等に対応する。

【評価方法（Evaluation）】

課題に対する取り組み姿勢とレポート、受講態度、出席状況により評価する。

【注意事項】

遅刻、欠席をしないこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

45分

予 習：各回の授業内容に対応する教科書の該当ページを読み、予習すること。（15分）

復 習：全コースで1回レポート課題を課すので、レポートを作成すること。（30分）

【オフィスアワー】

随時

実習館2階 総合歯科医学研究所

E-mail による質問・意見も歓迎。shigeru.maki@mdu.ac.jp

歯科医としてのコミュニケーション力 (A1210)

第1学年（後期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：赤地憲一

【一般目標（GIO）】

歯科医師として必要な、コミュニケーション力（英語によるものを含む）の養成。

【内容】

- (1) コミュニケーション理論と、歯科医師として求められるコミュニケーション力の養成。
- (2) 歯科医として必要な英語による文書の作成法—論文や紹介・推薦・通知・お礼・依頼・催促・弔意・契約・見舞等の書式—を習得する。

【教科書・参考書】

オリエンテーションにて指示する。

【進め方】

サンプルにより学習をしたあと、実際場面に即した口頭演習や文書の作成→添削等、の過程を通して表現力を養う。

【フィードバック方法】

身につけた表現力を随時、応用していく機会を設ける。

【評価方法（Evaluation）】

授業での演習と、その都度提出いただく課題等を総合的に評価する。

【注意事項】

医療に関するコミュニケーション英語については、毎回小テストを行うので、復習して授業に臨むこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

予 習：シラバスを確認して事前に講義内容について教科書・参考書で予習を行うこと。（30分）

復 習：講義ノート、配布されたプリントを復習し、教科書・参考書を利用して各自知識をまとめること。（30分）

【オフィスアワー】

講義後質問を受け付ける。

エピソードで楽しむ人類と医学の歩みⅡ (A1210)

第1学年（後期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：笠原 浩

【一般目標（GIO）】

医学・歯科医学が発展してきた過程の背景として、世界各国の歴史を学びます。高校での日本史や世界史は、受験勉強としてひたすら暗記を強要されるために、大嫌いになった方もいるでしょうが、面白いエピソードをからめた系統的な講義ならば、とても楽しく聞くことができ、「歴男・歴女」にもなることができます。将来の医療人としての教養だけではなく、自分自身の将来を考えるうえでも、貴重なヒントを得ることがこのセミナーの目標でして、その理由は、すべての未来が過去から現在につながってきた時間線の延長上にあるからです。

【内容】

西洋の代表として「British History」、東洋の代表として「中国の歴史」を用意しました。歴史を彩った人物ばかりでなく、文芸作品や映画などについても、面白いエピソードが満載です。たとえば、英国なら「アーサー王伝説」、中国なら「三国志演義」などなど。パワーポイントでご覧に入れる絵や写真で「目で見える世界史」を楽しんでください。「へー」と驚くようなトレビアもたくさんあります。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 使用しません。

〔参考書〕 セミナー中に随時紹介します。

【進め方】

オリジナルな講義が主体ですが、質問や意見などで参加者との積極的な交流を期待します。

【フィードバック方法】

レポートの内容が優れていた方は、発表会でその内容を報告していただきます。

【評価方法（Evaluation）】

試験は考えていませんが、より楽しくて実りあるセミナーにするために、レポートの提出を求めることがあります。

【注意事項】

脳内のタイムマシンで過去にさかのぼって「そのときあなたがその場に居合わせたら…」と考えて見ましょう。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

復 習：セミナーで紹介した映画を DVD で見ることで理解が深まります。関連した書物（歴史小説）なども読んでみてください。

【オフィスアワー】

水曜日 放課後

本館3階東棟 大学誌編集室

e-mail による質問や意見も歓迎します。hiroshi.kawahara@mdu.ac.jp

フランス語入門 (A1210)

第1学年（後期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：野村貫之

【一般目標（GIO）】

歯科医師としての言語教養をはぐくむ。教養を高め、グローバル化する歯科医療分野におけるコミュニケーションに係る知識、技能、態度の養成に資する。

【内容】

- (1) シャンソンを学びながら、初歩のフランス語表現を身につける。
- (2) フランス語学習を通して、受講者同士の積極的な交流を行い、コミュニケーション能力を養成する。

【教科書・参考書】

オリエンテーションにて指示を受ける。

【進め方】

シャンソン（歌詞）を教材として用い、場面に即した口頭演習、独自の表現の作成と改善を行う。

【フィードバック方法】

身につけた表現力を積極的に発揮する機会を設ける。

【評価方法（Evaluation）】

講座への出欠状況、参加姿勢、ノートや課題提出等が総合的に評価される。

【注意事項】

筆記具、ノートブックは必須用具である。

【準備学習時間（予習・復習）】

90分

予 習：講義中にノートがとれるように、教材から重要な文を写しておく。(30分)

復 習：講義中に取ったノートと教材を活用して、知識をまとめるとともに、ドリルにより定着を図る。(60分)

【オフィスアワー】

授業前後に該当講義室にて（授業時以外での質問等も歓迎）

「特許」を取ろう (A1210)

第1学年（後期）
講義 選択

【担当者】

特任教授：増田裕次

【一般目標（GIO）】

1. 特許を含む知的財産について説明できる。
2. 特許と研究の違いを説明できる。
3. 特許を検索できる。
4. 特許のアイデアを思いつく。

【内容】

特許の特徴や成り立ちを理解し、社会での活用について学ぶ。さらに、自身のアイデアが特許として成り立つかどうかを、自ら検索して判断する能力を養う。

【教科書・参考書】

〔教科書〕 特に指定しない。

〔参考書〕 特に指定しない。特許庁のHPを参考にする。

【進め方】

1. 講義：最低限の知識の習得
2. グループ討議：特許アイデアの創出
3. 検索・判断：特許庁のHPで特許出願検索
4. プレゼンテーション：自ら学習した内容を含めて相互学習

【評価方法（Evaluation）】

セミナーに対する取り組み姿勢、プレゼンテーションおよび出席状況により評価する。

【注意事項】

遅刻、欠席をしないこと。

【準備学習時間（予習・復習）】

30分

予 習：書籍やインターネット等を用いて情報を収集する。収集した情報を要約して、セミナー資料を作成する。

【オフィスアワー】

実習館1階 大学院教員室

在室時にはいつでも対応します。E-mail：yuji.masuda@mdu.ac.jp

日本語演習（留学生） （A1210）

第1学年（後期）
演習 選択

【担当者】

准教授：楊 静

非常勤講師：松本りか

【一般目標（GIO）】

留学生が日本の大学で勉強するために、必要な「話す・聞く」「読む・書く」についての総合的な日本語学習をバランスよく実施し、本学専門科目の勉強につながる基礎日本語力を養成する。

【内容】

易しいものから難しいものまで基本の文型を学習し、聞くこと、話すこと、さらに読むこと、書くことへの運用力をトレーニングする。

【教科書・参考書】

〔教科書〕【中級クラスⅠ】

中級へ行こう（スリーエーネットワーク）

「日本語能力試験対策」日本語総まとめN1・N2文法（アスク出版）

【中級クラスⅡ】

テーマ別 中級から学ぶ日本語（KENKYUSHA）

「日本語能力試験対策」日本語総まとめN1・N2文法（アスク出版）

〔参考書〕日本語能力試験対策日本語総まとめ語彙・読解等（アスク出版）

【進め方】

「話す・聞く」「読む・書く」についての総合的な日本語学習を実施し、年2回の日本語能力試験及びその他テストの結果から、学習到達度を確認する。

【フィードバック方法】

定期試験、模擬試験、daily test については後日解説を行い、解答案を開示するので、確認すること。

【評価方法（Evaluation）】

定期試験（30%）、模擬試験・daily test（40%）、宿題・授業態度（10%）、出欠席（20%）で総合的に評価する。日本語能力試験（受験必須）合格者は加点し、参加しない者は減点評価とする。

【注意事項】

出欠席には十分注意する。

日本語能力試験の受験は必須とし、受験級は担当講師の指示に従うこと。

前期成績が振るわない者に対しては、夏季休暇中に補習を薦める等の指導を行う。

【準備学習時間（予習・復習）】

60分

復 習：授業内容をしっかり復習し、課題を指示された期日までに必ず提出すること。

【オフィスアワー】

月曜日～金曜日 随時

学生支援委員会留学生部門（本館2階西棟 学事室内）

メールでの問合せも可。 E-mail：jing.yang@mdu.ac.jp

2025年度 第1学年 年間予定

2025年

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	火		1 木 ③	1	日	1 火 ⑪		1 金 夏季休業(～8/16)		1 月 定期試験6	
2	水		2 金 ③	2	月 Weekly Test 6 ⑦	2 水 ⑪		2 土		2 火 定期試験7	
3	木		3 土 憲法記念日	3	火 ⑦	3 木 ⑫		3 日		3 水 定期試験8	
4	金		4 日 みどりの日	4	水 ⑦	4 金 ⑫		4 月		4 木 定期試験9	
5	土		5 月 こどもの日	5	木 ⑧	5 土		5 火		5 金 定期試験10	
6	日		6 火 振替休日	6	金 ⑧	6 日		6 水		6 土	
7	月		7 水 ③火曜授業	7	土 解剖諸霊位慰霊祭	7 月 Weekly Test 11 ⑫		7 木		7 日	
8	火		8 木 ④	8	日	8 火 ⑫		8 金		8 月 後期授業開始 ①	
9	水 オリエンテーション (新入生)		9 金 ④	9	月 Weekly Test 7 ⑧	9 水 ⑫		9 土		9 火 ①	
10	木 入学式		10 土	10	火 ⑧	10 木 ⑬		10 日		10 水 ①	
11	金 オリエンテーション 健康診断		11 日	11	水 ⑧	11 金 ⑬		11 月 山の日		11 木 ①	
12	土		12 月 Weekly Test 3 ④	12	木 ⑨	12 土		12 火		12 金 ①	
13	日		13 火 ④	13	金 ⑨	13 日		13 水		13 土	
14	月 前期授業開始 ①		14 水 ④	14	土	14 月 Weekly Test 12 ⑬		14 木		14 日	
15	火 ①		15 木 ⑤	15	日	15 火 ⑬		15 金		15 月 敬老の日	
16	水 ①		16 金 ⑤	16	月 Weekly Test 8 ⑨	16 水 ⑬		16 土 夏季休業終了		16 火 Weekly Test 15 ②月曜授業	
17	木 ①		17 土	17	火 ⑨	17 木 ⑭		17 日		17 水 ②	
18	金 ①		18 日	18	水 ⑨	18 金 ⑭		18 月 ⑮		18 木 ②	
19	土		19 月 Weekly Test 4 ⑤	19	木 ⑩	19 土		19 火 ⑮		19 金 ②	
20	日		20 火 ⑤	20	金 ⑩	20 日		20 水 ⑮		20 土	
21	月 Weekly Test 1 ②		21 水 ⑤	21	土	21 月 海の日		21 木 Weekly Test 14		21 日	
22	火 ②		22 木 ⑥	22	日	22 火 ⑭		22 金 補習(対象者必須)		22 月 ②火曜授業	
23	水 ②		23 金 ⑥	23	月 Weekly Test 9 ⑩	23 水 ⑭		23 土		23 火 秋分の日	
24	木 ②		24 土	24	火 ⑩	24 木 ⑮		24 日		24 水 ③	
25	金 ②		25 日	25	水 ⑩	25 金 ⑮		25 月 定期試験1		25 木 ③	
26	土		26 月 Weekly Test 5 ⑥	26	木 ⑪	26 土		26 火 定期試験2		26 金 ③	
27	日		27 火 ⑥	27	金 ⑪	27 日		27 水 定期試験3		27 土	
28	月 Weekly Test 2 ③		28 水 ⑥	28	土	28 月 Weekly Test 13 ⑭		28 木 定期試験4		28 日	
29	火 昭和の日 松濤祭		29 木 ⑦	29	日	29 火 補習(対象者必須)		29 金 定期試験5		29 月 Weekly Test 16 ③	
30	水 ③		30 金 ⑦	30	月 Weekly Test 10 ⑪	30 水 補習(対象者必須)		30 土		30 火 ③	
			31 土			31 木 補習(対象者必須)		31 日			

2026年

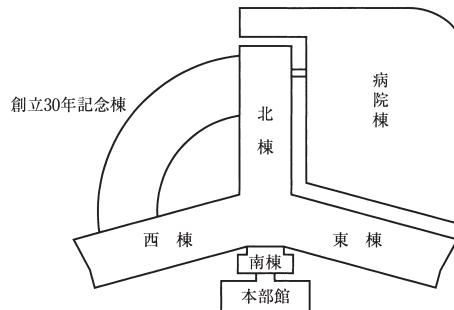
10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	水	④	1	土		1	月	Weekly Test 23 ⑪	1	木	元日	1	日		1	日	
2	木	④	2	日		2	火	⑫	2	金		2	月	追・再試験3	2	月	
3	金	④	3	月	文化の日	3	水	⑫	3	土		3	火	追・再試験4	3	火	
4	土		4	火	⑧	4	木	⑫	4	日	冬季休業	4	水	追・再試験5	4	水	
5	日		5	水	⑧	5	金	⑬	5	月	⑮	5	木	卒業式 追・再試験6	5	木	
6	月	Weekly Test 17 ④	6	木	Weekly Test 21 ⑧月曜授業	6	土		6	火	⑮	6	金	追・再試験7	6	金	
7	火	④	7	金	⑨	7	日		7	水	⑮	7	土	追・再試験8	7	土	
8	水	⑤	8	土		8	月	Weekly Test 24 ⑫	8	木	⑮	8	日		8	日	
9	木	⑤	9	日		9	火	⑬	9	金	Weekly Test 27	9	月	追・再試験9	9	月	
10	金	⑤	10	月	⑨	10	水	⑬	10	土		10	火	追・再試験10	10	火	
11	土		11	火	⑨	11	木	⑬	11	日		11	水	建国記念の日	11	水	
12	日		12	水	⑨	12	金	⑭	12	月	成人の日	12	木		12	木	
13	月	スポーツの日	13	木	⑨	13	土		13	火	授業なし	13	金		13	金	
14	火	⑤	14	金	⑩	14	日		14	水	ファウンダーズデイ	14	土		14	土	
15	水	Weekly Test 18 ⑤月曜授業	15	土		15	月	Weekly Test 25 ⑬	15	木	定期試験1	15	日		15	日	
16	木	⑥	16	日		16	火	⑭	16	金	定期試験2	16	月		16	月	
17	金	⑥	17	月	Weekly Test 22 ⑩	17	水	⑭	17	土		17	火		17	火	
18	土		18	火	⑩	18	木	⑭	18	日		18	水		18	水	
19	日		19	水	⑩	19	金	⑮	19	月	定期試験3	19	木		19	木	
20	月	Weekly Test 19 ⑥	20	木	⑩	20	土		20	火	定期試験4	20	金		20	金	春分の日
21	火	⑥	21	金	⑪	21	日		21	水	定期試験5	21	土		21	土	
22	水	⑥	22	土		22	月	Weekly Test 26 ⑭	22	木	定期試験6	22	日		22	日	
23	木	⑦	23	日	勤労感謝の日	23	火	冬季休業(～1/4)	23	金	定期試験7	23	月	天皇誕生日	23	月	
24	金	⑦	24	月	振替休日	24	水		24	土		24	火		24	火	
25	土		25	火	⑪	25	木		25	日		25	水		25	水	
26	日		26	水	⑪	26	金		26	月	定期試験8	26	木		26	木	
27	月	Weekly Test 20 ⑦	27	木	⑪	27	土		27	火	定期試験9	27	金		27	金	
28	火	⑦	28	金	⑫	28	日		28	水	補習(対象者必須)	28	土		28	土	
29	水	⑦	29	土		29	月		29	木	創立記念日				29	日	
30	木	⑧	30	日		30	火		30	金	追・再試験1				30	月	
31	金	⑧				31	水		31	土	追・再試験2				31	火	

施設概要図



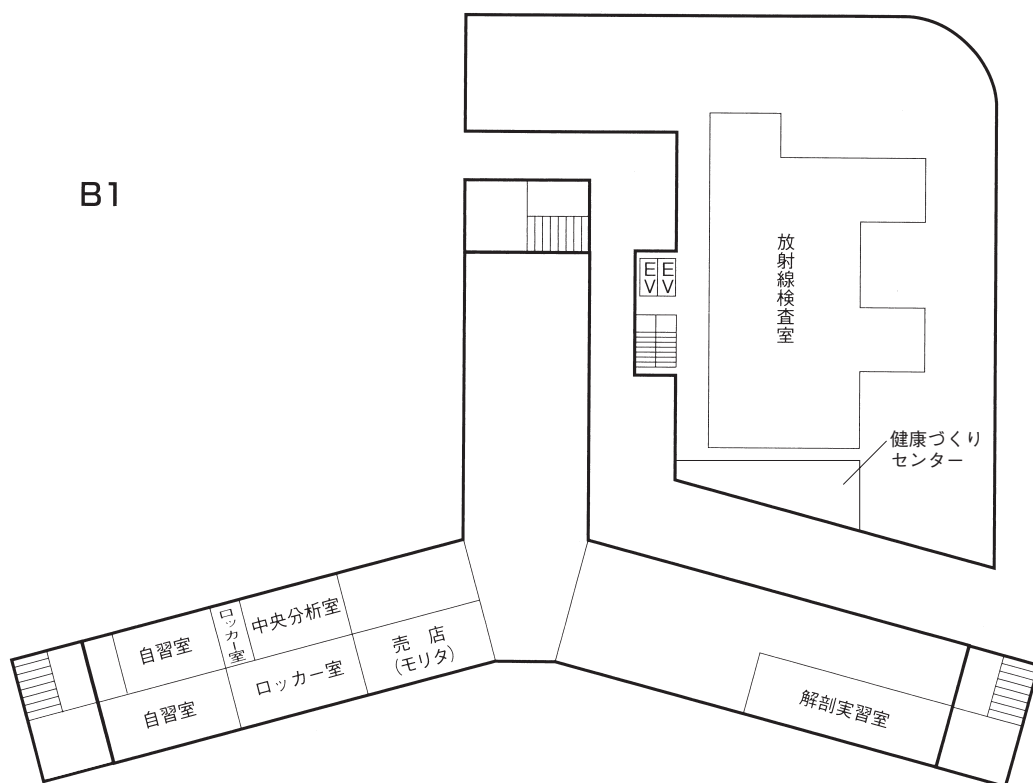
①	大 学 本 館	⑧	陸 上 競 技 場
②	本 部 館	⑨	野 球 場
③	体 育 館	⑩	ゴ ル フ 練 習 場
④	実 習 館	⑪	創 立 30 年 記 念 棟
⑤	講 義 館	⑫	総 合 歯 科 医 学 研 究 所
⑥	ハ イ テ ク セ ン タ ー	⑬	CAMPUS INN
⑦	図 書 会 館	⑭	病 院 棟

本部館 本館 病院棟 概略

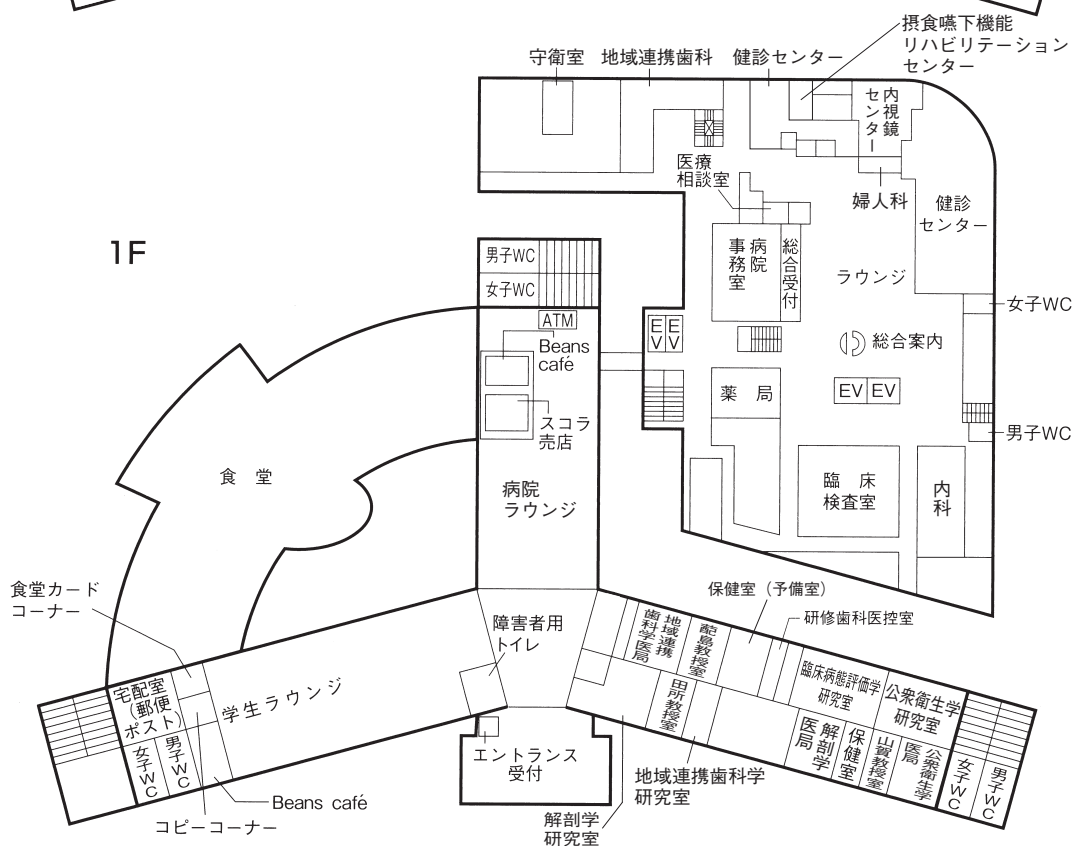


	西棟	北棟	本部館	南棟	東棟	病院棟	創立30年記念棟
7F	屋上	講堂			屋上		
6F					教室 (601、602)		
5F	吉成教授 (歯科保存学) 田口教授 (歯科放射線学) 澁谷教授 (歯科麻酔学) (病院総合診療部門) 臨床研修医控室 共同教授室 (川特任教授)	5学年 ロッカ ー室			吉田教授 (微生物学) 村上教授 (病理学) 芳澤教授 (口腔顎顔面外科学) 栗原教授 ()		
4F	中村教授 (解剖学) 歯科技工士控室 歯科技工士技工室 増田教授 (歯科保存学) 内科医局 2	多目的 ホール			学生技工自習室 臨床予備自習室 鋳造・研磨室 重合室、石膏室 共同教授室 (音楽教授)	病棟 中央手術室 サービスステーション 談話室・相談室	
3F	衛生学院	歯科衛生 士学科第 2実習室	役員室 法人 (秘書 課) 法人 (財務)		山本教授 (病院総合診療部門) 臨床予備実習室 歯科衛生士学科第3実習室 大学史編纂室 衛生学院長室 亀山教授 (歯科保存学)	小児歯科・矯正歯科 連絡通路 (本館北棟3階) 納品検収センター 滅菌サブライセンター 整形外科	会議室
2F	学事室 法人 (IT室)	病院長室 臨床実習・ 研修室 共同教授室 病院共同 教員室 歯科衛生士室	学長室 事務局 経理室 法人 (総務)	自習室	大須賀教授 (小児歯科学) 示説室 中央スタジオ 総合診療室医局	口腔外科・口腔インプラント科 口腔健康管理科 2階総合ホール 連絡通路 (本館北棟2階) 保存科 補綴科 初診室 (総合診断科・総合診療科)	レストラン カフェ
1F	学生ラウンジ Beans café 宅配室 (郵便ポスト) 食堂カードコーナー コピーコーナー	病院ラウ ンジ Beans café スコーラ売店 ATM (八十二・ ゆうちょ)	庶務課 入試広報室 管理課	エント ランス 受付	田所教授 (解剖学) 配島教授 保健室 山賀教授 (公衆衛生学)	地域連携歯科 守衛室 薬局 臨床検査室 内科 健診センター 内視鏡センター 婦人科 摂食嚥下機能リハビリ テーションセン ター 総合案内 総合受付 自動精算コー ナー 病院事務室 医療相談室 連絡通路 (本館北棟1階)	食堂
B F	売店 (モリタ) 中央分析室 自習室、ロッカー室				解剖実習室 霊安室 保存室	放射線検査室 健康づくりセンター	

B1



1F



The floor plan shows various rooms and facilities:

- Top Left:** 男子WC (Men's Restroom), 女子WC (Women's Restroom)
- Top Center:** 病院長室 (Hospital Director's Office), 共同教授室 (Common Lecture Room), 病院共同教員室 (Hospital Common Faculty Room)
- Top Right:** 口腔健康管理科 (Oral Health Management Department), 補綴科 (Prosthodontics Department), 初診室 (総合診断科・総合診療科) (First Examination Room (General Diagnostic/General Medical)), 吹抜 (Atrium), 受付 (Reception), 保存科 (Conservation Department)
- Middle Left:** レストラン・カフェ (Restaurant/Cafe)
- Middle Center:** 6 歯科衛生士室 (Dental Hygienist Room), 8 臨床実習研修室 (Clinical Practice Training Room), 9, 10
- Middle Right:** 口腔インプラント科 (Oral Implantology Department), 口腔外科 (Oral Surgery Department), EV/VV (Elevator/Ventilator), 吹抜 (Atrium), 受付 (Reception), 女子WC 男子WC (Women's/Men's Restrooms)
- Bottom Left:** 倉庫 (Warehouse), 連絡通路 (Connecting Passage), 法人 (IT 室) (Institution (IT Room)), 学事室 (Academic Affairs Room), 旧コンピュータ実習室 (Former Computer Practical Room), 男子WC 女子WC (Men's/Women's Restrooms)
- Bottom Center:** 自習室 (Self-study Room), 自習室 (Self-study Room)
- Bottom Right:** 示説室 (Demonstration Room), 小児歯科技工室 (Pediatric Dental Technology Workshop), 口腔健康分析学研究室 (Oral Health Analysis Research Laboratory), 歯科矯正学医局・研究室 (Orthodontic Clinic/Research Laboratory), 大須賀教室 (Oosugata Classroom), 中央スタジオ (Central Studio), 医局 初診室 (Clinic First Examination Room), 小児歯科学医局・研究室 (Pediatric Dentistry Clinic/Research Laboratory), 男子WC 女子WC (Men's/Women's Restrooms)

3F

矯正歯科

小児歯科

吹抜

男子WC 女子WC

男子WC 女子WC

EV EV

EV EV

吹抜

納品検収センター

整形外科

滅菌サプライセンター

健康増進口腔科学部門研究室

総合歯科医学研究第2研究室

衛生学院長室 笠原(悦)特任教授

臨床予備実習室

大学史編纂室 笠原(浩)特任教授

女子WC 男子WC

山本特任教授室

第1会議室

歯山教授

歯科保存学医局・研究室

保存科技工室

衛生学院

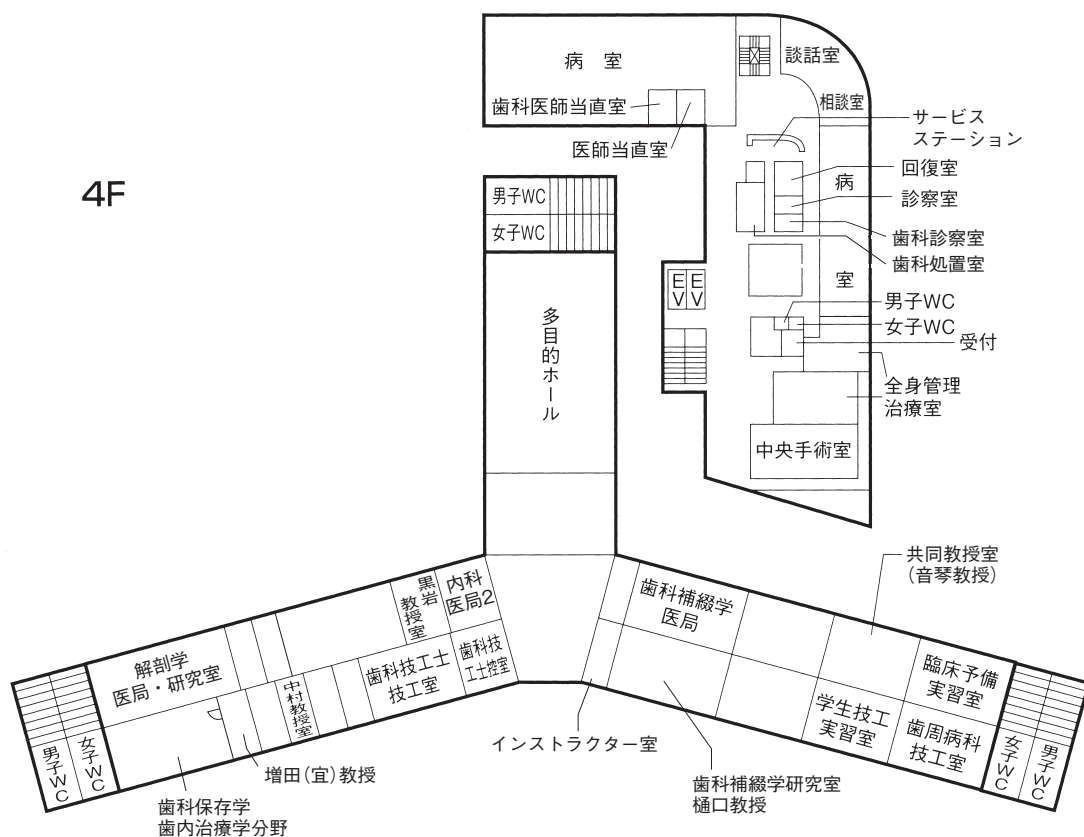
会議室

歯科衛生士学科第2実習室

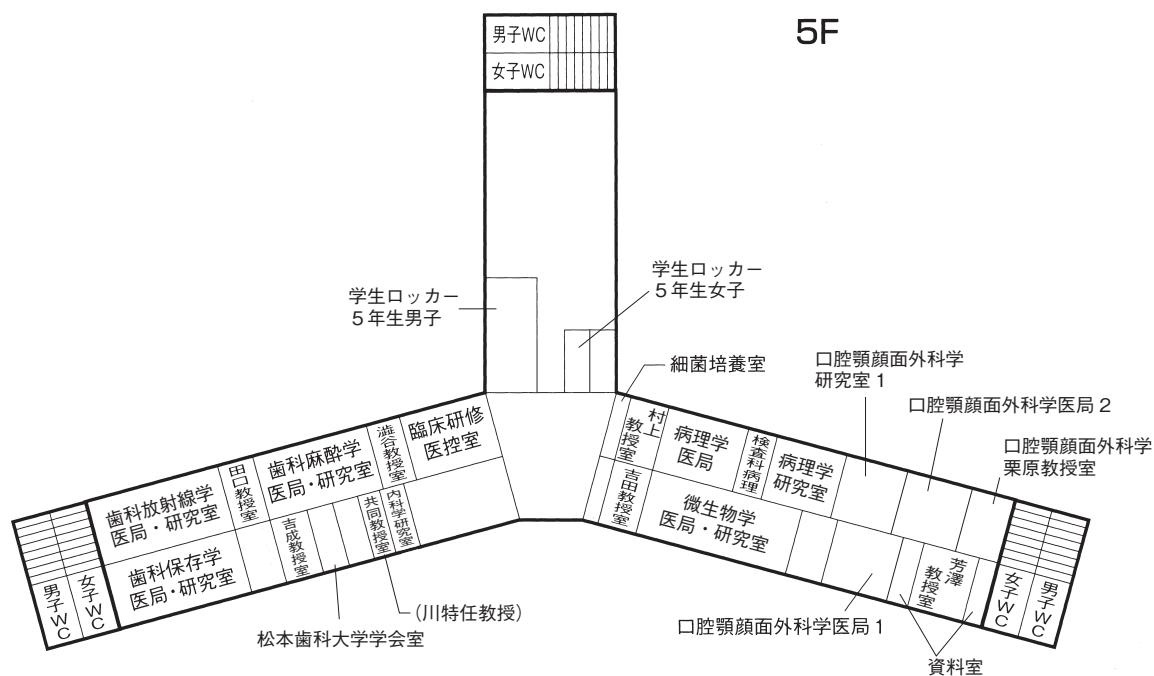
男子WC 女子WC

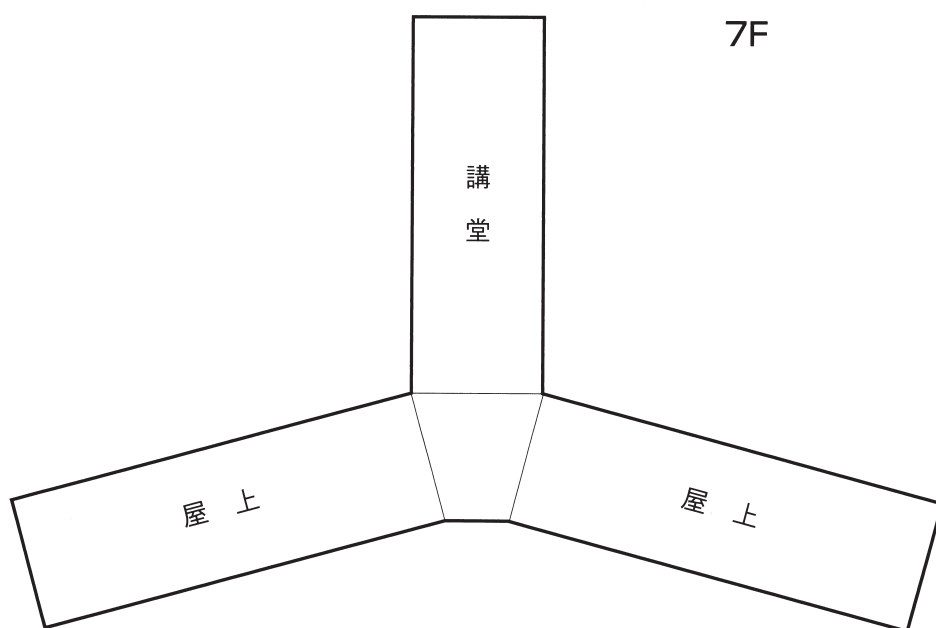
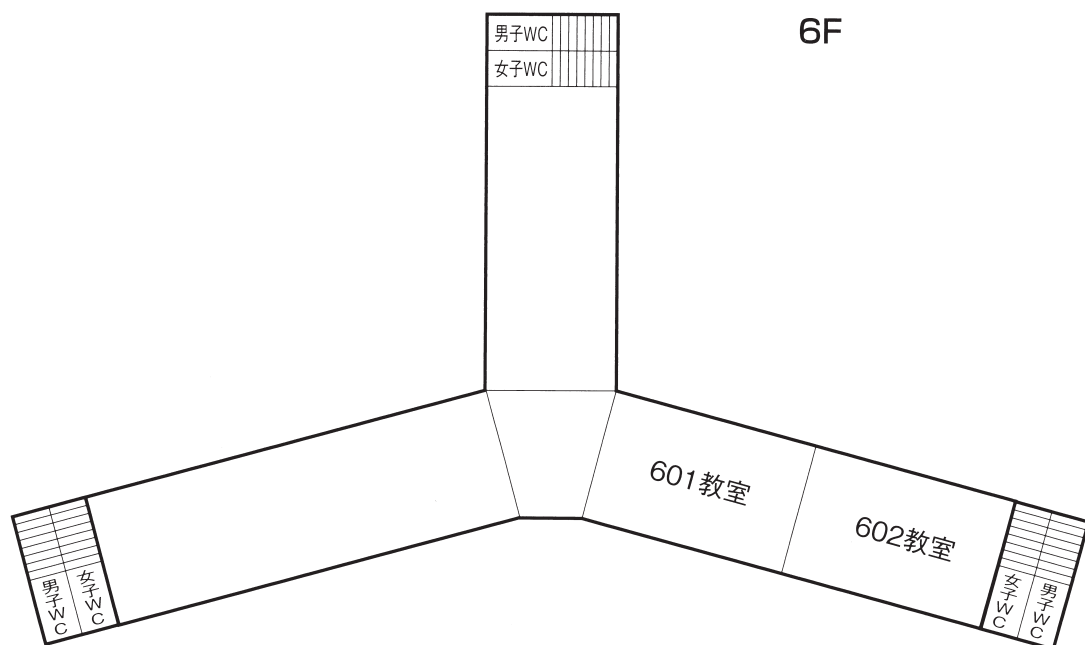
歯科衛生士学科第3実習室

4F



5F





講義館概要

- | | |
|----------|-----------|
| ① | ⑥ |
| ② 共同教授室 | ⑦ |
| ③ 非常勤講師室 | ⑧ 英語非常勤講師 |
| ④ | ⑨ |
| ⑤ | ⑩ |

2F

①	②	③	④	共同研究室		⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
201				ロビー				202			
204				標 本 室	講 師 室 勤	衛生学院教員室		203			

1F

駐輪場	101	105	102	駐輪場
106	ロビー			107
	103		104	

(正面玄関)

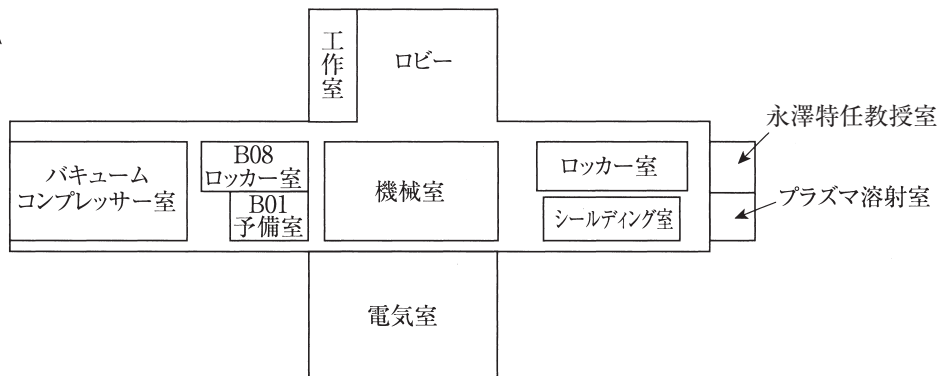
BF

衛生学院ロッカー室		
B01	衛生学院ロッカー室 空調機械室	B02
衛生学院ロッカー室		

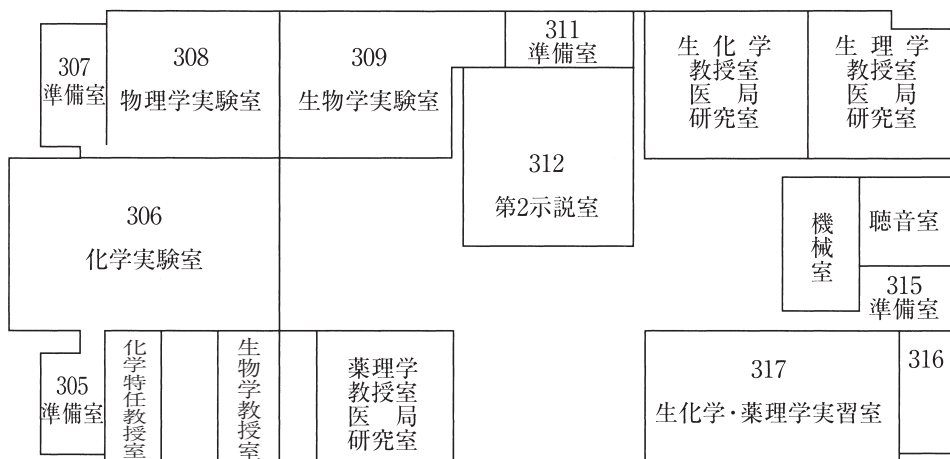
実習館概要

3 F	北川教授（生理学） 宇田川教授（生化学） 荒教授（薬理学） 教室（312） 実験室（306、308、309） 実習室（317）
2 F	教室（216）、総合歯科医学研究所 実習室（207、212）
1 F	黒岩教授（理工学） 実習室（101、113） 共同教員室
B F	永澤特任教授室（理工学） 学生ロッカー室

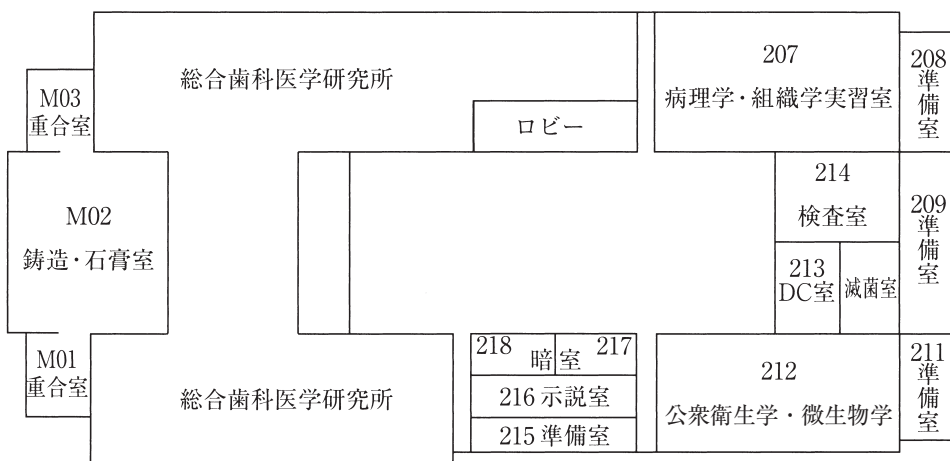
BF



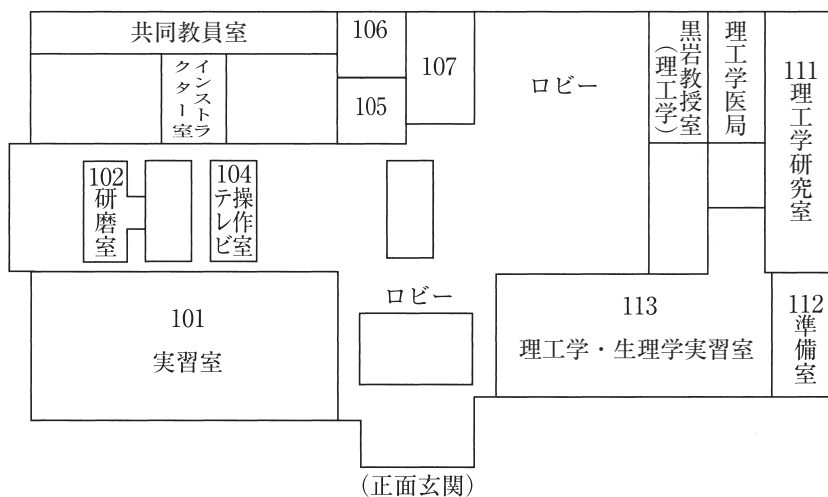
3F



2F

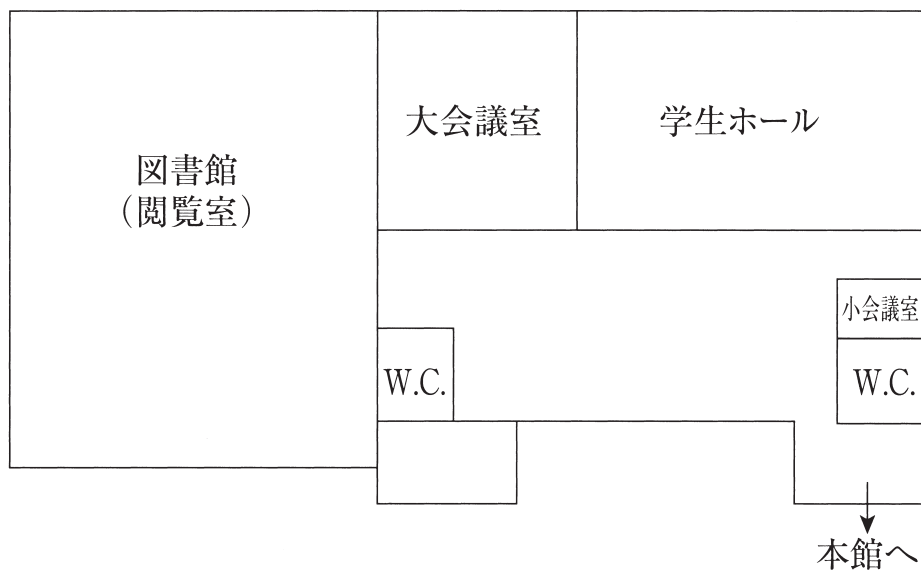


1F

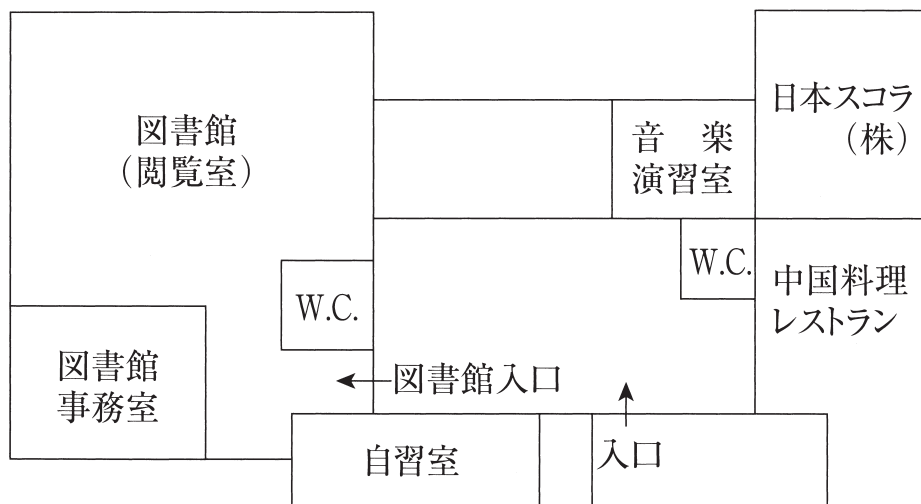


図書会館概要

2F

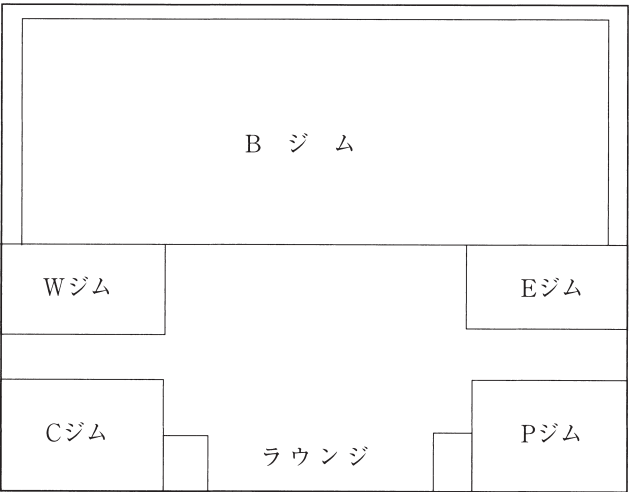


1F

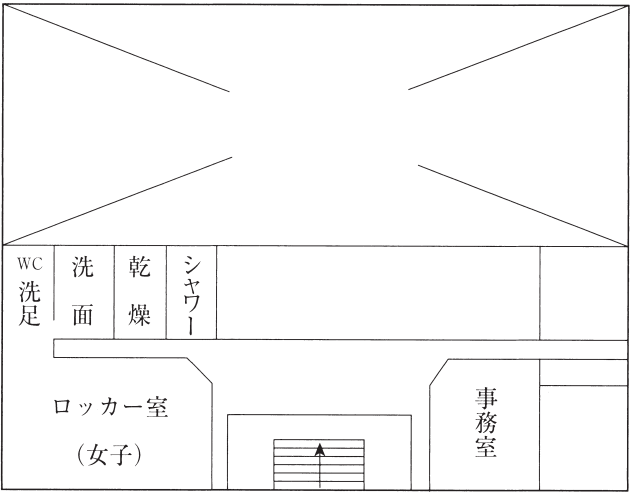


体育館概要

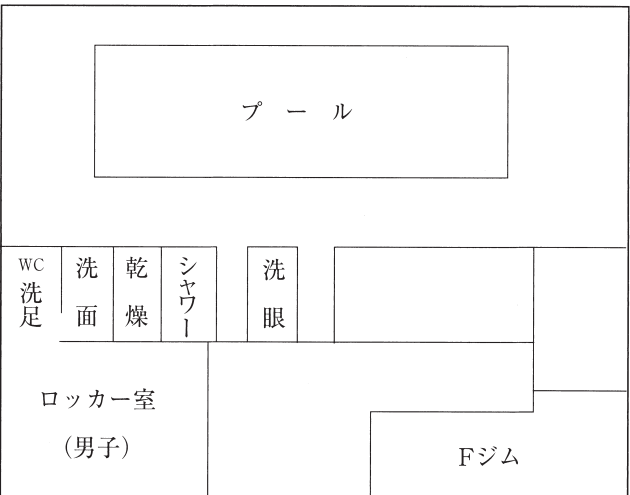
3F



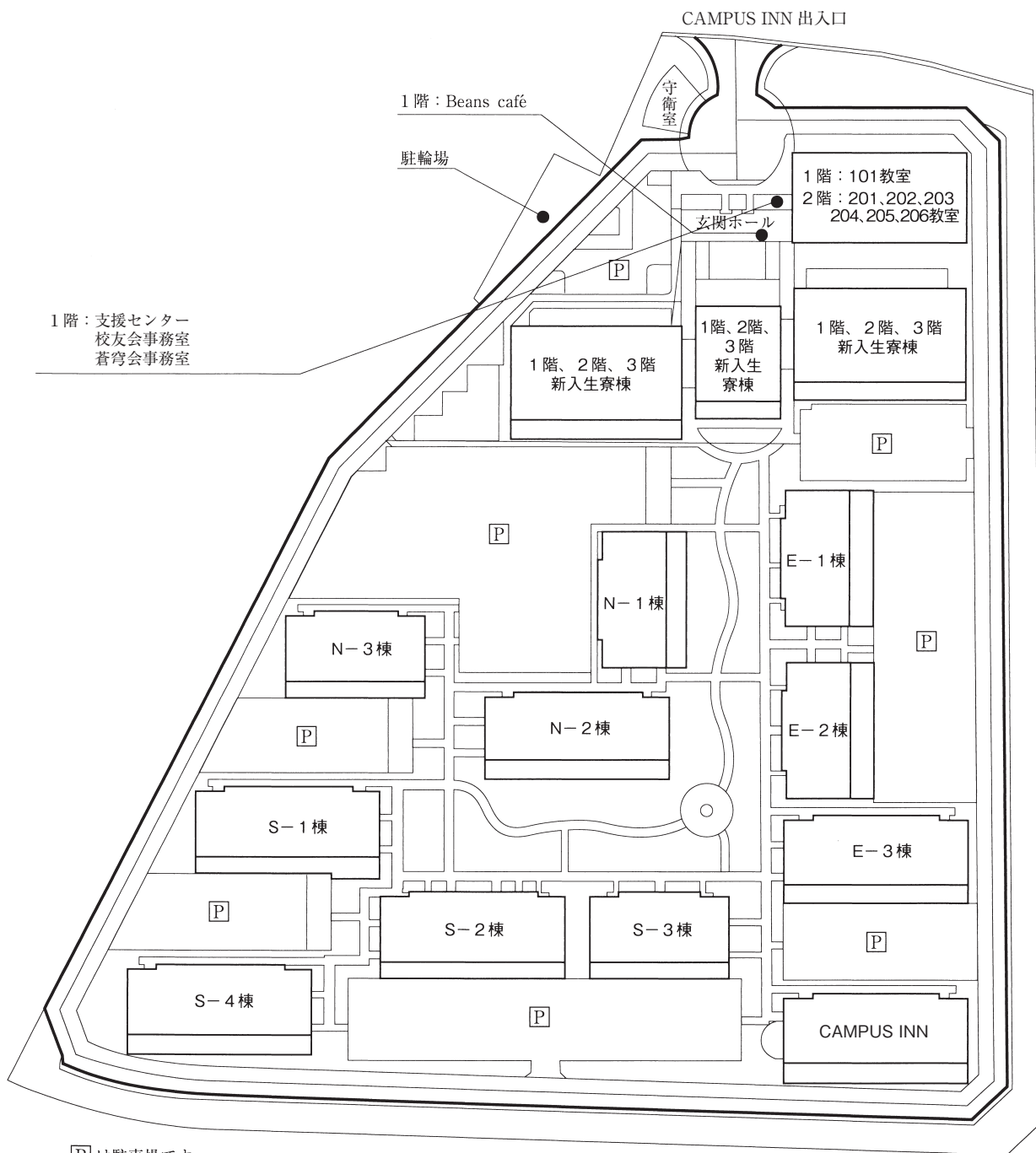
2F



1F



CAMPUS INN 配置図



授業大要（シラバス） 2025 年度

発 行 2025 年 3 月

松 本 歯 科 大 学

川 原 一 祐

印 刷 日本ハイコム株式会社

